

始



昭和七年五月改正

日本燈臺表

燈臺局

納本

DATE	DESCRIPTION	AMOUNT	CHECK NO.	BANK
1912				
1913				
1914				
1915				
1916				
1917				
1918				
1919				
1920				
1921				
1922				
1923				
1924				
1925				
1926				
1927				
1928				
1929				
1930				
1931				
1932				
1933				
1934				
1935				
1936				
1937				
1938				
1939				
1940				
1941				
1942				
1943				
1944				
1945				
1946				
1947				
1948				
1949				
1950				
1951				
1952				
1953				
1954				
1955				
1956				
1957				
1958				
1959				
1960				
1961				
1962				
1963				
1964				
1965				
1966				
1967				
1968				
1969				
1970				
1971				
1972				
1973				
1974				
1975				
1976				
1977				
1978				
1979				
1980				
1981				
1982				
1983				
1984				
1985				
1986				
1987				
1988				
1989				
1990				
1991				
1992				
1993				
1994				
1995				
1996				
1997				
1998				
1999				
2000				
2001				
2002				
2003				
2004				
2005				
2006				
2007				
2008				
2009				
2010				
2011				
2012				
2013				
2014				
2015				
2016				
2017				
2018				
2019				
2020				
2021				
2022				
2023				
2024				
2025				
2026				
2027				
2028				
2029				
2030				
2031				
2032				
2033				
2034				
2035				
2036				
2037				
2038				
2039				
2040				
2041				
2042				
2043				
2044				
2045				
2046				
2047				
2048				
2049				
2050				
2051				
2052				
2053				
2054				
2055				
2056				
2057				
2058				
2059				
2060				
2061				
2062				
2063				
2064				
2065				
2066				
2067				
2068				
2069				
2070				
2071				
2072				
2073				
2074				
2075				
2076				
2077				
2078				
2079				
2080				
2081				
2082				
2083				
2084				
2085				
2086				
2087				
2088				
2089				
2090				
2091				
2092				
2093				
2094				
2095				
2096				
2097				
2098				
2099				
2100				



昭和七年五月改正

日本圖書表

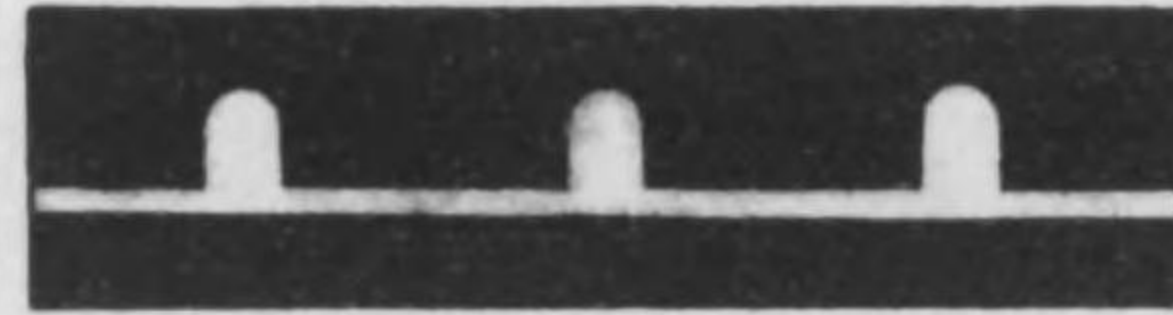
燈臺局



別 種 質 燈

DIAGRAM OF LIGHTS.

光閃動不成聯
FIXED & FLASHING



動 不
FIXED



光 交 閃
ALTERNATING FLASHING



暗 明
OCCULTING



閃 連 二
DOUBLE FLASHING



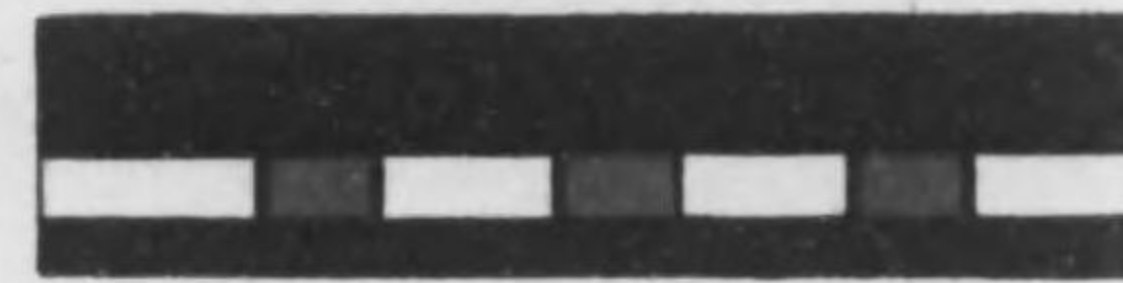
暗 明 連 復
GROUP OCCULTING



光 交 閃 連
ALTERNATING GROUP FLASHING



光 互
ALTERNATING



閃 連 三
TRIPLE FLASHING



光 閃
FLASHING

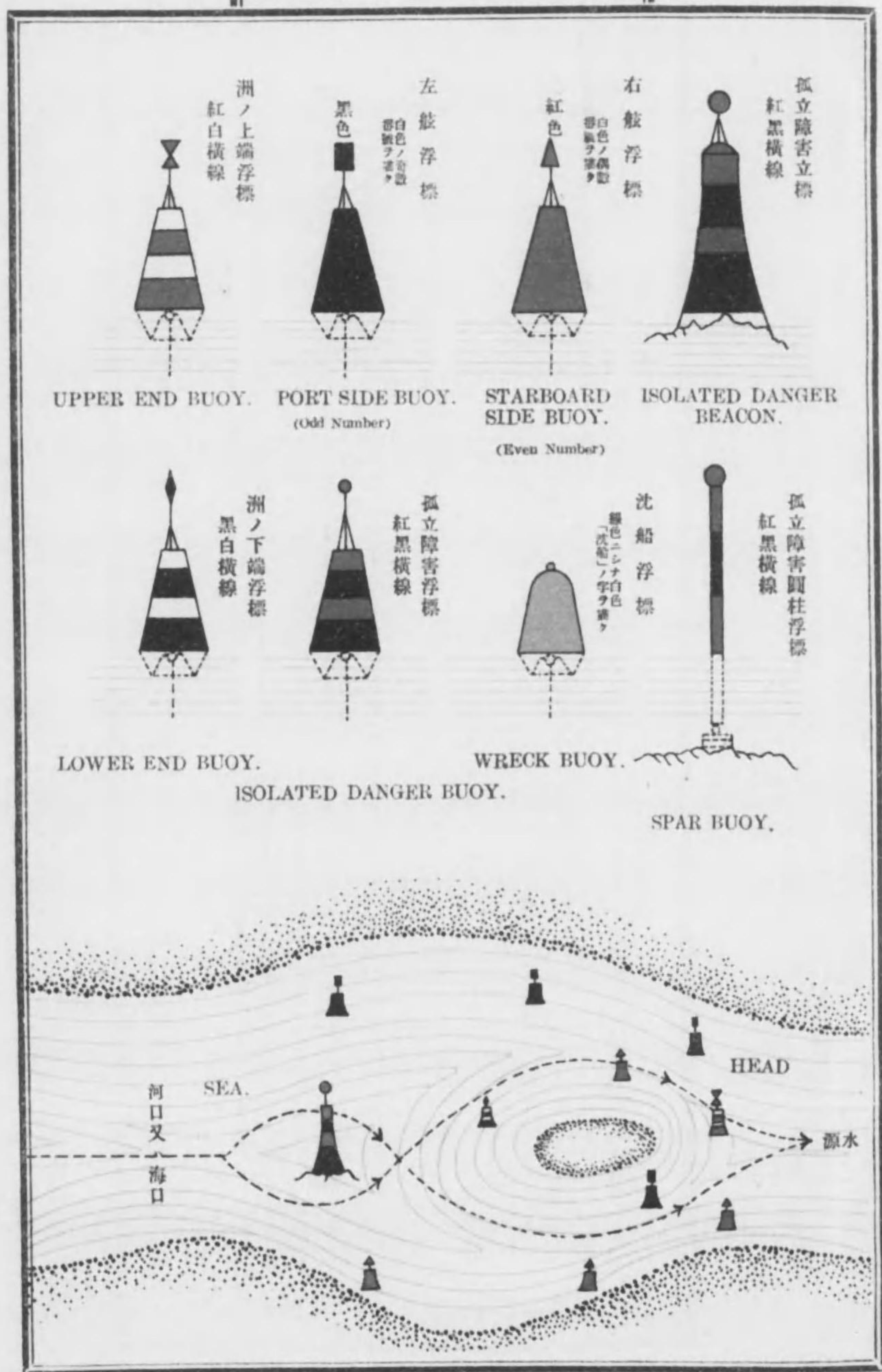


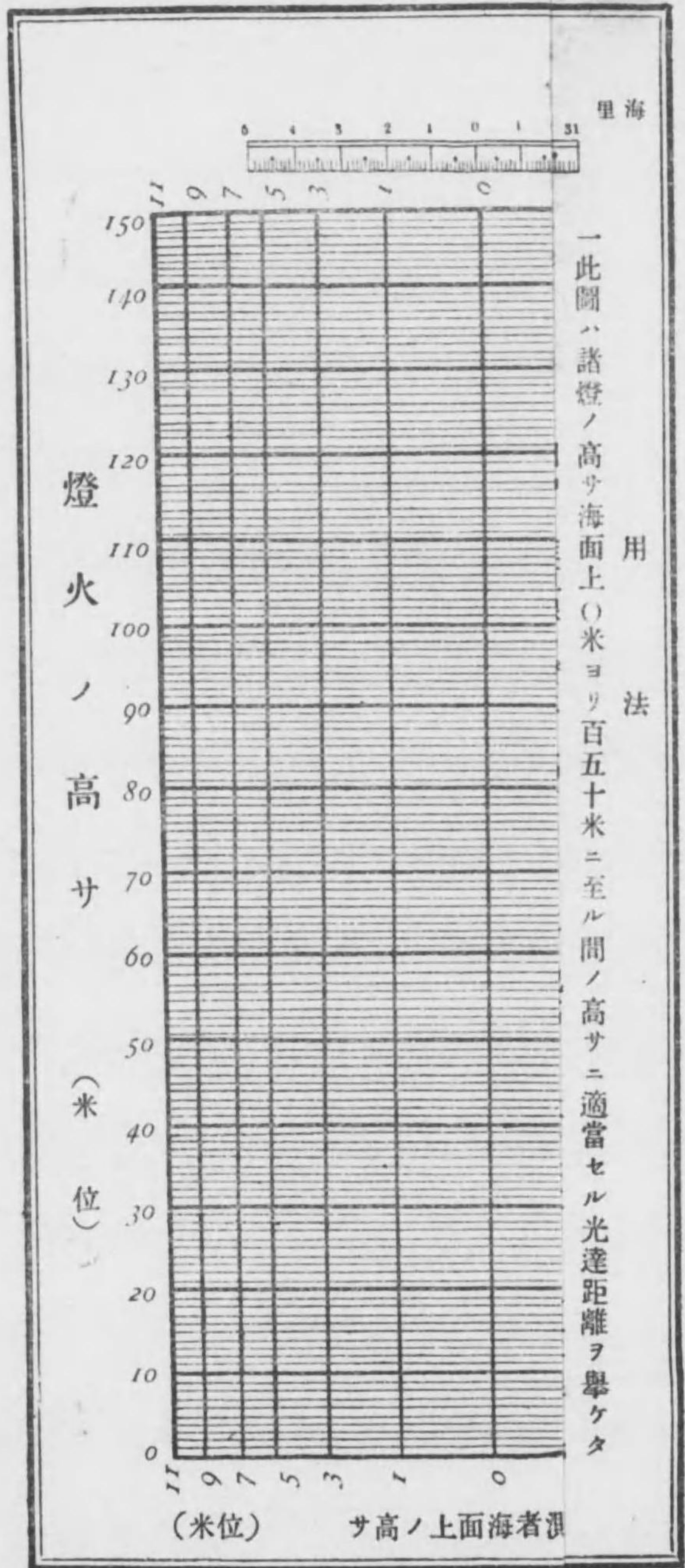
閃 連 四
QUADRUPLE FLASHING



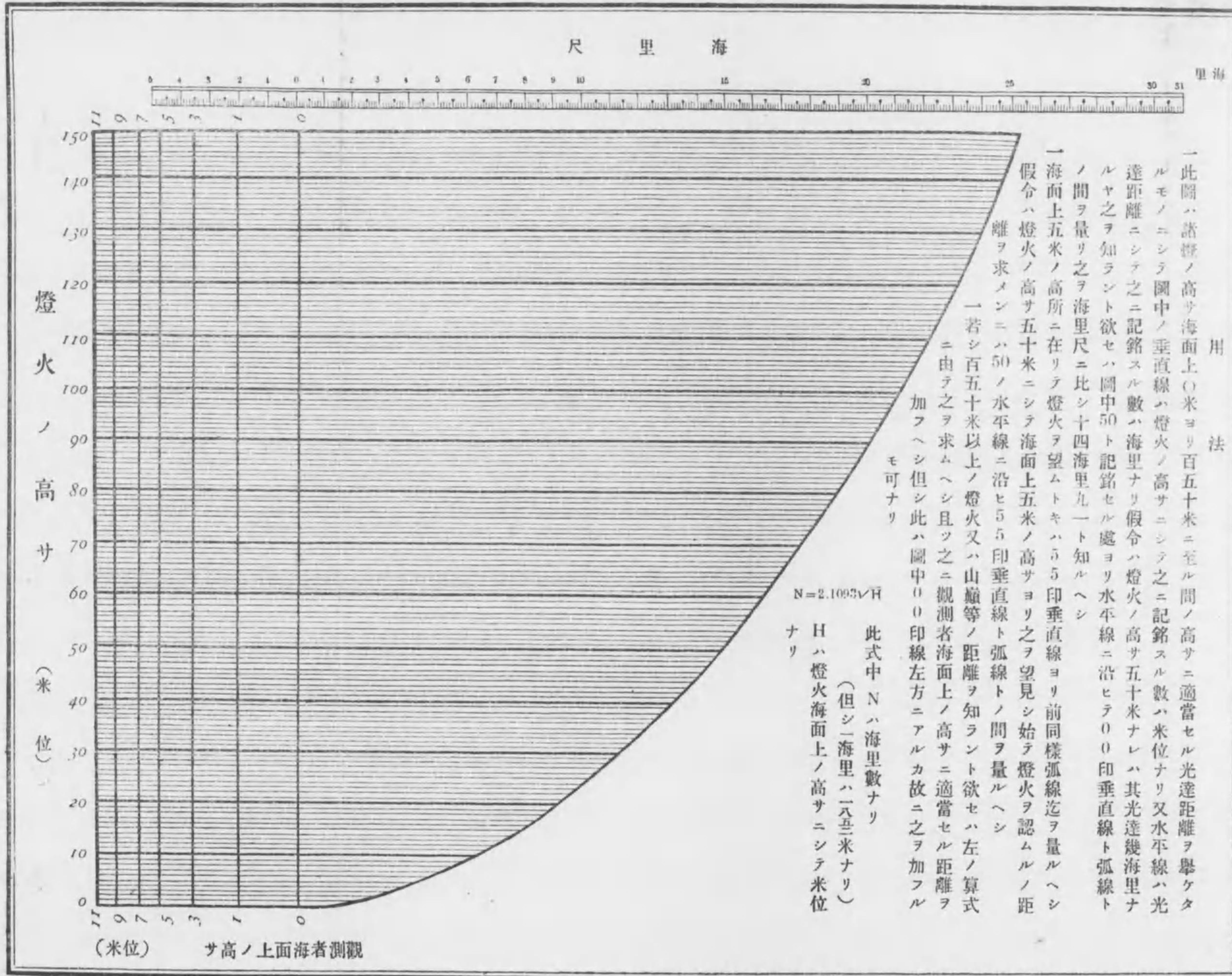
別種標立及標浮

System of Buoys, etc., Showing Colours, Shapes and Positions.

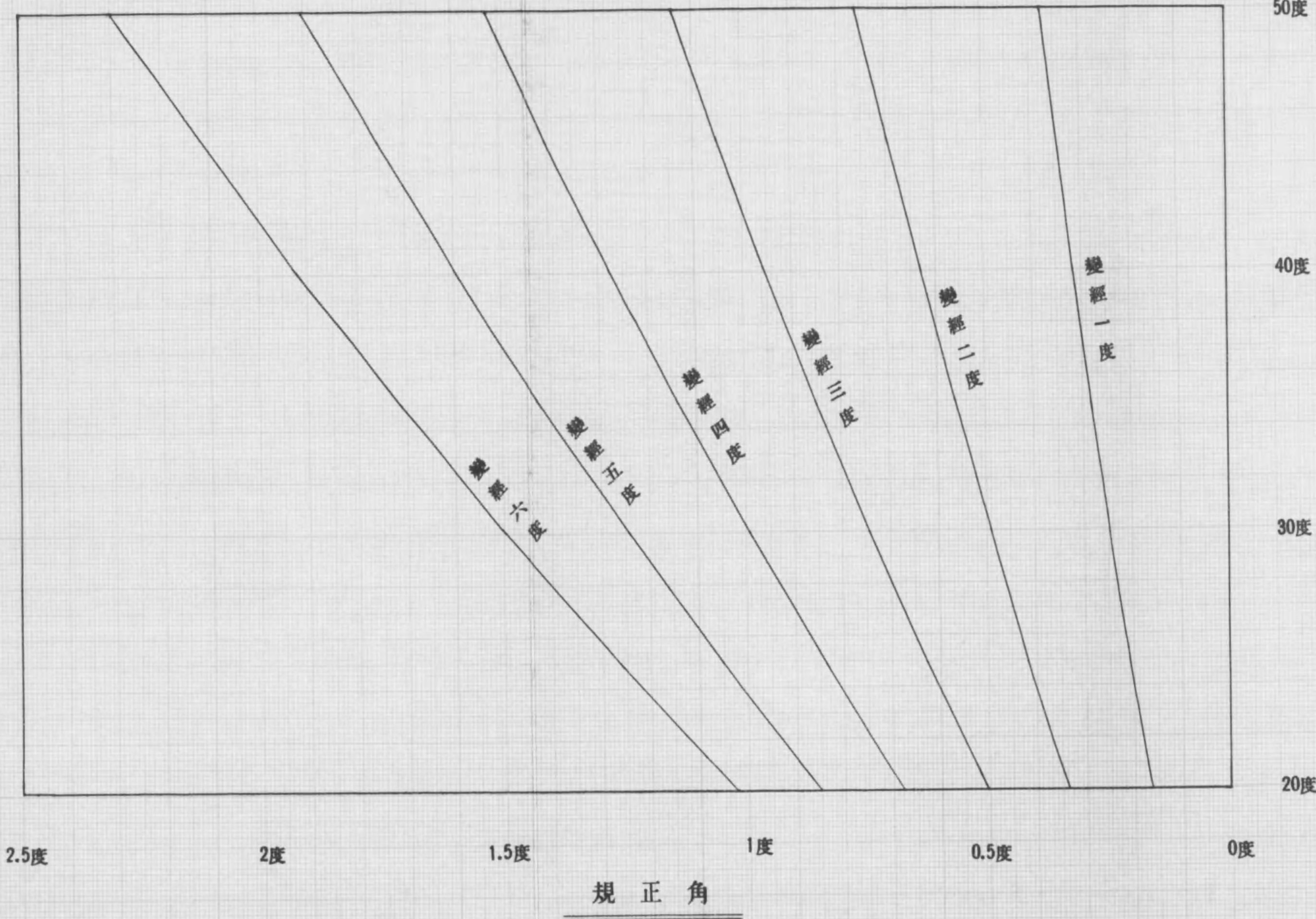




光達距離解說圖



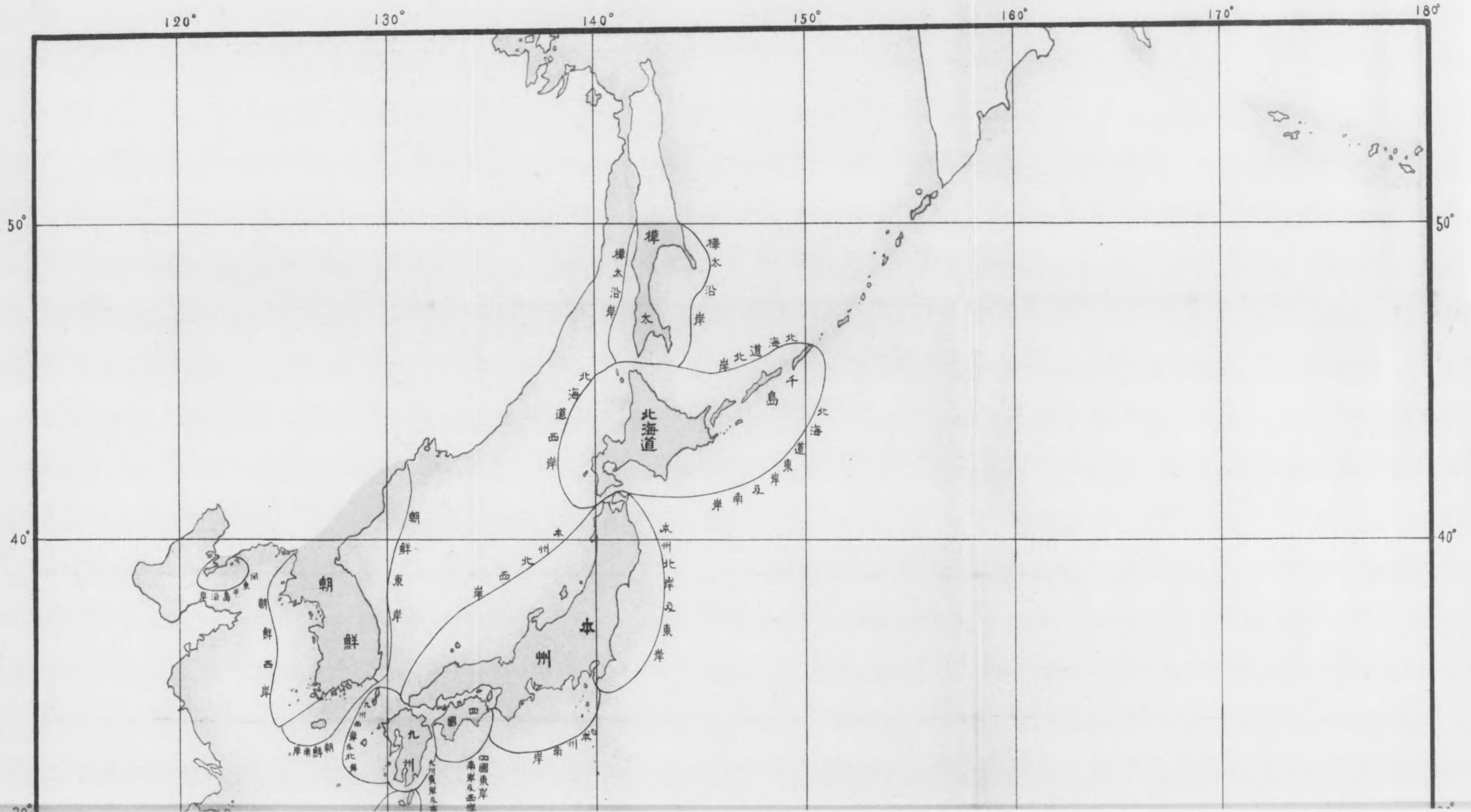
規正角ヲ求ムル曲線圖

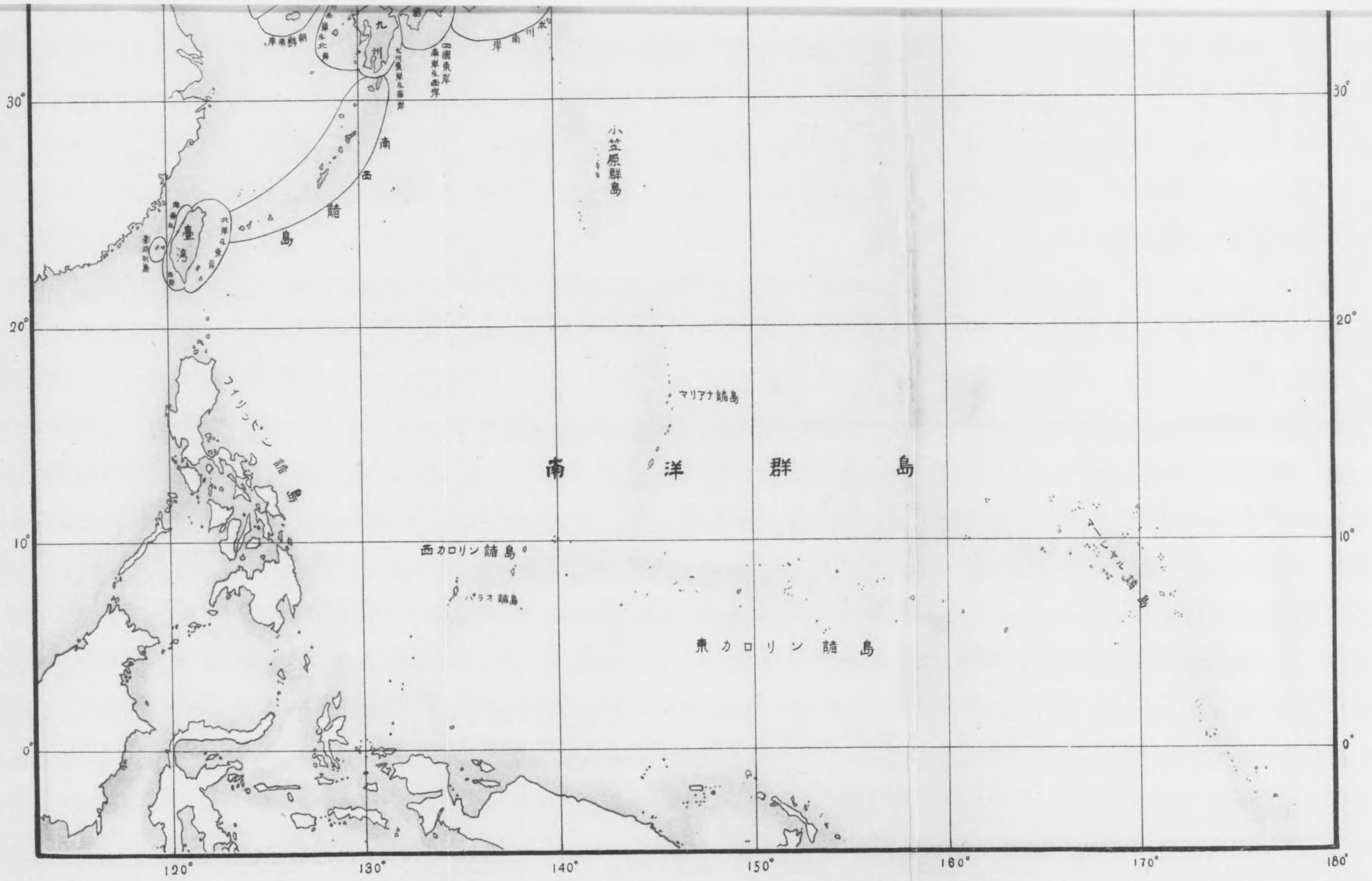


(使用法)
 船ノ推側位置及無線標識局或ハ無線羅針局ノ經緯度ニ依リ中分緯度及變經ヲ計算シ曲線圖ヨリ規正角ヲ求メ無線方位ニ加減スレバ漸長方位ヲ得

(注意)
 北半球ニテ船ガ無線標識局或ハ無線羅針局ノ東側ニアル時ハ(+) 西側ニアル時ハ(-)トナル

區劃索引圖





日本燈臺表目次

凡例

法令拔抄

- 刑法拔抄……………一三
- 太政官布達(私設燈標禁止)……………一三
- 告示(燈標設置ニ關スル金錢物品ノ獻納)……………一四
- 航路標識條例……………一四
- 朝鮮航路標識規則……………一五
- 臺灣航路標識規則……………一七
- 南洋群島航路標識規則……………一七
- 遞信省訓令(公設航路標識設置手續)……………一八
- 北海道廳府縣及區町村立航路標識看守條規……………一九
- 朝鮮總督府告示(鴨綠江、大同江、漢江及廣瀨灣航行注意、鎮海灣、加德水道、加德島北方水道、釜島水道及口乃梁海峽水源指定)……………二〇
- 無線方位測定通信規則……………二二

目次

一

無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信取扱方ノ件……………二一九

無線電信ニ依ル航行警報放送……………二一九

全上ニ關スル電務局長通牒……………二二〇

無線電報取扱規程抜抄……………二二〇

船舶通航、潮流信號規程……………二二一

船舶通報規則……………二二四

燈臺 燈竿、導燈、燈標及挂燈、浮標 **霧信號** 霧笛、霧鐘、霧砲、爆發信號

北海道北岸、東岸 千島ヲ含ム 及南岸……………北見國宗谷郡ヨリ渡島國白

北海道西岸……………白神郡ヨリ宗谷郡附近ニ至ル沿岸及島嶼

本州北岸及東岸……………陸奥國平館附近ヨリ安房國野島郡附近ニ至ル沿岸及島嶼

本州南岸……………野島郡ヨリ紀伊國友ヶ島附近ニ至ル沿岸及島嶼

本州北西岸……………網代郡附近ヨリ蓋井島ヲ經テ龍飛郡ニ至ル沿岸及島嶼

内海(瀬戸内)……………友ヶ島及鳴門海峡入口ヨリ伊豫國佐田郡豊後國關崎ヲ經テ筑前國若松ト白洲大文字岩及長門國網代郡ヲ連結セル海面

四國東岸、南岸及西岸……………鳴門海峡入口附近ヨリ佐田郡附近ニ至ル沿岸及島嶼

九州東岸及南岸……………關崎附近ヨリ大隅國佐多郡ヲ經テ薩摩國坊ノ岬ニ至ル沿岸及島嶼

九州西岸及北岸……………坊ノ岬附近ヨリ對馬及沖島ヲ經テ若松附近ニ至ル沿岸及島嶼

南西諸島……………大隅海峡ヨリ南西ニ連亘セル諸島

樺太 北緯五十度以南……………北東方ヨリ東、南、西ヲ經テ北西方ニ至ル沿岸及島嶼

關東半島……………租借地沿岸及諸島

朝鮮東岸……………慶尚南道龜頭末ヨリ眞方位南東ニ引キタル線以東

朝鮮南岸……………龜頭末ヨリ眞方位南東ニ引キタル線以西及全羅南道海南角ヨリ眞方位南西ニ引キタル線以東間

朝鮮西岸……………海南角ヨリ眞方位南西ニ引キタル線以西

臺灣北岸及東岸……………富貴角ヨリ基隆、膨佳嶼ヲ經テ鶯鷺鼻附近ニ至ル沿岸及島嶼

臺灣南岸及西岸……………鶯鷺鼻ヨリ富貴角附近ニ至ル沿岸及島嶼

臺灣澎湖列島……………

南洋群島……………

無線方位信號 (無線羅針局並無線標識局)……………一九一

船舶通航信號……………一九八

潮流信號……………二〇一

立標 陸標、導標、浮標……………

内地	二〇三
關東半島	二一一
朝鮮	二一二
臺灣	二一八
南洋群島	二一九
浮標	
内地	二三一
關東半島	二四四
朝鮮	二四六
臺灣	二五八
南洋群島	二六〇
沿岸別航路標識數調	二六四

凡例

- 一 本表ニハ本邦領域及關東半島租借地沿岸並ニ南洋廳所管南洋諸島ノ航路標識ヲ登載ス
- 一 航路標識ノ種類ハ燈臺、燈竿、燈船、導燈、燈標、挂燈浮標以上單ニ夜標ト概稱スルコトアルヘシ、立標、陸標、導標、浮標、浮標以上單ニ晝標ト概稱スルコトアルヘシ、霧笛、霧鐘、霧砲、爆發信號以上單ニ霧信號ト概稱スルコトアルヘシ、船舶通航信號、潮流信號及無線方位信號(無線羅針局並無線標識局業務)トス
- 一 經緯度ハ近時出版ノ海圖或ハ報告ニヨリ改正セシモノニ依ル、但シ無線方位信號所以外ハ概位置ヲ示ス趣旨ナルニヨリ分位ニ止メ三十秒以上ハ分ニ算入シ未滿ハ之ヲ省ク
- 一 明弧トハ燈光ノ海面ヲ照輝スル部分ヲ謂フ、明弧中異色ノ燈光ヲ顯ハス部分ヲ分弧ト稱ス
- 一 方位ハ眞方位正北ヲ零度トシ時計ノ指針ト同方向ニ三六〇度ヲ指シスニ據リ燈光區域ノ方位ハ海上ヨリ燈臺、無線方位信號測定區域ノ方位ハ信號所ヲ中心トシテ測定シ度位ニ止メ三十分未滿ハ之ヲ省ク
- 一 高サ及水深ハ米ヲ用ヒ五拾六入法ニヨリ 1/10 米迄ニ止ム(一米ハ曲尺三尺三寸)
- 一 燈火及立標ノ高サハ平均水面ヨリ測定ス
- 一 水深ハ大低潮時ノ水面ヨリ測定ス
- 一 里法ハ哩又ハ鏈ヲ用ヒタルモノアリ一哩ハ即チ一緯度ノ六十分一ニシテ凡ソ一八五一米八一八(十六町九分七厘五毛)一鏈ハ一哩ノ十分ノ一ナリ

- 一 光達距離ハ晴朗ノ夜大高潮平均水面上五米(一丈六尺五寸)ノ處ニ在ルモノ暗中始メテ燈火ヲ認メ得ヘキ距離ヲ舉ケタルモノナレハ天候及潮位ニ由テ差アルモノトス
- 一 點燈時間ハ日没ヨリ日出マテトス
- 一 霧信號ハ霧雪其ノ他溟濛ナル天候ニ執行ス
- 一 燈臺 不必要ノ場 燈船ニ於テハ萬國船舶信號法ニ據リ信號ヲナス
- 一 左記燈臺ニ於テハ船舶通報取扱規則ニ依リ船舶ノ通過報及信號報ヲ取扱フ
- 一 西能登呂岬燈臺、稚内燈臺、神威岬燈臺、白神岬燈臺、尻矢崎燈臺、金華山燈臺、犬吠崎燈臺、劍崎燈臺、神島燈臺、潮岬燈臺、日ノ御崎燈臺、大角鼻燈臺、佐田岬燈臺、六連島燈臺、神崎燈臺、大瀬崎燈臺、佐多岬燈臺、絶影島燈臺、港門島燈臺、小青島燈臺、鶯鑿鼻燈臺、
- 燈等級並ニ光力
- 一 燈等級ハ折射器ノ内經ヲ以テ分チ内經大ナルモノハ大ナル火口ヲ備フ其折射器ノ大小火口ノ光力左ノ如シ

名 稱	一 等	二 等	三 等	三等小	四 等	五 等	六 等	無 等
折射器ノ内經 突米	一、八四〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	、七五〇	、五〇〇	、三七五	、三〇〇	、三〇〇
折射器ノ高サ 突米	二、五九〇	二、一一七	一、五七六	一、二五〇	、七二二	、五四一	、四三三	、二七〇

火口ノ燭光數		石 油	石油蒸發燈	ビンチ瓦斯 (マントル)附	アセチレン 瓦 斯
燭 光 數	ボギ一小數	二二〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	ピオール單位	一三〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
燭 光 數	ボギ一小數	一三〇	六〇〇	七〇〇	一、〇〇〇
	ピオール單位	一八	四〇〇	六〇〇	一、〇〇〇
	ボギ一小數	一八	四〇〇	四五	三六
	ピオール單位	一八	一八	三二	一八

茲ニ謂フ一燭光トハ一時間ニ鯨蠟製 石蠟又ハ木蠟 小許ヲ雜フ 蠟燭ノ重量百二十「グレイン」ヲ消費スル光力ニシテ之レト他ノ單位トヲ比較スレハ左ノ如シ

燭 光 數	ボギ一小數	ピオール單位	燭 光 數	ボギ一小數	ピオール單位
一	一、〇一	〇、〇五	一、〇〇〇	一、〇一〇	一〇
五	五、〇五	〇、二五	五、〇〇〇	五、〇五〇	二五〇
一〇	一〇、一	〇、五	一〇、〇〇〇	一〇、一〇〇	五〇〇
五〇	五〇、五	二、二五	五〇、〇〇〇	五〇、五〇〇	二、五〇〇
一〇〇	一〇〇	五	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇
二〇〇	二〇〇	一〇	五〇〇、〇〇〇	五〇五、〇〇〇	二五、〇〇〇

三〇〇	三〇三	一五	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇一〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
四〇〇	四〇四	二〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
五〇〇	五〇五	一五			

一 光力ハ折射器外ニ於テ量リシ燭數若クハ之ニ相當スル燭數ヲ示ス、但シ折射器光力ノ強弱ハ直接其等級ニノミ比準シ能ハサルモノナリ

一 光力ハ一千燭光ヲ單位トシテ之ヲ示ス

二千燭光以上ノ光力ハ最近半單位ヲ以テ算ス

例セハ二千燭光ヨリ二千二百五十燭光マテハ二千燭光ニ近キヲ以テ 2 ヲ以テ示シ、二千二百五十一燭光ヨリ二千七百五十燭光マテハ二千五百燭光ニ近キヲ以テ 2½ ヲ以テ示シ又二千七百五十一燭光ヨリ三千二百五十燭光マテハ三千燭光ニ近キヲ以テ 3 ヲ以テ示ス

二千燭光未滿ハ最近四分一單位、千燭光未滿ハ最近十分一單位ヲ以テ算ス、但シ一百燭光未滿ハ 1/10 弱トス

□ 燈 質

不動 Fixed (F.) 一定ノ光力ヲ持續スルモノ

明暗 Occulting (Occ.) 不動光ニシテ一定ノ間隙毎ニ俄然一回ノ全暗ヲ現スモノ但シ明間ハ暗間ト同一ナルカ若クハ稍長キヲ例トス

複連明暗 Group Occulting (Gp. Occ.) 不動光ニシテ一定ノ間隙毎ニ俄然二回以上ノ全暗ヲ呈スルモノ

互光 Alternating (Alt.) 異色(概ネ紅白)ノ光ヲ交互ニ發シ其間ニ毫モ暗黒ヲ挾マサルモノ

閃光 Flashing (Fl.) 單閃光ヲ閃發スルモノニシテ暗黒ノ存續ハ常ニ閃光ノ存續ヨリ長キモノ

閃交光 Alternating Flashing (Alt. Fl.) 閃光燈ニシテ異色ノ單閃光ヲ交互ニ發スルモノ

連閃 閃 Group Flashing (Gp. Fl.) 二個若クハ二個以上ノ閃光ヲ幾許カノ暗黒ヲ隔テ、連發スルモノ

連閃交光 Alternating Group Flashing (Alt. Gp. Fl.) 連閃燈ニシテ異色ノ閃光ヲ交ナルモノ

聯成不動閃光 Fixed and Flashing (F. Fl.) 閃光燈ニシテ暗黒ノ代リニ弱キ不動光ヲ存スルモノ

□ 立標浮標位置

一 立標及浮標位置ハ經緯度ヲ以テ示サル、時ハ該標ヨリ其附近目標ノ概真方位又ハ夾角ヲ以テ之ヲ示ス

一 河川又ハ海峽ニ於テ左舷又ハ右舷ト曰フハ河口又ハ海口ヨリ水源ニ溯ル船ヨリ其左右ヲ稱ス

一 海峽又ハ内海ニ於ケル水源ノ區分ハ紛亂シ易キヲ以テ之ヲ左ニ示ス

内海ハ神戸港ヲ以テ水源トス

下關海峽ハ西口ヲ海口トシ東口ヲ水源トス

八代海灣ハ長島海峡ヲ海口トシ三角港ヲ水源トス
島原海灣ハ大託問島ヲ水源トス
洲堆ハ水源ニ近キ方ヲ上端トシ遠キ方ヲ下端トス

□ 立標種別

左舷障害立標	黒	色ニ塗ル	
右舷障害立標	紅	色ニ塗ル	
孤立障害立標	紅黒横線ニ塗ル		

□ 浮標種別

種別	形状	目	標	塗色	記	事
左舷浮標	圓錐形	圓筒形	圓錐形	黒		寄數番號ヲ描ク
右舷浮標	圓錐形	三角形	圓錐形	紅		偶數番號ヲ描ク
洲ノ下端浮標	圓錐形	菱形	圓錐形	黒白横線		
洲ノ上端浮標	圓錐形	立五形	圓錐形	紅白横線		

孤立障害浮標	圓錐形	球	紅黒横線	
沈船浮標			緑	一面ニ「沈船」他面ニ「Wreck」ト白書ス

圓柱形浮標ニシテ目標ヲ載キタルモノヲ時宜ニヨリ碇置スルコトアルヘシ其着色等ハ碇置ニ應シテ示スモノトス

□ 注意

- 一 記事欄中看守員ヲ常置セズトアルハ看守員ガ標識ト隔リタル地點ニ於テ看守スルモノニテ萬一燈火消滅ノ場合其復舊ニ多少ノ時間ヲ要スヘキコトヲ示ス
- 一 霧信號ノ音達ハ大氣ノ狀況及地勢等ニ依リテ左ノ如キ事情アルカ故ニ霧信號ノミヲ過度ニ信賴スルコト能ハサルト共ニ鐘鉛探深ヲ怠ルヘカラサルコトヲ航海者ニ豫告ス又見張人ハ成ルヘク音響ノ聽取ヲ妨ケサル場所ヲ擇ヒ配置スルヲ要ス
- 一 音響ノ強弱及方位ニ依リテ霧信號所ノ方向及距離ヲ判知シ能ハザルコトアリ
- 一 高調低調ノ聯成霧笛ハ時トシテ其二音ノ一ヲ聽キ得サルコトアリ
- 一 霧信號所附近ニ於テモ時トシテハ音響ヲ聽キ得サル區域アルコトアリ
- 一 海上ニ於テハ既ニ霧ノ發生アルモ其狀況ニ依リテハ霧信號所ヨリ之ヲ認識シ能ハサル爲メ霧信號ヲ開

始セサルコトアリ

- 一霧ヲ認ムルモ發動機ヲシテ其活動ヲ始メシムル用意整フ迄ニハ多小ノ時間ヲ要スルコトアリ
- 一霧信號ノ音響ハ甲板ニテ聽クヲ得サルモ橋上ニテ之ヲ聽取シ得ルコトアリ
- 一無線測定方位ハ通常方位測定區域内ト雖モ岬角島嶼其他船舶等介在スル爲誤差ヲ生スルコトアルヘシ
- 一關東半島及樺太島ニ於ケル私設航路標識ニツイテハ本表中之ヲ掲載ス
- 一告示ニ記載セラレサリシ燭光數ニシテ其後判明ノモノハ便宜之ヲ表中ニ掲ケタリ
- 一其年五月三十一日迄ニ告示済ノモノ及同日迄ニ工事完了シタル航路標識ハ同日點燈ノ運ヒニ至ラサルモ本表ニ掲載ス

一航路標識ノ改築、改造又ハ燈器ノ變更セラレタルモノハ其年若クハ其翌年發行ノ日本燈臺表ニ限リ其改築改造又ハ變更ノ年月日及事項ヲ記事欄ニ記載ス

一航路標識ハ逐時増減變更アルヲ以テ最新ノ燈臺表ヲ使用シ尙各種告示ヲ參照スヘジ

一 本表各航路標識記載事項ガ實際ト相違セルモノアルヲ認知シタルトキハ速カニ左記ヘ通報アリタシ

樺太、北海道、本州、四國
九州、沖繩及關東半島沿岸

ノ航路標識ニ關シテハ
電話 二一〇三
二一四六
二一五八
一八一八

局

昭和六年六月一日以降昭和七年五月三十一日迄ニ新設撤廢又ハ變更セル航路標識ハ左ノ如シ
但古ク建設セラレシモノ又ハ未告示ノモノモ便宜新設ノ部ニ編入ス
大同江及鴨綠江ニ於ケル浮標及立標ハ毎年結水中全部撤去シ解氷後碇置スルモノナルヲ以テ前年ト同一ナラサルモノアルモ左記異動表ニハ之カ記載ヲ省略ス

新設

燈臺

●函館港假設船洞防波堤、留萌港北防波堤、留萌港南防波堤(以上) ●龍飛埼、大阪港大
棧橋、神戸港南防波堤東、神戸港東防波堤ノ二南、神戸港東防波堤ノ二北、洲本港、白
木埼防波堤、明石港突堤、枕崎港島堤、草垣島、野母埼(以上) ●墨湖港(朝鮮) ●帽島、海洋
島、西中島、小龍山島(關東州)

燈竿

●稚内港船入洞防波堤、留萌港東突堤、全西突堤、乙部港船入洞西防波堤(北海道上)
●松阪港東防波堤、小木港、船形港防波堤、氣仙沼港南、氣仙沼港第三號、全第五號、全第

廢止又ハ撤去

- 七號、全第九號、全第十一號、全第十三號、全第十五號、荊藻島東、荊藻島西、岩屋港東突堤、中ノ關港(以上内地) ●西之表港北防波堤、西之表港西防波堤(以上南西群島) ●大連港寺兒溝第二棧橋、露西亞町防波堤(以上關東州)
- 導燈 ●九龍浦假設、西水羅港假設、甘浦港假設(以上朝鮮)
- 燈標 ●白糠港(内地) ●雄基港甲防波堤、釜山南港防波堤(以上朝鮮)
- 挂燈浮標 ●小樽港假設、室蘭第一號及第二號、函館港防波堤(以上北海道)
- 霧信號 ●伏木港假設、七尾港假設、神戸港假設第十一號、金ノ弦岬沖A及B(以上内地)
- 立標 ●梅加島燈臺(朝鮮)
- 浮標 ●橋石礁、梧里浦里導燈(以上朝鮮) ●テニアン港二番(南洋群島)
- コヅカミ礁、四日市港第一號及第三號乃至第十二號、品川沖第三號乃至第六號及第八號乃至第十六號(以上内地) ●基隆港G、全J、全K(以上臺灣)
- 普蘭店港第一號、全第二號、全第四號、全第六號(以上關東州)
- 惠山岬、稚内、鬼志別(以上北海道) ●尻矢、鯉崎、金華山、野島崎(以上内地)
- 犬吠崎(内地) ●港門島(朝鮮) 以上何レモ試驗中

無線方位信

改

- 燈臺 ●白木埼防波堤假設(内地)
- 燈竿 ●洲本、龍飛崎(以上内地) ●海洋島(關東州)
- 挂燈浮標 ●荊藻島假設、神戸港假設第一號乃至第三號、弟子待沖C及D(以上内地)
- 立標 ●漢口東柿岩里落標(朝鮮)
- 浮標 ●品川沖第三號乃至第四號及第六號乃至第十二號、芝浦沖第十三號乃至第十五號及第十七號、鹿兒島(以上内地) ●テニアン港二番(南洋群島)

變

- 燈臺 ●第三海堡、細島(以上内地)
- 燈竿 ●和田鼻(内地) ●注文津東、注文津西(以上朝鮮)
- 導燈 ●鳥羽高燈、塩釜港(以上内地)
- 立標 ●大長山島紅石礁(關東州)
- 浮標 ●トラツク港外無番(南洋群島)
- 燈臺 ●增毛(燭光)、神威(燭光)、釧路港南防波堤(燭光)、日和山(燭光)、鯉崎副燈(燭光源)、日ノ御崎(燭光源)
- 安乘崎(燭光源)、一色(燭光源)、小那沙美島(燭光源)、小佐木島(燭光源)、三池港(燭光源)、先原崎(燭光源)

凡例

- 會津高崎燈(以(上)南四諸島) ● 鷺鷥鼻(以(上)燈塔)
- 燈竿 ● 安乘村(以(上)燈塔) 伊勢大湊港(以(上)地名)
- 導燈 ● 鳥羽高燈(以(上)燈塔) 油津港低燈(以(上)地名)
- 挂燈浮標 ● 本牧(以(上)燈塔) 四日市港第二號(以(上)燈塔) 橫濱港第二號(以(上)燈塔) 橫濱港第三號(以(上)燈塔) 品川沖第七號(以(上)燈塔) 新町沖(以(上)燈塔)
- 霧信號 ● 日和山燈臺(以(上)燈塔) 釧路港南防波堤燈臺(以(上)燈塔) ● 鮎崎燈臺(以(上)燈塔)
- 立標 ● ヤップ港三番乃至七番(以(上)燈塔) ● 巨文島燈臺(以(上)燈塔)

航路標識ニ關スル法令拔抄

明治四十年四月二十四日 法 第四十五號

第二百五條 (第一項略)

燈臺又ハ浮標ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメタルモノ亦同シ(二年以上ノ有期懲役ニ處ス)

第二百二十七條 第二百五條ノ罪ヲ犯シ(中略)艦船ノ覆沒若クハ破壊ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同シ

第二百二十八條 (前略) 第二百五條(中略)未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百二十九條 過失ニ因リ(中略)艦船ノ往來ノ危險ヲ生セシメ(中略)又ハ艦船ノ覆沒若クハ破壊ヲ致シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

其業務ニ從事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

□ 太政官布達 明治十八年六月 第十一號

明治五年十月第三十二條布達ヲ廢止シ自今燈標(航路標識)私設ヲ禁止ス

但既設燈標(航路標識)ニシテ從前船舶ヨリ其費用ヲ徵セサルモノハ來ル明治二十八年ヲ限リ廢止シ其費用徵收願濟年限ナキモノハ此際相當ノ期限ヲ定メ更ニ工部省ヘ願出ツヘシ
明治二十五年十一月選信省令第六號ヲ以テ但書中明治二十五年ヲ明治二十八年ト改メス

○ 告 示 明治二十年二月 第十七號

郵便電信事業及燈標（航路標識）設置ニ關スル人民金錢物品ノ獻納ハ特ニ之ヲ許可スヘシ

○ 航路標識條例 明治二十一年十月 勅令第六十七號

第一條 航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ政府ニ於テ之ヲ設置スルモノトス

第二條 土地ノ形狀又ハ情況ニ由リテハ地方税又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得此場合ニ於
ハテ地方長官ニ於テ逓信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

從來私設ノ航路標識ハ免許年間之ヲ繼續スルコトヲ得

逓信大臣ニ於テ前二項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更又ハ撤去セシムルコト
ヲ得政府ニ於テ直接管理ヲ必要トスルトキハ相當ノ價格ヲ以テ第一項第二項ノ航路標識ヲ買上クル事ヲ得

第三條 航路標識ヲ損壞シ又ハ移轉シ又ハ其性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ逓信大臣ノ指
定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ行爲ヲ爲シタル者ハ十一日以上三年以下ノ
重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 航路標識ニ船筏其他ノ物ヲ繋キ又ハ衝突セシメ又ハ攀躋シ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ五錢以上一圓九
十五錢以下ノ科料ニ處ス

○ 朝鮮航路標識規則 大正七年十月十九日 昭和七年三月十四日 朝鮮總督府令第百號 朝鮮總督府令第三〇號

第一條 朝鮮ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ設置ス

第二條 土地ノ狀況ニ因リ公共團體又ハ私人ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得

前項ニ依リ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ設置者ヲ變更シ又ハ航路標識ノ位
置若クハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三條 航路標識ノ設置ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 一 位置ヲ記載シタル書面
 - 二 構造方法書
 - 三 工事費概算書
 - 四 工事設計圖
 - 五 位置及附近ノ情況ヲ示セル圖面
 - 六 最近一年間ニ於ケル通過又ハ出入ノ船舶數調書
 - 七 管理及維持方法書
- 航路標識ノ位置變更ノ許可申請書ニハ前項第一號及第五號ノ書類及圖面ヲ性質變更ノ許可申請書ニハ第二
號乃至第四號及第七號ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 第四條 航路標識ノ設置又ハ變更ノ許可ヲ受ケタル者供用ヲ開始セムトスルトキハ其ノ期日十四日前ニ之ヲ朝鮮總督府遞信局長ニ届出ツヘシ
- 第五條 第二條ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ期日ヲ定メ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ
- 第六條 第二條ノ航路標識ノ看守ニ從事セシムル爲メ設置者ハ其ノ費用ヲ以テ看守員ヲ置クヘシ
前項ノ航路標識看守員ヲ採用シタルトキハ其ノ履歷書ヲ具シ朝鮮總督府遞信局長ニ届出ツヘシ
- 第七條 第二條ノ航路標識ニ於テ使用スル燈油其ノ他點燈用ノ消耗品ニ付テハ豫メ朝鮮總督府遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第八條 朝鮮總督ニ於テ第二條ノ航路標識不完全ニシテ危險ノ虞アリト認ムルトキハ其ノ廢止、修理其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ
朝鮮總督府遞信局長ハ第二條ノ航路標識ニ付必要アリト認ムルトキハ検査官ヲ波遣シテ検査ヲ爲サシメ又ハ設置者ニ對シテ報告書ノ提出ヲ命スルコトヲ得
- 第九條 航路標識ヲ損壞シ若クハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第十條 航路標識ニ船筏其他ノ物ヲ繫留シ若クハ衝突セシメ又ハ攀躋シ若クハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○臺灣航路標識規則 明治三十一年五月二十一日
臺灣總督府令第二六號

- 第一條 臺灣ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ臺灣總督府ニ於テ之ヲ設置スルモノトス
- 第二條 土地ノ形狀又ハ情況ニ由リ一個人又ハ共同團體ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ地方長官ヲ經由シ臺灣總督ノ許可ヲ受クヘシ 但シ船舶ニ對シ其費用ヲ徴収スルコトヲ許サス
臺灣總督ニ於テ前項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタルトキハ之ヲ變更シ又ハ撤去セシムルコトアルヘシ
- 臺灣總督府ニ於テ直接管理ヲ必要トスルトキハ相當ノ價格ヲ以テ前項ノ航路標識ヲ買上ルコトアルヘシ
- 第三條 標識ヲ損壞シ又ハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ臺灣總督ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光若クハ警號ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第四條 航路標識ニ船筏其他ノ物ヲ繫キ又ハ衝突セシメ又ハ攀躋シ又ハ之ヲ汚穢シタルモノハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

○南洋群島航路標識規則 大正十四年十月二十三日
南洋廳令第十三號

- 第一條 南洋群島ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲メ南洋廳ニ於テ之ヲ設置ス
- 第二條 土地ノ情況ニ依リ官以外ノ者ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ノ許可ヲ受クヘシ其位置又ハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 南洋廳長官ニ於テ前項ノ航路標識不完全ニシテ危害アリト認メタル時ハ之ヲ變更又ハ撤去セシムル事アルヘシ
- 第三條 前項ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其期日ヲ定メ所轄支廳長ヲ經由シテ南洋廳長官ニ届出ツヘシ
- 第四條 航路標識ヲ損壞シ若クハ移轉シ又其性質ヲ變更シ又ハ之ヲ蔽遮スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ南洋廳長官ノ指定シタル區域内ニ於テ航路標識ノ燈光ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第五條 航路標識ニ船隻其他ノ物ヲ繫キ若クハ衝突セシメ又ハ攀躋シ若クハ之ヲ汚穢シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

□ 遞信省訓令 明治二十一年十月 第十號

第一條 航路標識條例第二條第一項ニ依リ地方税又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ設置セムトシ地方長官ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ請フトキハ左ノ書類ヲ具フヘシ

- 一 航路標識設置位置及其近傍實測地圖
- 二 航路標識圖面及其構造方法並費用調書
- 三 一個年間ニ入港スヘキ日本形船西洋形船員數及其石數噸數並其最大船舶石數又ハ噸數概算調書
其位置ヲ變更セムトスルトキハ第一項ノ書類又其性質ヲ變更セムトスルトキハ第二項ノ書類ヲ具シ遞信大臣ニ經伺ノ上之ヲ變更スヘシ
- 第二條 前條航路標識ヲ設置シ若クハ其位置又ハ性質ヲ變更シ或ハ之ヲ停止若クハ廢止スルトキハ當省ヨリ告示スヘキヲ以テ地方長官ハ豫メ其實施期限ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ
- 第三條 船舶繫留等ノ爲メ棧橋又ハ埠頭ニ設置スル標識ハ航路標識ト誤認シ易キ虞アルヲ以テ其設置變更等ハ凡テ地方長官ニ於テ遞信大臣ニ經伺ノ上若シ航路ニ障害アリト認ムルトキハ變更又ハ撤去ヲ命スヘキ趣旨ヲ以テ之ヲ許可スヘシ

□ 北海道廳府縣及區町村立航路標識看守條規 明治二十二年三月 遞信省令第三號

- 第一條 地方税又ハ區町村費ヲ以テ航路標識ヲ建設シタルトキハ看守員ヲ定メ其標識ニ關スル諸般ノ業務ヲ掌理セシムヘシ 但シ夜標ニハ二名以上ノ看守ヲ置キ内一名ヲ看守長ト爲スヘシ
- 第二條 看守長ハ遞信省燈臺局又ハ其燈臺ニ於テ看守ノ業務ヲ習熟シタルモノニ限ル

第三條 航路標識看守上遞信省燈臺局ノ定ムル所ノ看守教則及同局又ハ同局派遣ノ視察官吏ヨリ教示スル所ノ事項ハ之ヲ遵守スヘシ

第四條 燈油其他點燈用ノ諸物品ハ遞信省燈臺局ノ認可ヲ經タルモノニ非サレハ使用スルヲ得ス

朝鮮總督府告示

大正六年十一月五日 昭和七年六月八日
第二百五十二號 第三百十二號改正

鳴綠江航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ

- 一 本航路ハ大潮或ハ増水ノ場合殊ニ夏季出水ノ際ニハ水深ノ變化及沙堆ノ伸縮又ハ變位等極リナキコト
- 二 本航路ノ水道ハ平時ニ於テモ屢水路ニ變化ヲ生スルコトアリ且最低潮時ノ水深〇・六米(二呎)以下ノ箇所アルヲ以テ半潮時以上ニ非サレハ航行甚タ困難ナルコト

龍岩浦以北ニ溯航セムトスル船舶ハ西水道ヨリスルヲ可トスルコト

三 本航路ヲ航行セムトスル船舶ノ吃水ハ左ニ掲クルモノヲ超エサルヲ可トスルコト

- (一) 新義州港(又ハ安東縣)ニ至ル間 高潮時ニ於テ 二・七米 (九 呎)
- (二) 龍岩浦ニ至ル間 同 三・九米 (十三 呎)
- (三) 第三號浮標ヨリ多獅島錨地ニ至ル間 低潮時ニ於テ 三・六米 (十二 呎)
- (四) 大東溝ニ至ル間 高潮時ニ於テ 四・八米 (十六 呎)

四 本航路ニ於ケル龍岩浦錨地ハ水路變遷ノ結果水深ヲ減シ船舶ノ碇泊不可能ナルヲ以テ此ノ附近ニ於テ碇泊セムトスルモノハ他船ノ航行ヲ妨ケサル様碇泊スルコト

五 本航路ノ浮標ハ毎年氷結中一時之ヲ撤去シ解氷後ニ至リ漸次之ヲ碇置スルモノナルコト

六 本航路ノ浮標ハ増水ノ爲一時之ヲ撤去シタル場合ハ減水後ニ至リ之ヲ碇置スルモノナルコト

七 本航路ノ浮標ハ沙堆ノ位置及水深ノ變更ニ伴ヒ隨時之ヲ増減變更スル場合アルコト

八 本航路ノ標識ハ流勢、風雨、潮浪其他ノ事故ニ依リ流失、流轉、倒塌其ノ他異狀アリタル場合ハ發見後之ヲ再置スル迄多少ノ日時ヲ要スルコト

九 本航路ノ航路標識ニ付テハ著シク位置、構造等ノ變更シタルモノニ限り之ヲ告示スルモノナルコト

十 本航路ニ於テ水路ノ嚮導ヲ受ケムトスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其他ノ方法ヲ以テ嚮導者ノ乗込ヲ要スル場所、日時、嚮導區域及出入別等ヲ其二日前迄ニ安東縣六番通五丁目一番地、鳴綠江水先人組合安東縣出張所ニ申込ミ朝鮮水先令ニ依ル水先人ヲ得ルノ便宜アルコト

朝鮮總督府告示

大正二年十二月十七日 昭和七年六月八日
第四百一十一號 第三百十三號改正

朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スシ

- 一 大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ノ挂燈浮標並浮標ハ毎年結氷中一時之ヲ撤去シ解氷後ニ至リ之ヲ碇置ス
- 一 大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路標識ハ之ヲ新設若クハ撤廢シ又ハ燈質若クハ著シク位置等ノ變更シタル場合ヲ除クノ外之カ告示ヲ爲サス

朝鮮總督府告示 昭和五年三月十二日 第百六十六號

朝鮮南岸鎮海灣、加德水道、加德島北方水道、釜島水道及見乃梁海峽ニ付テハ馬山港ヲ水源ト定ム

無線方位測定通信規則 昭和二年五月七日 逓信省令第十四號

第一章 總 則

- 第一條 無線電信ニヨル方位測定ニ關スル通信ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ
- 第二條 無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信ヲ分チテ左ノ二種トス
 - 一 無線羅針局業務 方位測定機ノ裝置ヲ有スル陸上無線電信以下無線羅針局ト稱スト船舶無線電信トノ間ノ方位測定ニ關スル通信
 - 二 無線標識局業務 方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ト無線標識符號ヲ送信スル目的ヲ以テ施設シタル陸上無線電信以下無線標識局ト稱スト船舶ト交信ヲ爲ス目的ヲ以テ施設シタル陸上無線電信ニシテ無線羅針局

若クハ無線標識局ニ非サルモノ以下陸上無線電信ト稱ス又ハ船舶無線電信トノ間ノ方位測定ニ關スル通信

第三條 方位測定業務ニ使用スヘキ電波長ハ左ノ區別ニ依ルヘシ

- 一 無線羅針局業務
 - 船舶無線電信ヨリ無線可聽電波六百「メートル」又ハ持續電波二千四百「メートル」ノ内別ニ告示スル羅針局ニ對スル呼出當該無線羅針局ノ聽取電波長
 - 可聽電波ヲ使八百「メートル」〔八百「メートル」〕ノ電波長ノ裝置ヲ有セサル船舶無線電信ニ其ノ他用スルトキ〔限リ六百「メートル」〕電波長ヲ使用スルコトヲ得（持續電波ヲ使用スルトキ）〔二千四百「メートル」〕

- 二 無線標識局業務
 - 無線標識局ヨリ標識符號ノ送信可聽又ハ持續電波一千「メートル」

陸上無線電信又ハ船舶無線電信ヨリ方位測定ニ供スル符號ノ送信ノ請求ヲ受ケタル時分ニ於ケル現用電波長、船舶無線電信ニ在リテハ可聽電波六百「メートル」又ハ持續電波二千四百「メートル」

第四條 無線羅針局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス

- 一名稱
 - 二 呼出符號
 - 三 位置 (經緯度ヲ以テ表ハス)
 - 四 船舶無線電信ト交信ヲ爲ス無線羅針局以下主無線羅針局ト稱スナルトキハ發射電波ノ性質及送信電波長
 - 五 船舶無線電信ト交信ヲ爲ササル無線羅針局以下副無線羅針局ト稱スナルトキハ副無線羅針局ニ於ケル方位測定ニ關シ船舶無線電信ト交信ヲ爲ス主無線羅針局ノ名稱
 - 六 通常方位測定區域 (海上ニ於ケル區域ヲ距離ヲ以テ表ハス)
 - 七 聽取電波長
 - 八 其ノ他必要ナル事項
- 第五條 無線標識局ニ關スル左ノ事項ハ別ニ之ヲ告示ス
- 一名稱
 - 二 呼出符號
 - 三 位置 (經緯度ヲ以テ表ハス)
 - 四 發射電波ノ性質及送信電波長
 - 五 通常通達距離

六 聽守裝置ヲ有スルトキハ聽守電波長

七 其ノ他必要ナル事項

第六條 本令ニ規定ナキ事項ハ一般ノ無線電信通信方法ニ關スル規定ニ依ルヘシ

第二章 無線羅針業務

第七條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ該無線羅針局ノ通常方位測定區域内ニ入りタルトキ之ヲ爲スヘシ

第八條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ該無線羅針局ヲ呼出シ其ノ呼出ノ符號ニ引續キ左ノ事項ニ該當スル略符號ヲ送信スヘシ此ノ場合ニ於テ無線羅針局ニ對シ八百「メートル」以外ノ電波長ニ依リ方位測定ニ供スル符號ヲ送信セムトスルトキハ該略符號ノ次ニ使用電波長ヲ表ハス數字「六〇〇」又ハ「二一〇〇」ヲ送信スヘシ

事項 略符號

當船ノ眞方位如何 Q T E ?

第九條 船舶無線電信ニ於テ副無線羅針局ニ對シ方位測定ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ主無線羅針局ヲ呼出シ之ニ前條ノ方法ニ依リ必要ノ事項ヲ送信スヘシ此ノ場合ニ於テハ略符號「Q T E ?」ノ次ニ副無線羅針局ノ呼出符號ヲ送信スヘシ

第十條 主無線羅針局ニ於テ副無線羅針局ニ對シ方位測定ノ準備ヲ爲スヘキ旨ノ通知ヲ爲サムトスルトキハ
電信電話ノ連絡アル場合ハ之ニ依リ其ノ連絡ナキ場合ハ無線電信無線電話ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十一條 無線羅針局ニ於テ船舶無線電信ヨリ方位測定ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ測定ノ準備ヲ完了シタ
ルトキハ該船舶無線電信ニ對シ方位測定ニ供スル符號ヲ送信スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十二條 副無線羅針局ニ於テ前條ノ通知ヲ爲サムトスルトキハ主無線羅針局ヲ介シテ之ヲ爲スヘシ
第十三條 前二條ノ通知ハ可送符號——ヲ送信シテ之ヲ爲スヘシ

第十四條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ所定ノ
電波長ニ依リ該無線羅針局ニ於ケル方位測定上必要ナル最小限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點
ヲ稍長クシテ五十秒間反覆送信スヘシ

第十五條 無線羅針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セムトスルトキハ左ノ事項ニ該當スル略
符號ヲ送信シ之ニ引續キ「〇〇〇」ヨリ「三五九」ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ表ハス自局ヨリノ眞方位及自
局所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇一（午前〇時一分）」ヨリ「二四〇〇（午後十二時）」ニ至ル四位ノ數
字ヲ以テ表ハス方位測定時刻ヲ送信スヘシ

事 項 略符號
貴船ノ方位ハ無線羅針局ヨリ、、、、度ナリ
Q T E

第十六條 主無線羅針局ニ於テ副無線羅針局ニ於ケル方位測定ノ結果ノミヲ又ハ之ヲ自局ニ於ケル方位測定
ノ結果ト取纏メ船舶無線電信ニ通知セムトスルトキハ前條ノ方法ニ依ルノ外方位ヲ表ハス數字ノ前ニ測定
シタル無線羅針局ノ呼出符號ヲ送信スヘシ

第十七條 船舶無線電信ニ於テ無線羅針局ヨリ方位測定ノ結果ノ通知ヲ受ケタルトキハ照校ノ爲該無線羅針
局ニ對シ方位及方位測定時刻ヲ表ハス數字ヲ受信シタル順序ニヨリ送信スヘシ

第十八條 無線羅針局ニ於テ前條ノ送信ニ誤ナキコトヲ認メタル時ハ直接又ハ主無線羅針局ヲ介シテ解信符
號——又ハ——ヲ送信スヘシ

第三章 無線標識局業務

第十九條 方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ聴取裝置ヲ有スル無線標識局ニ對シ無線標識符號
ノ送信ヲ請求セムトスルトキハ該無線標識局ノ通常通達距離内ニ入りタルトキ之ヲ呼出シ其ノ呼出ノ符號
ニ引續キ左ノ事項ニ該當スル略符號ヲ送信スヘシ

事 項 略符號
無線標識符號ノ送信ヲ乞フ
GYBCN (Give beaconノ略)

第二十條 無線標識局ニ於テ船舶無線電信ヨリノ請求ニヨリ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ五十
秒間左ノ符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ送信スヘシ

- 一 自己ノ呼出符號 二回
 - 二 自己ノ呼出符號 一回
 - 三 自己ノ呼出符號 一回
- 第二十一條 無線標識局ニ於テ濃霧等ニ際シ其ノ附近ニアル船舶無線電信ニ對シ繼續シテ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ二分間毎ニ一回宛前條ノ送信ヲ反覆スヘシ
- 第二十二條 方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ陸上無線電信又ハ船舶無線電信ニ對シ無線標識符號ノ送信ヲ請求セムトスルトキハ第十九條ノ方法ニ準シ其ノ請求ヲ爲スヘシ
- 第二十三條 前條ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信又ハ船舶無線電信ニ於テ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ五十秒間反覆送信スヘシ但シ船舶無線電信ニ在リテハ呼出符號ヲ連續送信シタル後ニ自己ノ位置針路及速力ヲ送信スヘシ
- 第二十四條 船舶無線電信ニ於テ濃霧等ニ際シ衝突ヲ豫防スル目的ヲ以テ其ノ附近ニアル船舶無線電信ニ對シ無線標識符號ノ送信ヲ爲サムトスルトキハ自己ノ呼出符號位置針路速力其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ前後ハ BCN (Bacon) ノ略符號ヲ附シ且各送信符號ノ長點ヲ稍長クシテ送信スヘシ
- 第二十五條 前二條ノ無線標識符號ノ送信ハ電力ヲ通達距離二十「キロメートル」以下ニ低減スヘシ但シ陸上無線電信ニ於テ特ニ必要アリト認ムル場合ハ電力ヲ通達距離四百「キロメートル」迄増加スルコトヲ得
- 附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

□ 無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信取扱方ノ件 昭和二年五月九日 電報第七四八號

船舶局及海岸局ニ於テ船舶航行ノ安全上無線電信ニ依ル方位測定ニ關スル通信ヲ爲スノ必要アリト認メタル場合ハ昭和二年五月七日遞信省令第十四號無線方位測定通信規則及無線電報規則第七條ニ依リ無料ニテ此ヲ取扱相成度依命

□ 無線電信ニ依ル航行警報放送 大正十五年一月二十日 遞信省告示第一一七號

注意〔内ニ臺灣總督府告示 昭和二年一月 中相途ノ點ヲ照記ス〕

大正十五年二月一日〔昭和二年〕ヨリ東京無線電信局〔基隆無線電信局〕ニ於テ左記ニヨリ水路ノ告示中緊急ヲ要スル事項及海上船舶ニ對スル航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項ヲ無線電信ニ依リ放送ス

- 一、放送時刻 午後九時五分ヨリ同十五分迄ノ間〔午後四時ノ天氣豫報ニ引續キ放送ス〕
- 二、放送電波長 持續電波七千七百「メートル」持續電波二千四百「メートル」
- 三、放送方法

左ノ事項ヲ列記ノ順序ニ從ヒ放送ス		
(イ) 海上船舶注意符號	J N T M	三回
(ロ) 自局名前置符號	— — — —	一回
(ハ) 東京無線電信局呼出符號「J C」〔基隆無線電信局呼出符號「F K」〕	— — — —	一回
(ニ) 通知事項 <small>航路標識ノ設置改廢、航路ノ變ヒ、暗礁、海難、遺棄物漂流物、難破船等ノ發見ニ關スル事項等</small>	— — — —	一回
(ホ) 通信結了符號	— — — —	一回

前略

- 二、東京無線電信局ニ於テ燈臺局又ハ其ノ他ノ官廳水路部ヨリ船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ノ通知ヲ受ケタルトキ又ハ第三號ニ依リ海岸局ヨリ通知ヲ受ケタル事ハ中特ニ緊急ヲ要スト認ムルモノアルトキハ之ニ其ノ出所ヲ明ニスル辭句ヲ冠シ前號ニ準シ當該時刻ニ於テハ水路部ヨリ放送スルコト放送スルコト
- 三、海岸局ニ於テ自ラ認識シ又ハ船舶無線電信若クハ官廳水路部ヨリ船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ノ通知ヲ受ケタルトキハ無線電報取扱規程第七十二條ニ依リ自局ヨリ放送スルノ外東京無線電信局ヘ無料局報ヲ以テ之ヲ通知スルコト
- 四、略
- 五、船舶局ニ於テ無線電報取扱規程第七十二條ニ依ル放送ヲナシタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ最寄海岸局ニ通報スルコト

□ 無線電報取扱規程 明治四十一年四月九日 大正十四年九月二十五日 抜抄
逕信省公告第三四一號 逕信省公告第七二六號改正

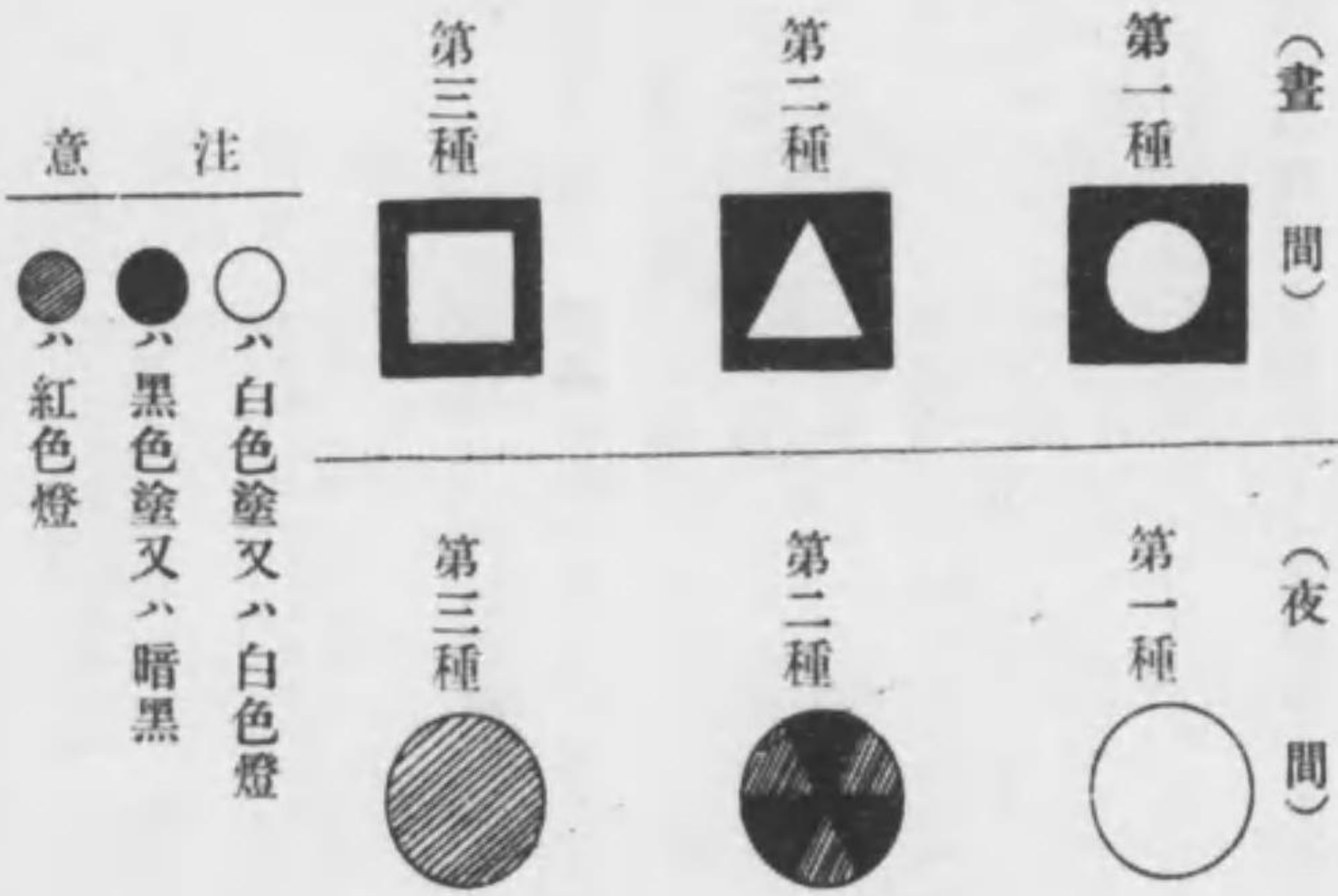
第七十二條 船舶航行上ノ危険警戒ニ必要ナル事項ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ危険警戒ニ必要ナル事實ヲ認識シタルトキハ通報ノ出所及口時ヲ明ラカニシテ自局通信圈ニ在ル各船舶ヘ之ヲ放送スヘシ
 前項ノ放送ハ航行警報符號ヲ適宜反覆シ之ニ引續キ必要ナル事項、自局名前置符號及自局呼出符號ヲ送信シ更ニ各十分間ノ間隔ヲ以テ其ノ送信ヲ二回反覆シテ之ヲ行フヘシ
 (參照) 航行警報略符號 ———— (同上規程第四五條)

□ 船舶通信號規程 明治四十二年七月十七日
逕信省公告第六百一十二號

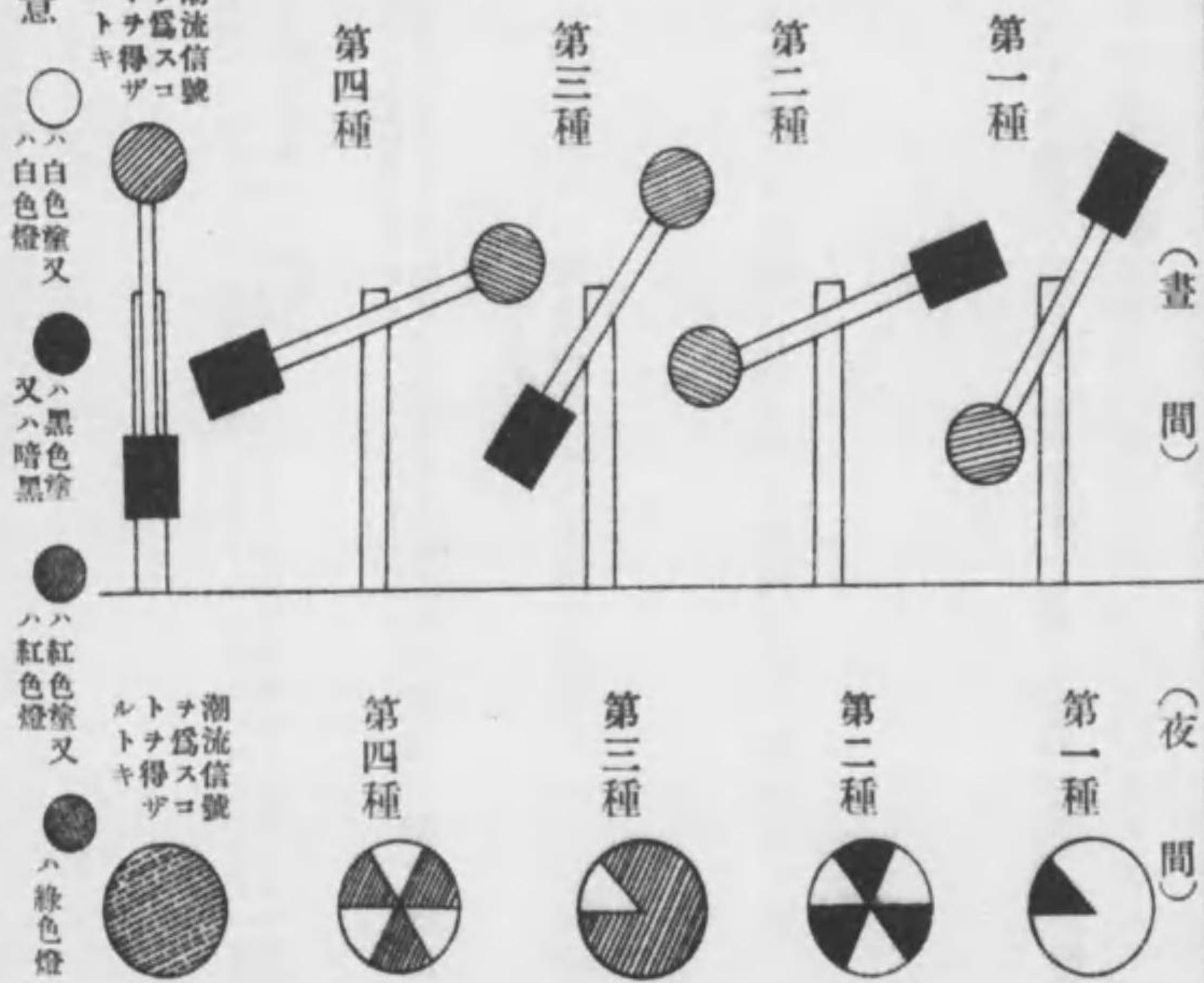
- 一 船舶通信號ハ信號所ノ附近ニ於ケル船舶ノ動靜ニ關シ之ヲ爲ス但シ各信號所ニ付テ特ニ定ムル場合縱帆ノミヲ裝置スル帆船カ群走セザル場合及機權ヲ以テ運轉スル船ニ關スル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 二 船舶通信號ハ左ノ三種ニ分チ晝間ニ在テハ黑色ノ船舶通信號塔ニ白色ノ記號ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ燈ヲ掲ケテ之ヲ爲ス (附圖參照)
 - 第一種 晝間ニ在テハ前塔ニ圓形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ不動白色燈ヲ掲クルモノ
 - 第二種 晝間ニ在テハ中央塔ニ三角形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ明暗紅色燈ヲ掲クルモノ
 - 第三種 晝間ニ在テハ後塔ニ方形ヲ表示シ夜間ニ在テハ該塔ニ不動紅色燈ヲ掲クルモノ
 前塔ト稱スルハ信號所見張所ノ上部ニ在ルモノ、中央塔ト稱スルハ前塔ノ後方ニ在ルモノ、後塔ト稱スルハ最後ニ在ルモノヲ謂フ
- 三 潮流信號ハ左ノ四種ニ分チ晝間ニ在テハ白色柱ノ頂ニ於テ一端ニ紅色圓形板、他端ニ黑色矩形板ヲ有スル白色桿ノ位置ヲ轉換シ夜間ニ在テハ白色ノ潮流信號塔ニ燈ヲ掲ケテ之ヲ爲ス (附圖參照)
 - 第一種 晝間ニ在テハ矩形板ヲ上端トシテ桿カ約三十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ白色不等分暗燈ヲ掲クルモノ
 - 第二種 晝間ニ在テハ矩形板ヲ上端トシテ桿カ約七十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ白色等分暗燈ヲ掲クルモノ
 - 第三種 晝間ニ在テハ圓形板ヲ上端トシテ桿カ約三十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ紅白不等分互光燈ヲ掲クルモノ

クルモノ
 第四種 晝間ニ在テハ圓形板ヲ上端トシテ桿カ約七十度ニ傾斜シ夜間ニ在テハ紅白等分互光燈ヲ掲ク
 ルモノ
 四 潮流信號ハ同方向ノ潮流カ流レ始メテヨリ流レ止ムマテノ間ニ於テ最初ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ
 初期次ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ中央期最後ノ約三分ノ一ニ相當スル期間ヲ末期トシテ之ヲ爲ス
 五 信號機ノ故障其他ノ事由ニ依リ信號ヲ爲スコトヲ得サルトキハ左ニ定ムル所ニ從ヒ信號ヲ爲ス
 船舶通航信號ヲ爲スコトヲ得サルトキ
 晝間 Wノ信號旗ヲ旗竿ニ掲ク
 夜間 紅燈一箇ヲ前後ノ各信號塔ニ掲ク
 潮流信號ヲ爲スコトヲ得サルトキ
 晝間 圓形板ヲ上端トシテ桿ヲ直立ス
 夜間 綠燈一箇ヲ潮流信號塔ニ掲ク
 六 潮流信號ヲ爲サル信號所ハ夜間信號所ノ位置ヲ示ス爲メ其ノ中央塔ニ明暗白色燈ヲ掲ク但シ第二項ノ
 船舶通航信號ヲ爲ス場合及前項ニ依リ燈ヲ掲クル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス
 七 航路ニ異變アルトキ、航行危險ノ虞アルトキ其他船舶ノ航行ニ關シ必要アルトキハ信號所ハ晝間ニ限リ
 萬國船舶信號法ニ依リ信號ヲナスコトアルヘシ

船舶通航信號



潮流信號



船舶通報規則

明治四十年九月二十六日
逕信省令第四十四號發布

明治四十三年十月六日逕信省令第九十二號明治四十四年十一月十四日逕信省令第四十三號大正元年十二月十一日逕信省令第二十四號及大正四年三月二十九日逕信省令第二十二號大正九年五月二十五日逕信省令第四十五號大正十四年九月十二日逕信省令第六〇號昭和六年六月二十日逕信省令第十七號改正

注意「内ニ朝鮮船舶通報規則大正四年三月二十三日昭和六年六月二十九日朝鮮總督府令第七六號改正中相違ノ點ヲ照記ス

第一條〔第二條〕 船舶通報ヲ分チテ左ノ三種トス

- 一、通過報
- 二、信號報
- 三、海難報

第二條〔第三條〕 通過報トハ特ニ指定スル燈臺ノ沿海ヲ通過スル船舶ニ關シ和文電報ヲ以テ請求者ニ左ノ事

項ヲ通知スルモノヲ謂フ

- 一、船名
- 二、通過時分

第三條〔第四條〕 信號報トハ船舶所有者又ハ其ノ代理人ト船長トノ間ニ於ケル通信ニシテ特ニ指定スル燈臺ニ於テ其ノ沿海ヲ通過スル船舶ト信號ニ依リ送受スルモノヲ謂フ

第三條ノ二〔第四條ノ二〕

海難報トハ特ニ指定スル電信局所ニ於テ船舶ノ遭難又ハ航行ノ安全ニ關スル無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信（特定人ニ宛テモノヲ除ク）ニ依リ知得シタル船舶ノ遭難、委棄又ハ漂流ニ關スル左ノ事項ヲ和文電報ヲ以テ請求者ニ通知スルモノヲ謂フ

- 一、船名（必要アルトキハ船舶ノ種類、國籍又ハ所有者名ヲ附記ス）
- 二、災厄ノ日時（遭難ノ日時又ハ遭難、委棄若ハ漂流ノ事實ヲ知得シタル日時）
- 三、船舶ノ位置
- 四、災厄ノ狀況（遭難、委棄又ハ漂流ノ別及其狀況）

第四條〔第五條〕 通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘキ電信局所ニ

差出スヘシ

- 一、船名（要ナルトキハ信號符字、又ハ航路名ヲ添記スヘシ）
- 二、國籍
- 三、船舶所有者
- 四、燈臺名
- 五、請求者（若シ請求者カ受信者ニ非サルトキハ併セテ受信者）ノ住所氏名

臨時ニ通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ前項各號ノ外尙豫定通過日時ヲ記載スヘシ



第五條〔第六條〕 通過報ノ取扱ヲ望ム者ハ〔船舶數及請求度數ニ拘ラス〕登記料トシテ一會計年度毎ニ金二四
 ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ但シ臨時ニ其取扱ヲ望ム者ハ此ノ限リニ在ラス
 前項ノ登記料ニハ毎年度分ヲ其前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ
 納付スヘシ

第六條〔第七條〕 通過報ノ料金左ノ如シ

- 一、登記料ヲ納付シタル者ニ對シテハ
 - 各一通毎ニ
 - 一 通毎ニ：内地臺灣樺太及朝鮮相互間……金貳拾五錢
 - 一 通毎ニ：朝鮮臺灣相互間……金貳拾錢
 - 一 通毎ニ：朝鮮朝鮮相互間……金貳拾錢
 - 一 通毎ニ：臺灣臺灣相互間……金貳拾錢
 - 一 通毎ニ：樺太樺太相互間……金貳拾錢
 - 一 通毎ニ：樺太朝鮮相互間……金貳拾錢
 - 一 通毎ニ：樺太臺灣相互間……金貳拾錢
- 二、登記料ヲ納付セサル者ニ對シテハ
 - 各一通毎ニ
 - 一 通毎ニ：内地臺灣樺太及朝鮮相互間……金四拾錢
 - 一 通毎ニ：朝鮮臺灣相互間……金四拾錢
 - 一 通毎ニ：朝鮮朝鮮相互間……金四拾錢
 - 一 通毎ニ：臺灣臺灣相互間……金四拾錢
 - 一 通毎ニ：樺太樺太相互間……金四拾錢
 - 一 通毎ニ：樺太朝鮮相互間……金四拾錢
 - 一 通毎ニ：樺太臺灣相互間……金四拾錢

夜間〔日没ヨリ日出マテ〕通過ノ船舶ニ對スル通過報ノ料金ハ前項料金ノ二倍トス

前二項ノ料金ハ配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徵收ス

第七條〔第八條〕 第四條ノ請求ヲ受ケタル電信局所ニ於テ豫定通過日時切迫ノ爲燈臺ニ電報ヲ以テ通知ヲ要
 スルトキハ請求者ハ其電報ノ料金ヲ前納スヘシ

第八條〔第九條〕 第四條〔第五條〕ノ請求書ニ記載セル船舶カ燈臺ノ沿海ヲ通過シタル場合ト雖該燈臺ニ於テ
 其ノ船名ヲ知り得サリシトキ又ハ全ク船舶ノ通過ヲ知り得サリシトキハ通過報ヲ發セサルコトアルヘシ

(參照)

船舶通報ノ取扱ヲ爲ス燈臺ノ沿岸ヲ通過スル船舶ノ方向左ノ通り

燈臺名	方	向	方	面
大 吹 塔	北	又	南	又
劍 塔	出	入	港	港
尻 矢 塔 (夜間ノ取扱ハス)	南	北	又	又
日ノ御塔	南	北	又	又
神 塔	北	南	又	又
神 威 塔	北	南	又	又
佐 田 塔	東	西	又	又
龍 影 島 (朝鮮)	南	北	又	又

湖 岬	金 華 山	佐 多 岬	六 連 島	西 龍 登 呂 岬	大 角 鼻	神 島
北	南	北	南	東	東	南
南	北	北	南	南	南	北
東	西	東	西	西	西	東
西	東	西	東	東	東	西
樺太方面ヨリ入港スル	樺太方面ヨリ入港スル	樺太方面ヨリ入港スル	樺太方面ヨリ入港スル	樺太方面ヨリ入港スル	樺太方面ヨリ入港スル	樺太方面ヨリ入港スル

(同) 内	入北南 又又ハ東港	種内 又ハ千島	(朝鮮) 港門島	入北西東	朝鮮東岸、内地、北海道又ハ浦鹽、 加那利、北支那又ハ青島
大瀬崎	北西東 東	長崎又ハ九州南岸 朝鮮西岸又ハ支那沿岸 對馬海峡	(同) 青島	北南西東	仁川、 大正、 朝鮮南岸、内地、 嶺南、龍岩浦
(同) 白神岬	南西東	函館、青森、津輕海峡、 北海道西海岸、浦鹽、朝鮮、 本州北西海岸	(臺灣) 鼻	北南西	臺灣西岸、澎湖島、南支那方面、 臺灣東岸、内地方面

第九條〔第十條〕 信號報ノ取扱ヲ望ム船舶所有者又ハ其ノ代理人ハ豫メ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差出スヘシ

- 一、船名 (必要ナルトキハ信號符字又ハ航路名ヲ添テスヘシ)
- 二、國籍
- 三、船舶所有者名
- 四、燈臺名
- 五、請求者ノ住所氏名

第十條〔第十一條〕 信號報ノ取扱ヲ望ム者ハ〔船舶數及請求度數ニ拘ラス〕登記料トシテ一會計年度毎ニ金貳圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ
前項ノ登記料ハ毎年度分ヲ其前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書差出ノ際之ヲ

納付スヘシ

第十一條〔第十二條〕 信號報ノ料金左ノ如シ

信號料	一通ニ付	金壹圓	電報料又ハ郵便料	實費
-----	------	-----	----------	----

船舶ヨリ發スル信號報ノ料金ハ之ヲ受信者ヨリ徵收ス
第十二條〔第十三條〕 船舶所有者又ハ其ノ代理人信號報ヲ發セムトスルトキハ和文電報書法ニ從ヒ相當事項ヲ賴信紙ニ記載シ之ヲ第九條〔第十條〕ノ電信局所ニ差出スヘシ但シ之ニ關スル郵便切手ハ賴信紙ニ貼付スヘカラス

前項ノ場合ニ於テ郵便ニ依リ燈臺ニ送達ヲ望ムトキハ同時ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ此場合ニ於テハ適宜ノ用紙ニ記載スルコトヲ得

第十三條〔第十四條〕 電信局所ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ指定ノ方法ニ依リ之ヲ燈臺ニ傳送シ燈臺ニ於テ之ヲ船舶ニ通達ス

第十四條〔第十五條〕 船舶ニ於テ信號報ヲ發セムトスルトキハ其旨ヲ燈臺ニ信號スヘシ但シ信號報ノ受信者ハ第十條〔第十一條〕ノ登記料ヲ納付シタル者ニ限ル

第十五條〔第十六條〕 燈臺ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ和文電報ヲ以テ之ヲ第九條〔第十條〕ノ電信局所ニ傳送シ電信局所ハ之ヲ受信者ニ配達ス

第十六條〔第十七條〕 燈臺ニ於テ信號報ヲ船舶ニ通達スルハ其ノ到達ノ日ヨリ三十日以内ニ限ル

第十七條〔第十八條〕 船舶ニ通達シ能ハサル信號報ノ料金中信號料ハ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十八條〔第十九條〕 燈臺ト船舶トノ間ニ於ケル信號ハ書問ニ限り之ヲ行ヒ其方法ハ萬國船舶信號書ノ定ム

ル所ニ依ル但シ船舶所有者又ハ其ノ代理人ノ請求ニ依リ燈臺ニ於テ夜間通過ノ信號ヲ受クルコトアルヘシ

第十九條〔第二十條〕 通過報又ハ信號報ニ關係ヲ有スル海上ノ船舶ハ特ニ指定シタル燈臺ニ接近シタルトキ

ハ國旗及信號符字ヲ掲クヘシ

前條但書ニ依リ夜間通過ノ信號ヲ爲サムトスルトキハ船舶所有者又ハ其ノ代理人ハ特定信號ヲ定メ豫メ燈

臺局ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第十九條ノ二〔第二十條ノ二〕 海難報ノ取扱ヲ望ム者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ其ノ電報ヲ配達スヘ

キ電信局所ニ差出スヘシ

一、船 名 他ニ同一ノ名稱ノ船舶アレトキハ無線電
信ノ呼出符號ヲハ信號符字ヲ添記マシ

二、國 籍

三、船舶所有者名

四、發信電信局所名

五、請求者ノ住所氏名

〔海難報ノ取扱ヲ受クヘキ船舶ハ之ヲ指定セサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載ス
ヘシ〕

第十九條ノ三〔第二十條ノ三〕 第十條ノ規定ハ海難報ニ之ヲ準用ス〔海難報ノ取扱ヲ受ケムトスルモノハ船舶

數及海難報ノ配達ヲ受クル度數ニ拘ラス登記料トシテ一會計年度毎ニ二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ

前項ノ登記料ハ每會計年度分ヲ其ノ前年度ノ末日十五日迄ニ之ヲ納付スヘシ、但シ初年度分ハ請求書提出

ノ際之ヲ納付スヘシ〕

第十九條ノ四〔第二十號ノ四〕 海難報ノ料金ハ電報ノ字數ニ應シ一般私報ノ料金ヲ課ス〔海難報ノ通知ニ要

スル電報ノ料金ハ實費トス〕

前項ノ料金ハ配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徴收ス

第十九條ノ五〔第二十條ノ五〕 電信局所ニ於テ第三條ノ二各號ノ事項中知得シ得サルモノアルトキハ當該事

項ノ通報ヲ爲サス又ハ海難報ヲ發セサルコトアルヘシ〔電信局所ニ於テ海難報ニ關スル通知ヲ爲スヘキ場

合ニ於テ第四條ノ二各號ノ事項ヲ知得シ得サルトキハ當該事項ノ通知ヲ爲サス〕

第二十條〔第二十一條〕 本令中料金ノ徴收又ハ還付ニ關シ明文ナキ事項ハ凡テ明治二十三年九月遞信省令第

四十六號〔明治四十三年十月朝鮮總督府令第三十八號〕電報規則ノ規定ヲ準用ス

第二十一條〔第二十二條〕船舶通報ノ受信者住所ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ船舶通報ノ請求者其ノ取扱ヲ罷メ

燈臺 北海道北岸、東岸(千島)

7		6		5		4		稱名臺燈 類種	位 置	初 點	塗 色	等 級	明 弧	燈高(米) 基(米) 水面均 燭光 數	光 達 距離(海)	記 事	
伊 羅 崎	武 藏 崎	岬 矢 移 渡	安 波 渡	港 走 網	港 走 網	港 走 網	港 走 網										
信 霧	信 霧	信 霧	信 霧	信 霧	信 霧	信 霧	信 霧	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國
千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國	北 見 國
43° 14.0'	40° 31'	44° 14.0'	27° 31'	41° 14.4'	1° 18'	44° 14.4'	1° 17'	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經	緯 經
月五年五十二治明	月五年五十二治明	月一十年二册治明	月一十年二册治明	月六年五和昭	月六年五和昭	月四年五和昭	月四年五和昭	月	年	點	塗 色	等 級	明 弧	燈 高(米) 基(米) 水面均 燭光 數	光 達 距離(海)	記 事	
木 造	木 造	鐵 造	鐵 造	混 凝 土 造	混 凝 土 造	混 凝 土 造	混 凝 土 造	白 色	白 色	白 色	白 色	白 色	白 色	4.9	10.5	看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	
四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	閃 白 光	閃 白 光	瓦 ア セ チ レ ン	瓦 ア セ チ レ ン	瓦 ア セ チ レ ン	瓦 ア セ チ レ ン	第 五 等	第 五 等	第 五 等	第 五 等	第 五 等	第 五 等	100	21.5	●北海道廳立 看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	
二 二 七 度	二 二 七 度	一 〇 七 度	一 〇 七 度	一 〇 七 度	一 〇 七 度	一 〇 七 度	一 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	12.5	12.5	●北海道廳立 看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	
12.1	12.1	15.7	15.7	13.5	13.5	4.9	4.9	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	9	21.5	●北海道廳立 看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	
18	18	6	6	13	13	10	10	6	6	6	6	6	6	18	18	●北海道廳立 看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	
霧 鐘 一 分 二 十 二 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 二 十 二 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス

燈臺 北海道東岸

12		11		10		9		8	
石 落	花 咲	花 咲	花 咲	花 咲	花 咲	花 咲	花 咲	花 咲	花 咲
千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國	千 島 國
43° 14.0'	10° 31'	43° 14.5'	16° 30'	43° 14.5'	23° 4'	43° 14.5'	20° 35'	43° 14.5'	20° 35'
月十年三十二治明	月十年三十二治明	月一十年三廿治明	月一十年三廿治明	月七年五治明	月七年五治明	月三年五十五大	月三年五十五大	月六年五治明	月六年五治明
鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造	鐵 造
四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光	四 十 五 秒 光
二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度	二 〇 七 度
15.1	15.1	3.0	3.0	11.5	11.5	6.5	6.5	6.4	6.4
41.5	41.5	27.5	27.5	13.2	13.2	11.4	11.4	17.6	17.6
4	4	10	10	3	3	10	10	10	10
18	18	6	6	14.5	14.5	10	10	13	13
霧 鐘 一 分 二 十 二 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 二 十 二 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス	霧 鐘 一 分 十 回 打 鳴 ス

燈臺 北海道東岸及南岸

21	20	19	18	17
河浦	泉	幌	岬	港
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
日高國	日高國	日高國	十勝國	釧路港
42° 10' 142° 47'	42° 1' 143° 9'	41° 53' 143° 15'	42° 17' 143° 19'	42° 58' 144° 21'
月一十年四廿治明	月一十年四廿治明	月六年二十二治明	月七年二和昭	月一十年三十正大
木造	白	鐵	屋	混
四角形	四角形	圓形	淡青色	圓形
電燈	不動紅光	第六等	不動白光	不動白光
迄	迄	迄	全	全
4.5	8.5	8.2	12.5	10.5
30.7	26.7	71.5	20.9	14.4
34	16弱	180	1	1
17.5	7.5	22	11	12.5
		(三秒吹鳴、四秒沈黙、三秒吹鳴、二十四秒沈黙)	●北海道十勝國廣尾郡廣尾村立	霧鐘 一分二十秒ニ一回打鳴ス 看守員ヲ常置セス 昭和七年三月燈質及打鳴間隔變更

16	15	14	13
港路	崎路	岸	港
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
北防波堤	釧路泊地	大黒島	山霧多布
42° 58' 144° 21'	42° 58' 144° 22'	42° 6' 144° 52'	43° 5' 145° 9'
月九年五十正大	月九年四廿治明	月一十年三廿治明	月十年五和昭
混	木	木	木
圓形	八角形	六角形	六角形
電燈	不動白光	不動白光	不動白光
迄	迄	迄	全
10	7.5	5.5	21.5
14.4	44.5	111.2	70.5
1	30	10	上燈 下燈
12.5	18.5	10	12
看守員ヲ常置セス	霧鐘 四十五秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス		看守員ヲ常置セス 上燈ヨリ九米下方ニ同種ノ白燈一個ヲ増點ス 毎年二、三及四月中ハ點燈ヲ休止ス ●釧路國厚岸郡濱中村立

燈臺 北海道東岸

燈臺 北海道南岸

30	29	28	27	26
岬山惠	室蘭南	室蘭北	大根	室蘭第
號信霧臺燈	號信霧臺燈	臺燈	標浮燈挂	標浮燈挂
惠東津 山海口 岬	頭南室 部防蘭 埠波港	頭北室 部防蘭 埠波港	大室 根蘭 港	前石鐵 面炭炭道 省橋橋省
41° 49' 141° 11'	4° 21' 140° 57'	42° 21' 140° 57'		
月一十年三廿治明	月十年二和昭	月十年二和昭	月五年八正大	月六年二正大
鐵六角黑 造角形白 燈光一等	混圓紅 凝土造形色	混圓白 凝土造形色	鐵上圓黑 造部筒筒 形形形色	鐵上圓紅 造部筒筒 形形形色
電四每閃第 十五白二 秒光等	瓦ア明明 アセチレン二秒暗紅 ス二秒光	瓦ア明明 アセチレン二秒暗綠 ス二秒光	瓦ア一每閃 アセチレン三光	瓦ア每閃 アセチレン四光
迄 一六〇度	全 度	全 度	全 度	全 度
15.1	8.1	8.1	4.5	3.3
44.8	10.9	10.9	4.5	3.3
4	4	4	4	4
18.5	11.5	11.5	9	8
霧笛 約五十秒ニ低調一際高調一際ヲ連吹ス 低調發音三秒沈黙四秒、高調發音三秒沈黙四十秒	霧笛 三十秒ヲ隔テ三十秒吹鳴ス 目下故障ノタメ霧笛休止中 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	○分、ムイ鼻ハ一五二度ニ〇分、水深一六米四	●鐵道省所管

25	24	23	22
室蘭第	室蘭	岬ウキチ	浦河南
號一第	號信霧臺燈	號信霧臺燈	臺燈
前石鐵 面炭炭道 省橋橋省	大室 黑蘭 島港	チ港室 キウ外蘭 岬	頭南浦日 部防河高 埠波港國
	42° 21' 140° 55'	42° 18' 141° 0'	4° 10' 142° 40'
月六年二正大	月十年二和昭	月四年九正大	月八年四和昭
鐵上圓黑 造部筒筒 形形形色	混四白 凝土造形色	混八白 凝土造形色	鐵三角紅 造角筒筒 形形形色
瓦ア每閃 アセチレン四光	瓦ア明明 アセチレン二秒暗白 ス二秒光	電閃二連第 アセチレン八秒間三 ス二秒光	瓦ア每閃 アセチレン三秒一閃 ス二秒光
全 度	全 度	九九度迄 二三二度	全 度
3.3	9.1	12.1	10.3
4	45.5	98.2	12.5
4	4	300	4
8	18.5	2.5	8
●鐵道省所管	霧笛 四十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス 一二六度ヨリ一四一度迄紅光ヲ以テ約三一五度距 離約七鏈ノ大根礁(水深約六米四)ヲ示ス	霧笛 一分ヲ隔テ四秒吹鳴ス	●北海道廳立 看守員ヲ常置セス

燈臺 北海道南岸

燈臺 北海道南岸

39	38	37	36	35
函館港防波堤	函館港後燈	函館港前燈	函館港防波堤	函館港第三號
燈	燈	燈	標浮燈柱	標浮燈柱
函館港防波堤	函館港後燈	函館港前燈	函館港防波堤	函館港
41° 140°	47° 44'	41° 140°	47° 44'	41° 140°
47° 44'	47° 44'	47° 44'	47° 44'	47° 44'
昭和七年四月	昭和四年十一月	昭和四年十一月	昭和七年五月	昭和二年十一月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
四角形	八角形	八角形	八角形	八角形
白	白	白	紅	紅
不動	不動	不動	閃	閃
綠光	白光	白光	紅光	紅光
全	全	全	全	全
度	度	度	度	度
4.3	13.3	11.2	3.7	3.6
7.0	15.3	13.4	6	6
1/10	1/10	1/10	1/10	1/10
10.3	8.3	8.3	6	6
看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	看守員ヲ常置セス ●函館市立	看守員ヲ常置セス ●函館市立	看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	看守員ヲ常置セス ●函館市立

34	33	32	31
函館港第二號	函館港第一號	函館港防波堤	沙首岬
標浮燈柱	標浮燈柱	標浮燈柱	標浮燈柱
函館港	函館港	函館港	函館港
41° 140°	47° 42'	41° 140°	43° 58'
昭和二年十一月	昭和二年二月	昭和八年二月	明治廿六年十一月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
八角形	八角形	八角形	八角形
白	紅	紅	紅
閃	閃	閃	閃
白光	紅光	紅光	紅光
全	全	全	全
度	度	度	度
3.6	3.6	10.9	6.9
1/10	1/10	1/10	1/10
8.3	6	12	18.3
看守員ヲ常置セス ●鐵道省所管	看守員ヲ常置セス ●鐵道省所管	看守員ヲ常置セス ●鐵道省所管	看守員ヲ常置セス ●鐵道省所管

燈臺 北海道南岸

燈臺

北海道西岸

(口印ハ船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

62			61			60		
島小前松	山	福	岬	神	白	稱名臺燈	類	種
號信霧 臺燈	號信霧 臺燈	號信霧 臺燈	號信霧 臺燈	號信霧 臺燈	號信霧 臺燈	稱名臺燈	類	種
小西津	辨天	福山	白神	西神	津輕	地	在	所
島口峽	島	港	岬	口	海峽	緯	北	東
41° 22' 139° 49'	41° 2' 140° 5'	41° 24' 140° 1'				月	年	點
月十年二十正大	月九年二十二治明	月九年一十二治明				構	造	及
混 八 白	混 四 白	混 六 黑				燈	質	及
凝 角 角	凝 角 角	凝 角 角				質	質	級
土 形 形	土 形 形	土 形 形				弧	明	
造 造 造	造 造 造	造 造 造				上	礎	基
四 十 八 連	電 明 明	閃 閃 閃				上	面	水
十 八 秒 隔	燈 燈 燈	光 光 光				數	光	燭
二 秒 間	一 一 一	一 一 一				(m) 離 距 達 光		
光 光 光	一 一 一	一 一 一				記		
三 五 五 度 迄	一 一 九 度 迄	一 一 〇 一 度 迄				事		
一〇二度	二一七度	二五五度						
21.2	4.8	1.1						
33	25.4	36.7						
60	4	白 光 4 紅 光 1						
18.5	15	17						
霧笛 四十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス	霧笛 三十五秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス	霧笛 一分ヲ隔テ五秒吹鳴ス 霧笛吹鳴シ能ハサルトキハ爆發信號ヲ以テ四分毎 ニ一回爆發ス 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ夜間ハ取扱ハ ス						

燈臺

北海道南岸

40		
岬支登葛	稱名臺燈	類
號信霧 臺燈	號信霧 臺燈	號信霧 臺燈
ノ西側	函館港口	地
41° 14.0'	45° 30'	緯
月二十年八十四治明	月年點初	緯
鐵 八 白	鐵 八 白	緯
木 角 角	木 角 角	緯
造 形 形	造 形 形	緯
電 時 明 明	電 時 明 明	緯
八 八 十 二	八 八 十 二	緯
燈 秒 秒 光	燈 秒 秒 光	緯
一五二度迄	一五二度迄	緯
8.2	8.2	緯
43.1	43.1	緯
40	40	緯
18	18	緯
霧笛 一分ニ六回打鳴ス 霧笛臺ハ四 照離一〇米六、木造四角形白色基礎 ニリ頂上マテ高サ八米ニ	霧笛 一分ニ六回打鳴ス 霧笛臺ハ四 照離一〇米六、木造四角形白色基礎 ニリ頂上マテ高サ八米ニ	霧笛 一分ニ六回打鳴ス 霧笛臺ハ四 照離一〇米六、木造四角形白色基礎 ニリ頂上マテ高サ八米ニ

燈臺 北海道西岸

66	65	64	63	稱名臺燈	類種	位置	初級	等級	明弧	燈臺(米)	平均水面	燭光數	光達距離	記事
岬穂	入船港部乙	島	港差江	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防
號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧
ノ北端	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部	頭防波部
42° 139°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°	41° 140°
月二十年四廿治明	月四年七和昭	月九年二十二治明	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭	月六年四和昭
鐵六角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形	鐵四角形
四每十五秒光一	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電
三三六度迄	全度	二七七度迄	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度
18.2	5	4.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
45.4	7.7	31.8	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
45	7.7	4	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
18.5	7	16.5	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
霧笛 三十秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道渡島國檜山郡江差町立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立	看守員ヲ常置セス ●北海道爾志郡乙部村立

71	70	69	68	67	稱名臺燈	類種	位置	初級	等級	明弧	燈臺(米)	平均水面	燭光數	光達距離	記事
山和日	岬威	港内岩	港内岩	岬慶辨	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防	波防
號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧	號信霧
高島岬	神威岬	頭北防波部	頭北防波部	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角	ノ四角
43° 141°	43° 140°	42° 140°	43° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°	42° 140°
月十年六十治明	月八年一十二治明	月一十年五和昭	月五年四十四治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明	月二十年三廿治明
木六角形	鐵圓形	鐵四角形	鐵四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形	木四角形
電明二秒暗二秒	電紅白光各二秒	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電
三四七度迄	二六二度迄	全度	全度	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄	三〇八度迄
7.8	5.7	5	11	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
49.4	70.4	7.2	13.0	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5
11	白光 20 紅光 10	10	10	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
19	23	7	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
霧笛 一分間ヲ隔テ三秒吹鳴ス 昭和七年二月、光源、燈質、燭光數變更	船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但夜間ハ取扱ハス 昭和六年八月燈質變更	看守員ヲ常置セス ●後志國岩内町立	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 北海道西岸

(口印ハ船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 北海道西岸

80	79	78	77	76
留萌港 留萌港 43° 57' 141° 38'	毛増 天鹽國 43° 51' 141° 32'	毛増防 天鹽國 43° 52' 141° 32'	石狩 石狩河口 43° 16' 141° 22'	石狩後 石狩河口 43° 15' 141° 23'
昭和六年七月	明治三十三年二月	昭和四年五月	明治二十二年一月	大正五年四月
綠柱形 不動綠光 全度 7.8 8.7 1/2 10.5	白四角形 不動白光 八〇度 4.5 40.6 1/2 18	紅柱形 不動紅光 全度 5.4 9.0 5 1/2 6	白圓形 閃白光 二二三度迄 12.1 14.5 65 12.5	紅白橫線 不動白光 全度 9.9 12.4 1/2 7
看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	昭和六年七月等級燭光數變更	看守員ヲ常置セス ●北海道天鹽國増毛町立 昭和六年七月等級燭光數變更	看守員ヲ常置セス ●北海道廳立	間ハ結氷若ハ流水等ノ狀況ニ依リ孰モ臨時變更 スルコトアルヘシ 看守員ヲ常置セス ●北海道廳立

75	74	73	72
石狩前 石狩河口 43° 15' 141° 22'	小樽假 小樽港 43° 12' 141° 2'	小樽北 小樽港 43° 12' 141° 1'	小樽南 小樽港 43° 12' 141° 1'
大正五年四月	昭和六年六月	大正九年十月	大正九年十一月
紅白橫線 不動紅光 全度 9.9 11.5 1/2 4	紅圓形 閃白光 全度 3.6 65 5	紅圓形 明暗紅光 全度 12.4 14.5 1/2 9	白圓形 明暗綠光 全度 12.4 14.5 1/2 9
工事ノ進捗ニ伴ヒ突堤ノ先端(百七度ノ方向) ニ移動セシムルモノトス 本港燈浮標ト北防波堤燈臺トノ間ハ船舶ノ航行及 碇泊危險ナリ 水深九米ニ ●北海道廳立 兩燈ヲ一直線一五七度ハ一分ニ距ミ河口中央ニ至 リ右折シテ進行スヘシ、兩燈距離三〇三米 毎年四月一日ヨリ十一月廿日マテハ八月間點燈 俱シ尋燈位置ハ河口浮筋ノ變更ニ伴ヒ又點燈期	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 北海道西岸

燈臺 北海道西岸

84	83	82	81	燈臺名	燈種	位
島尻燒	港前留南	港前留北	港前留西	稱名	類	種
南東端	留前港	留前港	留前港	地在	所	置
44° 26' 141°	43° 57' 141°	43° 57' 141°	43° 57' 141°	緯	北	東
月二年二正大	月三年七和昭	月三年七和昭	月七年六和昭	月	年	點
混泥土造	混泥土造	混泥土造	混泥土造	構造	及	塗色
閃光	閃光	閃光	閃光	燈	及	等級
九〇度迄	一八二度	全	全	弧	明	
10.8	13.1	13.1	7.8	上礎基	燈高(米)	
50	15.4	15.4	8.7	上面水	平均	
18	7.5	1.5	7.5	數光燭		
19.5	12.5	12.5	10.5	距離達光		
<p>一八二度ヨリ一九二度迄ハ高所ニ遮ラル、モ一八二度ニ於テハ約七哩夫レヨリ漸減シテ一九二度ニ於テハ約一哩ノ距離ヨリ燈火ヲ望見シ得</p>				<p>看守員ヲ常置セス</p>		

89	88	87	86	85	燈臺名	燈種
外港内稚	伊内	泊	鴛	港形沓	口川鹽天	
鳴吹鐘打	號信務	臺燈	臺燈	臺燈	竿燈	
北見國	北見國	北西端	鷺泊灣ノ	利尻島	南天鹽川口	天鹽國
45° 27' 141°	27' 39'	4° 1' 141°	1' 14'	45° 12' 141°	44° 53' 141°	53' 44'
月七年二和昭	月二十年三和昭	月二十年五和昭	月九年二和昭	月四年八正大		
鐵造	鐵造	石造	混泥土造	木造	竿燈	塗裝セサ
閃光	閃光	閃光	閃光	閃光	不動	不動
全	三一〇度迄	二二一度ヨリ	一四一度ヨリ	全	全	
10.8	41.8	4.5	72.4	2.2	7	
3.8	150	19	1.5	6.7	13.9	
7	18	22.5	10	1.5	12.5	
<p>霧笛 二分ニ低調一聲高調一聲連吹ス 低調發音ニ秒沈黙四秒高調發音ニ秒沈黙二分五十二秒 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ夜間取扱ハス</p>				<p>看守員ヲ常置セス</p>		

燈臺 北海道西岸

(口甲ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 本州北岸

112	111	110	稱名臺燈
港森青 號二第	港森青 號一第	ヲノ 館 平	類 種
標浮燈柱	標浮燈柱	號信霧 臺燈	地在所 位
助波堤外	防波堤外	明神崎	緯 北 經 東
		陸奥海	置
		41° 11' 140° 30'	月年點初
月九年五十正大	月九年五十正大	月四年二十三治明	構造及塗色
鐵 上圓紅 部筒筒色 造形形	鐵 上圓黑 部筒筒色 造形形	鐵 六角白 造形形	燈及等級
瓦ア 每閃 セチ 三秒一閃 レン 秒四光 ン 光	瓦ア 每閃 セチ 三秒一閃 レン 秒四光 ン 光	電 每閃 五秒一閃 燈 光	弧 明
全 度	全 度	三 一六六度 五 八度	上礎基 (燈高(米)) 上面水 (平均)
3.5	3.5	18.5	數 光 燭
10弱	10弱	21.5	(河)離距達光
6	8.5	70	記
●鐵道省所管	●鐵道省所管	●鐵道省所管	事
青森港東防波堤燈臺ハ一四度二〇分、青森港北防波堤燈臺ハ一八九度五〇分、青森港西防波堤燈臺ハ二二〇度五〇分、水深一二米七	公會堂ハ一六度三五分、青森港東防波堤燈臺ハ一六度三五分、青森港北防波堤燈臺ハ二四度三五分、水深一二米七	霧笛 三十七秒中ヲ隔テ二秒中吹鳴ス	

本州北岸及東岸

港内稚 堤波防調入船	稱名臺燈
竿 燈	類 種
稚内港	地在所 位
45° 25' 141° 41'	緯 北 經 東
月七年六和昭	置
鐵 竿 紅 造 柱 色	月年點初
電 燈	構造及塗色
	燈及等級
全 度	弧 明
5.5	上礎基 (燈高(米)) 上面水 (平均)
6.2	數 光 燭
10弱	(河)離距達光
5	記
●北見國宗谷郡稚内町立 看守員ヲ當置セス	事

燈臺 北海道西岸

燈臺

本州北岸及東岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

121	120	119	118	117
八木港 燈低	八戸港 燈防場入船	八戸港 燈防北	白糠港 燈	尻矢崎 燈
燈 塔	燈 塔	燈 塔	燈 塔	燈 塔
八木港	八戸港	八戸港	白糠港	尻矢崎
41° 21' 141° 46'	40° 32' 141° 33'	40° 32' 141° 33'	41° 8' 141° 24'	41° 26' 141° 24'
月四年三十正大	月二十年二和昭	月二十年五和昭	月九年六和昭	月十年九治明
木 竿 白 造 柱 色	混 圓 紅 凝 圓 形 色 土 造 形 色	混 圓 白 凝 圓 形 色 土 造 形 色	部 混 下 四 白 鐵 土 部 角 色 造 上 混 形 色	練 圓 白 瓦 形 色 造 形 色
不動紅光	電 不 動 紅 光	電 不 動 紅 光	電 (紅光分弧) 不 動 白 光	電 每 五 秒 一 閃 光
度 一 一 三 度	全 度	全 度	全 度	三 度
迄 三 五 八	度	度	度	迄
9.1	10.6	12.7	11.3	28.2
9.1	13	15.5	13.3	4.7
弱	弱	1	白 光 弱 紅 光 弱	2,500
4	12	12.5	12	18.5
距離九米一	●青森縣立 看守員ヲ常置セシ 兩燈ヲ一直線ニ望ミ入港スヘシ 高燈ハ低燈ヨリ二三七度	●青森縣立 看守員ヲ常置セシ	●青森縣立 看守員ヲ常置セシ 三〇度一六分ヨリ一〇〇度四六分迄ハ紅光ヲ以 テ危險區域ヲ示ス	霧笛 三十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス 大根礁ハ約六五度五分、距離八海里 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但夜間ハ取扱ハス

116	115	114	113	燈臺種類	位置
大間島 燈	青森港 燈防東	青森港 燈防北	青森港 燈防西	稱名臺燈	地 在 所
燈 塔	燈 塔	燈 塔	燈 塔	類 種	位 置
大間島	青森港	青森港	青森港	東 西 青 防 防 森 波 波 港	緯 北 經 東
41° 33' 140° 55'	40° 50' 140° 45'	40° 50' 140° 44'	40° 50' 140° 44'	緯 北 經 東	緯 北 經 東
月一十年十正大	月七年二十正大	月七年二十正大	月七年二十正大	月 年 點 初	月 年 點 初
混 八 黑 凝 角 白 土 形 橫 造 形 線	混 四 鐵 上 白 凝 角 造 部 櫓 土 形 下 形 色	混 四 鐵 上 白 凝 角 形 下 形 色	混 四 鐵 上 紅 凝 角 形 下 部 色 土 造 形 部 形 色	混 四 鐵 上 紅 凝 角 形 下 部 色 土 造 形 部 形 色	混 四 鐵 上 紅 凝 角 形 下 部 色 土 造 形 部 形 色
三十二秒 閃光	連 閃 白 光	電 不 動 綠 光	瓦 ア セ チ レ ン 明 暗 綠 光	瓦 ア セ チ レ ン 明 暗 綠 光	瓦 ア セ チ レ ン 明 暗 綠 光
三 一 七 度 迄	八 度	全 度	全 度	全 度	全 度
22.7	6.1	8.2	8.2	8.2	8.2
35.7	9.4	12.4	12.4	12.4	12.4
30	弱	弱	弱	弱	弱
17	10.5	7	12	12	12
霧笛 四十秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス	看守員ヲ常置セシ	看守員ヲ常置セシ	看守員ヲ常置セシ	看守員ヲ常置セシ	看守員ヲ常置セシ
			霧笛 三十秒ヲ隔テ三秒吹鳴ス 每月一日及十五日ハ日出時ヨリ日没時迄吹鳴セシ 看守員ヲ常置セシ ●霧笛ハ鐵道省所管ニシテ西防波堤燈臺ヨリ二六 六度距離約一八四米		

燈臺 本州北岸

燈臺 本州東岸

130	129	128	127	126
港沼仙氣 號九第	港沼仙氣 號七第	港沼仙氣 號五第	港沼仙氣 號三第	港沼仙氣 南
竿燈	竿燈	竿燈	竿燈	竿燈
水堤上	水堤上	水堤上	水堤上	水堤南端
氣仙沼港	氣仙沼港	氣仙沼港	氣仙沼港	氣仙沼港
宮城縣	宮城縣	宮城縣	宮城縣	宮城縣
				38° 53' 141° 36'
月四年七和	月四年七和	月四年七和	月四年七和	月四年七和
鐵竿白	鐵竿白	鐵竿白	鐵竿白	鐵四角形白
造柱色	造柱色	造柱色	造柱色	造柱色
電不動綠光	電不動綠光	電不動綠光	電不動綠光	電明三秒暗三秒明暗白光
全度	全度	全度	全度	全度
10.2	10.2	10.2	10.2	11
1/10弱	1/10弱	1/10弱	1/10弱	3
0.5	0.5	0.5	0.5	11
●宮城縣立 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離五四六米 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離四〇九米五 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離二七三米 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離一三六米五 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス

125	124	123	122
島大根中	埼	港木八	稱名臺燈
竿燈	標燈	燈	類種
大島	暗礁上	八木港	地在所
氣仙沼灣	中根	八木港	緯北東
宮城縣	釜石港	岩手縣	置
	釜石港		初
38° 141°	16° 54'	30° 33' 142° 5'	40° 21' 141° 40'
月十年二十四治明	月十年九和昭	月三年五十三治明	月四年三十正大
木白	鐵四角形	鐵八角形	木竿白
造色	造	造	造柱色
不動白光	瓦七秒一閃	瓦七秒一閃	不動紅光
	斯	斯	
五度迄	全度	一八度迄	一三度
11.5	9	30.5	9.1
80.2	11.1	58.5	18.2
1/10弱	1/10弱	100	1/10弱
7	8.5	20.5	4
●宮城縣立	●岩手縣釜石町立 看守員ヲ常置セス	●岩手縣九戸郡珉市村立 看守員ヲ常置セス 霧笛 四十秒ヲ隔テ五秒吹鳴ス 三四二度ヨリ三五三度迄ハ副燈不動紅光ヲ以テ 一六七度五二分、距離二哩二健ノ大根ヲ示ス 昭和二年九月吹鳴時間變更	●岩手縣九戸郡珉市村立 看守員ヲ常置セス
			記
			事

燈臺 本州東岸

燈臺

本州東岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

139	138	137	136	135
卷之石	濱之萩	崎 黒	山華金	崎津歌
竿 燈	竿 燈	臺 燈	氣信霧 臺 燈	竿 燈
北上川口	石之卷灣 萩之濱港	黒 崎 鮎川港外	南 東 企 華 山ノ 宮 城 縣	歌 津 崎 宮 城 縣
38° 141° 15' 50'	38° 22' 141° 27'	38° 16' 141° 32'	38° 17' 141° 35'	38° 42' 141° 34'
月二年七治明	月九年五十二治明	月七年四和昭	月一十年九治明	月九年三十正大
木 白 造 色	木 白 造 色	鐵 四角 造 燈形	石 圓 白 造 形 色	木 竿 白 造 柱 色
不動白光	不動紅光	瓦アセチレン 明二秒暗二秒	毎十秒一閃光 閃紅白交光	電 不 燈 動 白 光
度 二八三度 迄 一九三	度 二三〇度 迄 一四〇	度 九五四迄	度 一八九度 迄 四五度迄	全 度
11.5	11.5	20	8.2	13
16.4	39.7	77.2	51.5	31.2
10弱	10弱	10	白光 180 紅光 180	10
8	6	9.5	20	13
●宮城縣立	●宮城縣立	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス 霧笛 四十五秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス 船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但夜間ハ取扱ハス	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス

134	133	132	131
崎井岩	港沼仙氣	港沼仙氣	港沼仙氣
第 五 十 號	第 三 十 號	第 一 十 號	
岩 西 氣 宮 井 灣 仙 城 崎 口 沼 縣	水 氣 宮 堤 沼 城 上 港 縣	水 氣 宮 堤 沼 城 上 港 縣	水 氣 宮 堤 沼 城 上 港 縣
38° 50' 141° 36'			
月六年四和昭	月四年七和昭	月四年七和昭	月四年七和昭
鐵 三 角 形 柱 造 燈	鐵 竿 白 造 柱 色	鐵 竿 白 造 柱 色	鐵 竿 白 造 柱 色
電 二 點 燈 及 不 動 紅 光 燈 ヲ 柱 頂 兩 側	電 不 動 綠 光 燈	電 不 動 綠 光 燈	電 不 動 綠 光 燈
全 度	全 度	全 度	全 度
19.1			
27.5	10.2	10.2	10.2
白光 10 紅光 10	10弱	10弱	10弱
白光 13.5 紅光 13	6.5	6.5	6.5
●宮城縣本吉郡階上村立	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離九五米五	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離八一米	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス 南燈竿ヨリ水堤上内方ニ向ヒ距離六八二米五

燈臺 本州東岸

燈臺 本州東岸

148	147	146	145	144
港濱名小 堤波防	港濱名小 堤波防	崎取網	崎屋鹽	島藏地
燈	燈	燈	燈	燈
西防小福 堤波名島 端堤港縣	東防小福 堤波名島 端堤港縣	網江福 取名島 崎町縣	鹽屋福 屋島 崎縣	地鹽松 藏釜島 地港灣
36° 5' 140° 5'	36° 56' 140° 5'	36° 16' 140° 55'	37° 0' 141° 0'	38° 19' 141° 5'
月二十年四十正	月九年三十正大	月五年三和昭	月二十年二册清明	月五年九正大
混圓塗下頭 凝土裝裝部 土形セス部 形	木竿白 造柱色	木竿 造柱	練瓦圓 造形	石八角 造形
瓦ア明明第 アセ秒暗五 チ秒暗白等 レン秒光	電 燈	電 燈	電 燈	瓦ア每閃 セチ秒三紅 レン秒一閃光
全度	全度	全度	三四度迄	全度
9.5	7.7	5.5	30.5	10.6
14.5	11.4	31.2	79.7	21.2
1/2	1/2	1/10	1,000	1/10
12.5	11.5	7	23.5	8
●福島縣立 看守員ヲ常置セス	●福島縣立 看守員ヲ常置セス	●福島縣石城郡小名濱町立 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 霧笛 三十秒ヲ隔テ三十秒吹鳴ス 毎月一日及十六日ハ日出時ヨリ日没時迄吹鳴セス ●福島ハ福島縣石城郡豊岡村立	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス

143	142	141	140	燈臺
港釜鹽 燈高	港釜鹽 燈低	港釜鹽 第一號	根ノトミ	稱名臺燈 種類
燈	燈	標浮燈挂	標浮燈挂	地位
ノ鹽釜 東方神社	東高 燈ノ	航路左舷 鹽釜港口	根西鹽松 島南ミ釜釜島 端ノ外灣	緯北東 經東
38° 19' 141° 1'	38° 19' 141° 2'			月年點初
月五年九正大	月五年九正大	月六年四和昭	月三年四春昭	構造及等級
鐵四角 造形	鐵四角 造形	標形鐵造 上部四角	標形鐵造 上部四角	燈質
電 燈	電 燈	瓦ア每閃 セチ秒三綠 レン秒一閃光	瓦ア每閃 セチ秒三白 レン秒一閃光	弧明
度 迄	度 迄	全度	全度	上礎基 上面水 數光燭
20.5	18.2			燈高(米) 平均
54.2	19.4	3.3	3.5	(理)離距達光
1 1/2	1 1/2	1/10	1/10	記
20	13.5	6	8	事
●宮城縣立 昭和七年四月改築	●宮城縣立 看守員ヲ常置セス ニ望ミ進行スヘシ	●宮城縣立 内港ニ入ラントスル船舶ハ兩燈ヲ一直線ニ六五度 看守員ヲ常置セス	●宮城縣立 吹塔ハ二三二度二三分 船入島東端ハ一三度四五分 水島南端ハ八九度二一分 水深三米六	

燈臺 本州南岸

172		171		170		稱名臺燈 類 種	位 置
木 正	埼 ノ 洲	埼 ノ 洲	野 島	野 島	野 島		
臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	類 種	位 置
公 館 千 州 千 野 千 園 山 葉 州 葉 島 葉 島 内 町 縣 埼 縣 埼 縣 縣	公 館 千 州 千 野 千 園 山 葉 州 葉 島 葉 島 内 町 縣 埼 縣 埼 縣 縣	公 館 千 州 千 野 千 園 山 葉 州 葉 島 葉 島 内 町 縣 埼 縣 埼 縣 縣	公 館 千 州 千 野 千 園 山 葉 州 葉 島 葉 島 内 町 縣 埼 縣 埼 縣 縣	公 館 千 州 千 野 千 園 山 葉 州 葉 島 葉 島 内 町 縣 埼 縣 埼 縣 縣	公 館 千 州 千 野 千 園 山 葉 州 葉 島 葉 島 内 町 縣 埼 縣 埼 縣 縣	類 種	位 置
34° 59' 139°	34° 59' 139°	34° 59' 139°	34° 59' 139°	34° 59' 139°	34° 59' 139°	緯 北 經 東	緯 北 經 東
月十年七正大	月二十年八正大	月二十年八正大	月二十年八正大	月二十年八正大	月二十年八正大	月 年 點 初	月 年 點 初
鐵 檜 白 造 形 色	混 圓 白 凝 土 造 形 色	混 圓 白 凝 土 造 形 色	混 圓 白 凝 土 造 形 色	混 圓 白 凝 土 造 形 色	混 圓 白 凝 土 造 形 色	構 造 及 塗 色	構 造 及 塗 色
電 不 動 白 光	電 一 每 閃 第 閃 十 紅 四 五 交 等 光 秒 光	電 一 每 閃 第 閃 十 紅 四 五 交 等 光 秒 光	電 一 每 閃 第 閃 十 紅 四 五 交 等 光 秒 光	電 一 每 閃 第 閃 十 紅 四 五 交 等 光 秒 光	電 一 每 閃 第 閃 十 紅 四 五 交 等 光 秒 光	燈 等 及 質 級	燈 等 及 質 級
全 度	二五二度迄	二五二度迄	二五二度迄	二五二度迄	二五二度迄	弧 明	弧 明
15.1	12.1	12.1	24.2	24.2	24.2	上 礎 基 燈 高 (米)	上 礎 基 燈 高 (米)
24.2	45.1	45.1	36.1	36.1	36.1	上 面 水 平 均	上 面 水 平 均
16弱	60	60	1,200	1,200	1,200	數 光 燭	數 光 燭
7	18.5	18.5	17	17	17	(海) 離 距 達 光	(海) 離 距 達 光
● 千葉縣館山町立 看守員ヲ常置セス			霧 雨 五 十 秒 ヲ 隔 テ 五 秒 吹 鳴 ス 鬼 ヶ 濱 ハ 約 二 六 九 度、 距 離 四 哩			記	記
						事	事

152		151		150		149		稱名臺燈 類 種	位 置
浦 勝	埼 吠 犬	港 子 銚	港 子 銚	港 子 銚	港 子 銚	港 子 銚	港 子 銚		
臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	類 種	位 置
鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	鮮 勝 千 犬 千 港 港 港 港 ヶ 浦 葉 吠 葉 子 子 子 子 臺 灣 縣 葉 葉 子 子 子 子 外 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣 縣	類 種	位 置
3° 8' 140°	3° 42' 140°	35° 44' 140°	35° 44' 140°	35° 44' 140°	35° 44' 140°	35° 44' 140°	35° 44' 140°	緯 北 經 東	緯 北 經 東
月三年六正大	月一十年七治明	月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月 年 點 初	月 年 點 初
混 八 白 凝 土 造 形 色	混 八 白 凝 土 造 形 色	木 竿 白 造 柱 色	木 竿 白 造 柱 色	木 竿 白 造 柱 色	木 竿 白 造 柱 色	木 竿 白 造 柱 色	木 竿 白 造 柱 色	構 造 及 塗 色	構 造 及 塗 色
二 八 二 速 第 四 秒 閃 四 光 隔 白 等	電 一 每 閃 第 閃 十 白 一 五 光 秒 光 等	不 動 白 光	紅 白 二 燈	紅 白 二 燈	紅 白 二 燈	紅 白 二 燈	紅 白 二 燈	燈 等 及 質 級	燈 等 及 質 級
七三度迄	六五度迄	二七度迄	二八〇度迄	二八〇度迄	二八〇度迄	二八〇度迄	二八〇度迄	弧 明	弧 明
18.2	27.3	4.5	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	上 礎 基 燈 高 (米)	上 礎 基 燈 高 (米)
70.9	11.5	13.6	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	上 面 水 平 均	上 面 水 平 均
36	900							數 光 燭	數 光 燭
22	19.5	2	白 光 2 紅 光 1.5	白 光 2 紅 光 1.5	白 光 2 紅 光 1.5	白 光 2 紅 光 1.5	白 光 2 紅 光 1.5	(海) 離 距 達 光	(海) 離 距 達 光
	霧 雨 三 十 秒 ヲ 隔 テ 五 秒 吹 鳴 ス 船 通 報 ニ 關 ス ル 事 務 ヲ 取 扱 フ	● 千葉縣海上郡本銚子町立	一ノ岩ニ近寄リタルトキ兩燈ヲ一直線一七九度二分ニ望ミ進航スレハ同岩西側ノ暗礁ヲ避ケ入港スルコトヲ得ヘシ 低燈ハ河口波浪高キトキ紅白二燈ヲ連揚シ不登ナルトキ白燈一個、小波アルトキ紅光燈一個ヲ點ス二燈連揚ノ場合ニ於ケル下部ノ燈火ハ基礎上ノ高サ一米、平均水面上ノ高サ一〇米六					記	記
								事	事

燈臺 本州東岸

(口印ハ船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 本州南岸(東京海灣)

181	180	179	178	177
濱 横 堤 水 東	濱 横 堤 水 北	崎 川	田 根 羽	沖 川 品 號 七 第
臺 燈	臺 燈	標 浮 燈 挂	標 燈	標 浮 燈 挂
ノ 東 横 極 水 濱 端 堤 港	ノ 北 横 極 水 濱 端 堤 港	ノ 羽 東 南 根 海 端 洲 灣	ノ 羽 東 外 根 海 方 州 灣	ノ 品 南 川 方 燈 塔
15° 27' 130° 40'	35° 27' 130° 40'		35° 33' 130° 48'	
月四年九十二治明	月五年九十二治明	月二十年四正大	月三年八治明	月六年五十四治明
土 下 上 六 白 部 部 角 形 色 混 混 鐵 形 色 凝 凝 造 形 色	土 下 上 六 紅 部 部 角 形 色 混 混 造 形 色	鐵 錐 截 黑 造 形 形 頭 圓 色 形 形 上 圓 色	混 圓 黑 凝 凝 凝 白 上 上 上 積 部 部 部 線 混 混 混 線	鐵 上 圓 黑 造 部 筒 筒 色 形 形 形 形 色
瓦 ア 明 明 第 ア セ チ レ 三 暗 五 ン ス 秒 暗 等 ン ス 秒 暗 等	瓦 ア 明 明 第 ア セ チ レ 三 暗 四 ン ス 秒 暗 等 ン ス 秒 暗 等	瓦 ア 每 閃 第 ア セ チ レ 四 秒 一 閃 綠 光 ン ス 秒 一 閃 光	瓦 ア 每 閃 第 ア セ チ レ 四 秒 一 閃 白 光 ン ス 秒 一 閃 光	瓦 ア 每 閃 第 ア セ チ レ 三 秒 一 閃 白 光 ン ス 秒 一 閃 光
全 度	全 度	全 度	全 度	全 度
13.0	13.0	3	13.4	3.0
15.5	1.5	3	15.1	3.0
14	8	10	3	10弱
12.5	12.5	8	10.5	8.5
看守員ヲ當置セス	看守員ヲ當置セス	羽根川燈標ハ二三度 鹽濱黒色燈突ハ三一六度 淺野セメント白色左燈突ハ二九三度 水深一六米	看守員ヲ當置セス	品川燈塔ヨリ一六七度三〇分二、六六五米 水深約六米八 昭和七年三月名稱及位置變更

176	175	174	173
川 品 號 二 第 (設 假)	川 品 號 一 第 (設 假)	川 品	港 形 船 堤 波 防
標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	臺 燈	竿 燈
先 淺 東 品 端 深 京 川 石 航 港 川 航 路 港 沖	先 淺 東 品 端 深 京 川 石 航 港 川 航 路 港 沖	西 龜 島 品 端 ノ 二 灣	頭 防 船 館 堤 波 形 山 部 堤 港 灣
		3° 38' 130° 47'	15° 17' 130° 51'
月七年四和昭	月七年四和昭	月三年三治明	月二十年和昭
構 上 圓 紅 形 部 筒 筒 色 鐵 上 部 形 形 色 造 部 角 形 形 色	構 上 圓 黑 形 部 筒 筒 色 鐵 上 部 形 形 色 造 部 角 形 形 色	瓦 ア 明 明 第 ア セ チ レ 三 暗 五 ン ス 秒 暗 等 ン ス 秒 暗 等	混 圓 白 凝 凝 上 造 形 色
瓦 ア 每 閃 第 ア セ チ レ 三 秒 一 閃 紅 光 ン ス 秒 一 閃 光	瓦 ア 每 閃 第 ア セ チ レ 三 秒 一 閃 綠 光 ン ス 秒 一 閃 光	瓦 ア 明 明 第 ア セ チ レ 三 暗 五 ン ス 秒 暗 等 ン ス 秒 暗 等	電 不 動 綠 光
全 度	全 度	度 9 一 九 八 迄	全 度
3.5	3.5	6.7	6.1
10弱	10弱	17	9.1
6.5	6.5	13	3
● 東京市立	● 東京市立		● 千葉縣船形町立
羽根川燈標ハ一七六度一五分 森々崎瓦斯タンクハ二四一度三五分 品川燈塔ハ三二七度五〇分 水深約五米五	羽根川燈標ハ一七六度一五分 森々崎瓦斯タンクハ二四一度三五分 品川燈塔ハ三二七度五〇分 水深約五米五		看守員ヲ當置セス ● 千葉縣船形町立

燈臺 本州南岸(東京海灣)

燈臺 本州南岸(東京海灣)

190	189	188	187	186
港軍賀須橫 東堤波防北	港軍賀須橫 西堤波防北東	港軍賀須橫 東堤波防北東	洲 荒	牧 本
臺 燈	臺 燈	臺 燈	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂
堤 港 橫 東 北 須 端 防 賀 波 波 軍	堤 港 橫 西 東 須 端 防 賀 波 波 軍	堤 港 橫 東 東 須 端 防 賀 波 波 軍	東 荒 本 端 洲 牧 標 標 標 浮 浮 浮 燈 燈 燈 挂 挂 挂	方 洲 本 標 標 標 浮 浮 浮 燈 燈 燈 挂 挂 挂
35° 19' 139° 40'	3° 19' 139° 40'	3° 19' 139° 40'		
月十年九正大	月十年九正大	月十年九正大	月九年一十四治明	月一十年二治明
鐵 櫓 紅	鐵 櫓 綠	鐵 櫓 黑 白橫線	鐵 上 圓 黑 部 錐 錐 錐 櫓 形 形 形 造 造 造	鐵 上 圓 黑 部 錐 錐 錐 櫓 形 形 形 造 造 造
瓦ア 每 閃 セチ 四 紅 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 四 綠 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 三 白 レン 秒 三 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 三 綠 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 二 白 レン 秒 二 光 ス 閃 閃 光
全	全	全	全	全
度	度	度	度	度
10.6	10.6	15.1	3.6	4.5
13	13	17.6	1/10弱	1/10
8	7	13	5	9
	●海軍省所管	看守員ナ當置セス	十二天鼻ハ三三九度五七分 八王子鼻ハ三一四度九七分 小柴崎ハ二〇九度五七分 水深一八米二	十二天鼻ハ二二四度五二分 堀利川口ノ北角ハ二六五度五七分 水深一〇米九 船ハ本浮標ノ東方ヲ通行スヘシ 昭和六年十月燈質變更

185	184	183	182	燈臺
港 濱 橫 號 四 第	港 濱 橫 號 三 第	港 濱 橫 號 二 第	港 濱 橫 號 一 第	稱 名 臺 燈 類 種
標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	位 置
一、一〇米	二、二六米	二、三六米	三、六六米	地 在 所
三度五分	三度五分	三度五分	三度五分	緯 北 經 東
同上ヨリ	同上ヨリ	同上ヨリ	同上ヨリ	初 年 點
月三年五和昭	月三年五和昭	月三年五和昭	月三年五和昭	塗 色
鐵 上 圓 紅 部 錐 錐 錐 櫓 形 形 形 造 造 造	鐵 上 圓 黑 部 錐 錐 錐 櫓 形 形 形 造 造 造	鐵 上 圓 紅 部 錐 錐 錐 櫓 形 形 形 造 造 造	鐵 上 圓 黑 部 錐 錐 錐 櫓 形 形 形 造 造 造	及 等 級
瓦ア 每 閃 セチ 五 白 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 三 綠 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 三 紅 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	瓦ア 每 閃 セチ 五 白 レン 秒 一 光 ス 閃 閃 光	質 及 級
全	全	全	全	弧 明
度	度	度	度	燈 高 (米)
3.6	3.6	3.6	3.6	上 礎 基 面 水 平
1/10弱	1/10弱	1/10弱	1/10弱	數 光 燭
8.5	8.5	8.5	8.5	(注) 離 距 遠 光
	●內務省所管	設置ス	本挂燈浮標ハ橫濱港防波堤築造工事中航行禁止區 域表示ノ爲メ設置ス 第一號及第二號挂燈浮標同並第三號第四號挂燈浮 標間ニハ約二〇〇米毎ニ一個宛ノ白塗小形浮標ヲ 設置ス	記 事
	昭和七年二月第二號及第三號位置變更			

燈臺 本州南岸(東京海灣)

燈臺

本州南岸 (口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

199	198	197	196	195
三宅島	大島	城ヶ島	三崎港	劍埼
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
三宅島	大島	城ヶ島	三崎港	劍埼
34° 13' 29"	34° 48' 23"	35° 13' 37"	35° 8' 37"	35° 9' 41"
明治二十二年六月	大正四年四月	明治三十八年八月	昭和二年十一月	明治四年一月
石造	白角形	白角形	白角形	白角形
不動白光	第一等閃光	第一等閃光	第一等閃光	第一等閃光
35.2度	29.5度	29.7度	29.7度	20.0度
7.6	1.6	9.1	7.3	21.1
22.7	111.5	20.4	9.2	40.6
15.4	30	150	1	4.0
8	27	1.5	10.5	17.5
●東京府三宅島立	●霧笛 四十秒ヲ隔テ四秒吹鳴ス		●神奈川縣三浦郡三崎町立	●船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 電信局(二等)設置

194	193	192	191	燈臺種類
海獺島	觀音埼	第三海堡	第二海堡	燈臺種類
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺種類
海獺島	觀音埼	第三海堡	第二海堡	燈臺種類
35° 13' 47"	35° 1' 47"	35° 17' 44"	35° 19' 47"	燈臺種類
大正五年八月	明治二年一月	明治十二年九月	明治二十七年九月	燈臺種類
白角形	八角形	八角形	八角形	燈臺種類
第一等閃光	第一等閃光	第一等閃光	第一等閃光	燈臺種類
17.5度	15.2度	11度	8.5度	燈臺種類
12.1	15.1	11	8.5	燈臺種類
15.4	15.9	21	17.9	燈臺種類
15	90	1	1	燈臺種類
11.5	20	13.5	13	燈臺種類
●看守員ヲ當置セス		●看守員ヲ當置セス 昭和六年十一月改築	●看守員ヲ當置セス	燈臺種類

燈臺

本州南岸(東京海灣)

燈臺 本州南岸

208	207	206	205	204
埼前御	津燒	水清	港水清	埼室石
臺燈	臺燈	臺燈	竿燈	臺燈
ノ西角	城ノ腰	大鼻 (舊出鼻)	清水市	石室埼
34° 36' 138° 14'	34° 12' 138° 20'	35° 0' 138° 32'	35° 0' 138° 30'	34° 36' 138° 51'
月五年七治明	月七年四十四正大	月三年五十四治明	月六年五十四治明	月八年四治明
煉圓白	鐵櫓鼠	混八角白 凝土造形色	木薄鼠色	木八角白 造形色
電一每閃第 三白一 閃十 燈光砂光等	電不動白 光	電連第 五秒間二閃光 六等	電不動紅 光	電一每閃第 二白六 閃十 燈光砂光等
度 1 〇四	度 八	度 一七	度 二二三	度 一〇八
17.3	30.6	15.6	8.5	6.1
53.3	37.5	21.5	11.2	57
630	3	45	10弱	65
19.5	17.5	14	6.5	20
御前岩ハ八五度 距離約二哩	●看守員ヲ常置セス ●静岡縣志太郡燒津町立		●看守員ヲ常置セス ●清水市立	

203	202	201	200	稱名臺燈
島元子神	取稻	港沖	港見二	種
臺燈	臺燈	竿燈	竿燈	類
ノ南方	北東方	沖母島	頭防二父小 部堤見港島 部堤見港島	地位所
34° 34' 138° 57'	34° 47' 139° 4'	26° 38' 142° 9'	27° 5' 142° 12'	緯北東 經東
月一十年三治明	月八年二十四治明	月一年四和昭	月十年二和昭	月年點初
石圓黑白 造形線	石六角白 造形色	木竿白 造柱色	木竿白 造柱色	構造及塗色
紅白各五秒	不動白光	不動紅光	瓦アセチレン 不動紅光	燈及等級
全度	度 三三五	度 五〇	度 五五六	弧明
18.2	3.5	6.1	6.1	上礎基 上面水(平均)
50.6	120.1	7.6	8.2	數光燭
白光 26 紅光 10	10	10弱	10弱	距離光達
19.5	10	3.5	6.5	
下田港口ハ約六度 距離五哩	●看守員ヲ常置セス ●静岡縣賀茂郡稻取町立	●看守員ヲ常置セス ●東京府小笠原母島沖村立	●看守員ヲ常置セス ●東京府小笠原島父島大村立	記
				事

燈臺 本州南岸

燈臺 本州南岸

217	216	215	214	213
間	千	野	眞	高
竿	燈	竿	燈	竿
一色町	三河灣	一色町	三河灣	一色町
34° 137°	47' 3'	34° 137°	47' 2'	34° 137°
昭和三十六年五月	昭和三十六年五月	昭和三十六年五月	昭和三十六年五月	昭和三十六年五月
木竿	木竿	鐵竿	鐵竿	鐵竿
造柱	造柱	造柱	造柱	造柱
電燈	電燈	電燈	電燈	電燈
不動白光	不動白光	不動白光	不動白光	不動白光
全度	全度	全度	全度	全度
13.6	9.1	12.7	20.6	11.5
16.7	12.2	15.8	24.3	15.4
白紅	上	下	上	下
10弱 10弱	10弱 10弱	10弱 10弱	10弱 10弱	10弱 10弱
白 8	白 8	白 8	白 8	白 8
●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立

212	211	210	209
口川崎矢	芝	前	埼湖良伊
竿	燈	臺	臺
東岸	芝	伊良湖埼	伊勢灣口
34° 137°	47' 5'	34° 137°	35' 1'
昭和三十四年四月	昭和三十四年四月	昭和三十四年四月	昭和三十四年三月
木竿	木竿	鐵竿	鐵竿
造柱	造柱	造柱	造柱
電燈	電燈	電燈	電燈
不動白光	不動白光	不動白光	不動白光
全度	全度	全度	全度
9.1	10	12.5	14.5
11.2	13	15.5	17.5
10	12	12.5	13
●愛知縣幡豆郡吉田町立	●愛知縣立	●愛知縣幡豆郡一色町立	●愛知縣幡豆郡一色町立

燈臺 本州南岸

燈臺 本州南岸

226		225		224		223		222	
野間埼		内海川口		山海川口		豊濱港		中洲前	
燈	臺	燈	竿	燈	竿	燈	竿	燈	導
愛知縣	知多半島	愛知縣	内海川口	愛知縣	山海川口	愛知縣	豊濱港	愛知縣	中洲
34° 45'	136° 51'	34° 44'	136° 53'	34° 43'	136° 54'	34° 42'	136° 56'	34° 42'	136° 56'
大正十三年三月		昭和四年十月		昭和四年十月		昭和六年一月		昭和六年一月	
圓形	白色	塗裝セサ	木竿柱	塗裝セサ	木竿柱	塗裝セサ	木竿柱	塗裝セサ	木竿柱
第五等	明暗白	不動白	電燈	不動白	電燈	不動白	電燈	不動白	電燈
三二六度	一六四度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度
17	20	3.4	7.7	3.4	7.7	7.3	44.0	7.3	22.2
7 $\frac{1}{2}$	13.5	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱	10弱
		6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5
		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣知多郡内海町立		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣知多郡内海町立		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣知多郡豊濱町立		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣知多郡豊濱町立 ●兩燈ヲ一直線ニ望ミ進行スレハ附近ノ暗礁ヲ避ケルコトヲ得 ●後燈ハ前燈ヨリ二一度二〇分 距離約一七五米	

221		220		219		218	
中洲後		石角		川蜆		川堀	
燈	導	燈	標	燈	竿	燈	竿
愛知縣	中洲	愛知縣	石角	愛知縣	川蜆	愛知縣	川堀
34° 42'	136° 56'	34° 42'	137° 0'	34° 51'	136° 58'	34° 52'	136° 59'
昭和六年一月		大正七年十月		昭和四年七月		昭和四年七月	
塗裝セサ	木竿柱	紅白	上部橋形	塗裝セサ	木竿柱	塗裝セサ	木竿柱
不動紅	電燈	閃光	每三秒一閃光	不動白	電燈	不動白	電燈
全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度	全度
3.0	46.1	9.8	12.0	4.1	7	4.1	7
10弱	6.5	10弱	11.5	10弱	10弱	10弱	10弱
		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣知多郡豊濱町立		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣海部郡大濱町立		●看守員ヲ常置セス ●愛知縣海部郡大濱町立	

燈臺 本州南岸

235	234	233	232	231
港屋古名 號六第	港屋古名 號四第	港屋古名 港二第	港屋古名 堤突西	港外港屋古名 號四第
標浮燈挂 右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 舷ノ港	標浮燈挂 右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 舷ノ港	標浮燈挂 右航突名 舷路堤古 ノノ内屋 舷ノ港	臺燈 西突堤名 端古 ノ古 右屋 舷港	標浮燈挂 ノ外港名 右航堤古 舷路突屋 ノノ内 舷ノ港
			35° 2' 130° 52'	
月九年二正大	月九年二正大	月九年二正大	月一十年七卅治明	月四年四正大
鐵上部圓紅 造槽筒形色	鐵上部圓紅 造槽筒形色	鐵上部圓紅 造槽筒形色	混鐵上四白 凝造部角形 土下形色	鐵上部圓紅 造槽筒形色
瓦アセチレン 毎三秒一閃光	瓦アセチレン 毎三秒一閃光	瓦アセチレン 毎三秒一閃光	瓦アセチレン 明三秒暗二秒	瓦アセチレン 毎三秒一閃光
全	全	全	全	全
度	度	度	16.4	度
3	3	3	18.2	3.6
10弱	10弱	10弱	14	10弱
7	7	7	13	7
●愛知縣立	浮標ハ順次ニ各約六鏈ノ距離ヲ有ス 水深各八米五	第二號挂燈浮標ハ入口ニ近ク第四、六、八號挂燈	●愛知縣立	第三號挂燈浮標ト相對シ名古屋港西突堤燈臺ハ二 五度一分 距離約一哩四六 水深八米五 ●愛知縣立

230	229	228	227	瀬ガ一ト	稱名臺燈 類種
港外港屋古名 號三第	港外港屋古名 號二第	港外港屋古名 號一第	瀬ガ一ト	瀬ガ一ト	稱名臺燈 類種
標浮燈挂 ノ外港名 左航堤古 舷路突屋 ノノ内 舷ノ港	標浮燈挂 ノ外港名 右航堤古 舷路突屋 ノノ内 舷ノ港	標浮燈挂 ノ外港名 左航堤古 舷路突屋 ノノ内 舷ノ港	標浮燈挂 ノト大愛 北方野知 ノノ沖縣	標浮燈挂 ノト大愛 北方野知 ノノ沖縣	稱名臺燈 類種
					位 置
月四年四正大	月四年四正大	月四年四正大	月九年二正大	月九年二正大	緯北東 經東
鐵上部圓黑 造槽筒形色	鐵上部圓紅 造槽筒形色	鐵上部圓黑 造槽筒形色	鐵上部圓紅 造槽筒形色	鐵上部圓紅 造槽筒形色	初 點
瓦アセチレン 四秒一閃光	瓦アセチレン 毎三秒一閃光	瓦アセチレン 四秒一閃光	瓦アセチレン 五秒一閃光	瓦アセチレン 五秒一閃光	塗 色
全	全	全	全	全	等 級
度	度	度	度	度	及 質
3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	明 弧
10弱	10	10	10	10	燈 基 礎 高 (米)
6	8.5	8.5	8.5	8.5	上 面 水 平 均
●愛知縣立 名古屋港西突堤燈臺ハ二九度四六分 距離約一哩四五 水深八米五	●愛知縣立 第一號挂燈浮標ト相對シ名古屋港西突堤燈臺ハ二 八度三六分 距離約二哩九四 水深八米五	●愛知縣立 名古屋港西突堤燈臺ハ三一度六分 距離約二哩九二 水深八米五	●愛知縣立 名古屋港西突堤燈臺ハ三一度一八分 四日市燈臺ハ二八三度四三分 鬼ヶ崎ハ一三四度三四分 水深一八米二	●愛知縣立	燭 光 數
					(M)離距達光
					記 事

244	243	242	241	240
港市日四 堤波防	港屋古名 尖中堤突東 側西路水	港屋古名 尖中堤突東 側東路水	港屋古名 都頭堤突東	港屋古名 口川中
臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	竿 燈
防波堤上	東突堤	東突堤	頭東突堤	頭防波堤ノ側
西日市港	名古屋港	名古屋港	名古屋港	名古屋港
34° 57' 136° 40'	3° 4' 136° 53'	3° 4' 136° 53'	35° 4' 136° 53'	35° 5' 136° 53'
月五年五十正大	月六年五卅治明	月六年五卅治明	月一十年七卅治明	月四年三正大
鐵 上 混 白 部 凝 角 色 造 土 形 色	鐵 上 圓 白 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 上 圓 白 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 上 圓 紅 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 上 圓 紅 部 筒 筒 色 造 形 形 色
瓦ア 明 明 第 セチ 三 三 暗 五 レン 秒 秒 暗 白 等 ス 三 三 三 光	瓦ア 明 明 明 セチ 二 二 暗 暗 暗 レン 秒 秒 二 二 光 ス 三 三 三 三 光	瓦ア 明 明 明 セチ 二 二 暗 暗 暗 レン 秒 秒 二 二 光 ス 三 三 三 三 光	瓦ア 明 明 明 セチ 二 二 暗 暗 暗 レン 秒 秒 二 二 光 ス 三 三 三 三 光	電 不 不 燈 動 動 一 八 八 度 度 度
全 度 12.5 14.5 11 12.5	全 度 6.1 8.5 10弱 4	全 度 6.1 8.5 10弱 7	全 度 6.1 8.5 10弱 6	全 度 7.6 10.5 10弱 3
看守員ヲ常置セス	●愛知縣立	看守員ヲ常置セス	●愛知縣立	看守員ヲ常置セス

239	238	237	236	稱名臺燈
地 築	港屋古名 號十第	港屋古名 號九第	港屋古名 號八第	類 種
臺 燈	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	類 種
南 築 名 西 古 古 角 地 屋 屋	右 航 突 名 舷 路 堤 古 ノ ノ 内 屋 港	左 航 突 名 舷 路 堤 古 ノ ノ 内 屋 港	右 航 突 名 舷 路 堤 古 ノ ノ 内 屋 港	地 在 所
30° 5' 136° 53'				緯 北 東 經 經 經
月九年三十治明	月三年七正大	月一十年七正大	月九年二正大	月 年 點 初
木 四 白 造 角 色	鐵 上 圓 紅 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 上 圓 黑 部 筒 筒 色 造 形 形 色	鐵 上 圓 紅 部 筒 筒 色 造 形 形 色	構 造 及 塗 色
電 紅 紅 燈 綠 綠 一 八 八 度 度 度	瓦ア 每 閃 セチ 三 秒 一 白 レン 秒 秒 閃 光 ス 三 三 三 光	瓦ア 每 閃 セチ 三 秒 一 閃 レン 秒 秒 閃 光 ス 三 三 三 光	瓦ア 每 閃 セチ 三 秒 一 閃 レン 秒 秒 閃 光 ス 三 三 三 光	燈 質 及 級
全 度 8.2 11.2 紅 綠 11	全 度 3 10弱 7	全 度 3 10弱 5	全 度 3 10弱 7	弧 明
●愛知縣立	看守員ヲ常置セス	●愛知縣立	●愛知縣立	上 礎 基 燈 面 水 平 高 數 光 燭 (米)
				(海)離距達光
				記 事

燈臺 本州南岸

253	252	251	250	249
羽鳥燈	伊勢大湊港	伊勢大湊港	伊勢大湊港	松阪防波堤
燈	燈	燈	燈	燈
三重縣	伊勢海	伊勢海	伊勢海	伊勢海
34° 136°	34° 31' 136° 47'	34° 31' 136° 45'	34° 32' 136° 46'	34° 37' 136° 33'
明治四十五年二月	昭和六年五月	昭和六年五月	昭和六年五月	昭和六年十月
白 四角形	白 四角形	白 四角形	紅 四角形	白 圓柱形
不動紅光	不動白光	不動白光	不動紅光	不動綠光
22.7	5.5	5.5	6.8	7.6
42.7	10弱	10弱	10弱	10
18	8	8	9	9.5
昭和七年三月高燈改築	昭和六年十月名稱變更	●三重縣立	看守員ヲ常置セス	●三重縣松阪町立 看守員ヲ常置セス

248	247	246	245
埼	津市	四日市港	四日市港
臺	燈	燈	燈
岩田川口	津市	四日市港	四日市港
34° 136°	43° 32'	34° 57' 136° 38'	34° 57' 136° 39'
明治四十八年七月	大正十五年九月	大正十五年五月	大正十五年五月
白 四角形	紅 圓筒形	黑 四角形	紅 四角形
不動紅光	不動紅光	不動紅光	不動紅光
全	全	九度	九度
7.6	3.5	上燈22.7 下燈19.7	12.1
15.4	10弱	上燈25.1 下燈22.1	14.5
11	6	上燈各14 下燈14	10
12.5			12
●津市立	●三重縣立 昭和六年十月名稱變更	看守員ヲ常置セス	澤筋ヲ經テ入港セントスル船舶ハ兩燈ノ三燈火ヲ一直線ニ七六度一七分ニ望ミ進航スヘシ 前後兩燈間距離四七〇米 看守員ヲ常置セス

燈臺 本州南岸

262	261	260	259	258
ウゼシニ 條西路	島	小	港切波 堤波防	埼王大 村乘安
竿燈	臺燈	臺燈	臺燈	竿燈
土路川口	三重縣 小島	三重縣 小島	三重縣 北防波堤	三重縣 大王埼
34° 32' 136° 43'	34° 14' 136° 49'	34° 17' 136° 54'	34° 16' 136° 54'	34° 22' 136° 54'
昭和五年一月	明治四十四年三月	昭和三年六月	昭和二年十月	昭和五年五月
木竿白	鐵六角白	圓形白	圓形白	圓形白
柱色	造形色	造形色	造形色	造形色
電不動白	瓦アセチレン	電(紅光分)	電一每閃紅白交	電不動白
燈光	全度	全度	七九度迄	全度
二五二度迄	一一四度	七度	一九九度	三度
7.0	6.1	7.0	20	3.5
12.4	20.8	12.0	45.2	5.0
1/2	白光紅光弱	白4紅1	60	1/6
11.5	白光13 紅光9	11.5	18.5	9
●三重縣度會郡豐濱村立 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス 近ノ危險礁ヲ示ス	●三重縣志摩郡波切村立 看守員ヲ常置セス	一三一度ヨリ二二一度〇分迄ハ老埼東北方岩礁及「アシカド」瀬又ハ二六二二度三〇分迄ハ大王岩ヲ執レモ紅光ヲ以テ示ス 看守員ヲ常置セス	●三重縣志摩郡安乘村立 昭和六年九月位置及燈高變更 看守員ヲ常置セス

257	256	255	254
埼乘安	島	首	神羽鳥
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈
的矢港口	三重縣 鳥羽港口	三重縣 北東端	三重縣 伊良湖
34° 22' 136° 15'	34° 30' 136° 55'	34° 33' 137° 0'	34° 29' 136° 51'
明治四十六年四月	明治四十六年七月	明治三十五年五月	明治四十四年五月
木八角白	煉瓦圓	形下部四角	圓形白
造形色	造形色	造形色	造形色
電閃白	電不動白	電(白副燈)	電不動紅光
燈光	九三度ヨリ	一五六度ヨリ	二四三度ヨリ
三三度迄	八度迄	三四一	二四六
10.0	8.5	7.4	7
31	54.5	112.7	59.1
45	18	65	14
16	20	27	20
昭和七年二月光源、燭光數變更		副燈不動白光三百萬燭光ノ燭光電燈ヲ以テ約六〇度距離七種ノ「コンカミ」礁最淺部上ヲ光射ス (立標ノ部参照) 船船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ夜間ハ取扱ハス電信局(二等)設置	兩燈ヲ一直線二四四度三〇分南七〇度西ニ望ミ進航スレハ鳥羽港口首島水道ニ於ケル暗礁ヲ避ケルコトヲ得 昭和七年三月高燈改築

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 本州南岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

271 270 269 268 267

岬	潮	鳥我苗	埼野椛	埼取梶	鳥鶴
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	竿燈
和歌山縣	和歌山縣	和歌山縣	和歌山縣	和歌山縣	和歌山縣
33° 135°	26' 45"	33° 135°	27' 48"	33° 135°	30' 58"
月九年六治明	月一年三和昭	月六年三治明	月二十年二世治明	月七年三正大	
石圓白	鐵槽四角形	石圓白	混泥土造圓形	木圓白	
造形色	造形色	造形色	造形色	造形色	
電明暗白	電不動紅光	一每閃三十光秒	不動白光	電不動白光	
一三〇度迄	全度	一〇〇度迄	一四四度迄	全度	
19.1	51.4	4.5	5.5	7	
50.6	78.9	40.6	37.7	60	
55	10弱	4	10弱	10弱	
19.5	10.5	17.5	8	7	
船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但夜間ハ取扱ハス	●和歌山縣西牟婁郡串本町立 看守員ヲ常置セス	水深四米一	●和歌山縣東牟婁郡太地村立	●和歌山縣東牟婁郡勝浦町立 看守員ヲ常置セス	

266 265 264 263

埼木三	港鷺尾	港鷺尾	港鷺尾	稱名臺燈
臺燈	竿燈	竿燈	臺燈	種種
三木埼	尾鷲港	尾鷲港	尾鷲港	地在所
33° 136°	58' 16"	34° 136°	4' 13"	緯北東
月一十年三和昭	月三年六和昭	月三年六和昭	月三年六和昭	月年點初
混泥土造圓形	混泥土造四角形	混泥土造四角形	混泥土造圓形	構造及塗色
三十八秒ヲ隔テ閃光間	連閃白光	電不動紅光	電明暗紅光	燈及質
一三五度迄	全度	全度	全度	弧明
11	4.7	4.7	9.1	上礎基
150	7.3	7.3	11.7	上而水
60	10弱	10弱	11	數光燭
30	4	8	11.5	運離距達光
	●三重縣立	看守員ヲ常置セス		記
				事

燈臺 本州南岸

燈臺

本州北西岸

島	角	牛	特	島	井	蓋	稱名臺燈
北西端	角島ノ	山口縣	山口縣	蓋井島	西口	下關海峡	類種
34° 130°	21' 51"	34° 130°	19' 53"	34° 130°	6' 47"		地位
月三年九治明	月一年五十四治明	月七年五十四治明	月一年五十四治明	月七年五十四治明	月一年五十四治明	月七年五十四治明	緯經
御影石造	圓形	混泥土造	八角形	混泥土造	八角形	白色	初置
每十秒一閃光	閃光	電燈	不動白光	連閃白光	連閃白光	第四等	塗色
度	リ二三二	一七〇度迄	三五五度	二八六度迄	及二四六度	二九六度	等級
26		4.2		13.1			弧明
43		26.4		99.7			上礎基
180		白光 4 紅光 1.5		30			上面水
18.5		15		25.5			數光燭
距離八鐘	「クズセ」ハ約三三〇度						(測)離距達光
		紅光ヲ以テ三五度ヨリ九五度迄ハ鼠島(懸岸及港口附近ノ危險礁)ヲ、又一〇四度ヨリ一七〇度迄ハ二子島及港口附近ノ危險礁ヲ示ス					記
							事

本州北西岸

燈臺

本州南岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

日	御	市	稱名臺燈
御	日	市	和歌山縣
33° 135°	53' 3"	33° 135°	35' 24"
月一年八十二治明	月十年十正大	月十年十正大	緯經
鐵圓形	混泥土造	八角形	初置
電四テ二十五秒ヲ閃光間隔	連閃白光	連閃白光	塗色
一七二度迄	二九一度	一四五度迄	等級
10.6		9.1	弧明
80.3		96.2	上礎基
500		90	上面水
23.5		25	數光燭
			(測)離距達光
	船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ		記
	昭和七年二月燈質燭光數變更		事

310	309	308	307	306
鼻本三	港人問	岬ヶ經	港山柴	港露賀
竿燈	竿燈	臺燈	竿燈	竿燈
三本松鼻 戸島北方 要港内 舞鶴	岩辨問 上天口	經ヶ岬	大鳴山頂 柴山港口 口佐津村 兵庫縣	頭防賀 波露港 堤塊
31° 30' 135° 21'	3° 45' 13° 5'	3° 47' 135° 13'	3° 40' 134° 40'	3° 33' 154° 11'
月八年四十五大	月七年五和昭	月二十年一卅治明	月三年三和昭	月一十年五和昭
鐵竿 造柱色	混凝土 造柱	石圓 造形	木竿 造柱	鐵四角 造柱形
不動 白光	電 燈	十二秒 八秒間三閃光	電 燈	電 燈
全 度	全 度	七六度ヨリ 三一四度迄	全 度	全 度
5.4	6.1	9	7.5	9.1
14.5	21.4	143.5	178.5	10.6
10弱	1	330	1	1
6	10	30	15	11.5
●海軍省所管 看守員ヲ常置セス	●京都府竹野郡問人町立 看守員ヲ常置セス		●兵庫縣城崎郡口佐津村立 看守員ヲ常置セス	●鳥取縣氣高郡賀露村立 看守員ヲ常置セス 豫備燈ヲ平均水面上五米六ノ位置ニ常置ス

305	304	303	302
露賀	露賀	港境	港境
燈高	燈低	燈後	燈後
燈	燈	標浮燈挂	燈
賀島	賀島	境港	境港
露縣	露縣	口	港
3° 32' 134° 11'	3° 32' 134° 11'		3° 33' 133° 14'
月七年五十五大	月七年五十五大	月四年六和昭	月四年六和昭
木竿 造柱色	木竿 造柱色	鐵圓筒 造形	鐵四角 造柱形
電 燈	電 燈	瓦アセ ス	電 燈
全 度	一六九度ヨリ 二一四度迄	全 度	全 度
9.1	8.2		22
24.2	10.6	3.1	24.1
10	1	10弱	1
13	11.5	5	15
●鳥取縣氣高郡賀露村立 看守員ヲ常置セス	千代川口ニ入ラントスル船舶ハ兩燈火ヲ一直線一 九一度三〇分ニ望ミ進ムヘシ 兩燈間距離約五五〇米 看守員ヲ常置セス	●内務省所管 紅燈ハ四二度一八分 防波堤燈臺ハ一一〇度一三分 境港燈臺ハ二五二度一一分 水深七米三〇	●内務省所管 距離五八八米八八 看守員ヲ常置セス

319	318	317	316	315
港立橋 堤波防	港國三 堤波防	港賀敦	港賀敦 堤突	港賀敦 設假
竿燈	臺燈	標浮彈挂	臺燈	標浮燈挂
頭防橋石 波立川 部堤港縣	頭防三福 波國井 部堤港縣	南埠金敦 西頭ヶ賀 方ノ崎港	突堤金敦 頭ヶ賀港	石豫敦 先定延 端線捨長 港防
34° 21' 136° 19'	36° 13' 136° 8'		35° 40' 136° 4'	
月四年四和昭	月四年五十正大	月五年三十四治明	月五年三正大	月九年四十正大
鐵四角紅 造角櫓形色	鐵三角格 造角櫓形製色	形形截 鐵上頭圓 造部櫓維色	鐵四角白 造角形色	鐵上圓黑 造部櫓形色
電不動 燈紅光	電不動 燈白光	瓦ア每閃 セセ秒一閃光	瓦ア明明 セセ秒暗一秒半	瓦ア每閃 セセ秒一閃光
全	全	全	全	全
度	度	度	度	度
5.8	12.6		7.6	
8.4	15.2	2.7	11.5	3.5
10弱	1	10弱	10	10弱
6	12.5	6	10	8
●石川縣立 看守員ヲ常置セス	●福井縣坂井郡雄島村立 看守員ヲ常置セス	敦賀港突堤燈臺ハ五一度五〇分 大和田工場燈臺ハ一三一度五〇分 測候所ボイルハ一八一度五〇分 水深一一米五	看守員ヲ常置セス 昭和六年六月上旬ヨリ全港修築工事ノ爲メ一時撤去	敦賀港突堤燈臺ハ八四度 距離二〇〇米 水深一六米三 工事ノ進捗ニ伴ヒ漸次沖合ニ移轉ス ●内務省所管

314	313	312	311
埼石立	山城濱高	口川野高	岬奕博
臺燈	竿燈	竿燈	竿燈
敦賀灣口	城高福 山濱井 縣町縣	高野川口	博奕岬 舞鶴港口
35° 40' 136° 1'	35° 30' 135° 33'	35° 28' 135° 19'	35° 33' 135° 21'
月七年四十治明	月六年五十正大	月三年三和昭	月三年四十正大
石圓白 造形色	木竿塗 造柱セケ	木竿塗 造柱セケ	木竿紅 造柱白線
瓦ア明明 セセ秒暗二秒	電不動 燈白光	電不動 燈白光	電不動 燈白光
三一 九度迄	全	全	全
0.2	9.1	7.6	6.5
121.4	31.4	8.4	130
2	1	1	10弱
24	14	10.5	8
	●福井縣大飯郡高濱町立 看守員ヲ常置セス	●京都府舞鶴町立 看守員ヲ常置セス	●海軍省所管 岬嶺北東方附近カアラグリ(高〇、六米)ハ二五度半 距離六五〇米 無雙ヶ鼻(二〇四△)ハ二八二度半 看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北西岸

328	327	326	325	324
福假浦	富來港	猿山岬	輪島港	船倉島
燈	燈	燈	燈	燈
石川縣	石川縣	石川縣	石川縣	石川縣
37° 5'	37° 24'	37° 19'	37° 9'	37° 5'
136° 43'	136° 54'	136° 43'	136° 42'	136° 43'
明治三十三年八月	昭和二年二月	大正九年十一月	昭和四年一月	昭和六年四月
塗裝セサ	木柱	塗裝セサ	木柱	木柱
不動白光	不動白光	連閃白光	連閃白光	連閃白光
二三四度	一四九度迄	一四度	二三四度	二三四度
10	5.9	9.1	5.7	30
27.5	7.5	212.4	42.5	110
13	8.5	53	10	18
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北西岸

323	322	321	320
瀧東港	瀧東港	尾白	石金
燈	燈	燈	燈
石川縣	石川縣	石川縣	石川縣
36° 55'	36° 56'	36° 44'	36° 36'
136° 45'	136° 45'	136° 41'	136° 36'
昭和五年十一月	昭和五年十二月	大正三年七月	明治三十三年八月
紅筒形	圓筒形	四角形	四角形
不動紅光	不動紅光	不動白光	不動白光
二二二度迄	二〇一度	二二一度迄	三三三度
4.8	3.6	5.1	7.8
18.8	5.8	18.8	8.8
13.5	6	10.5	10.5
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺 本州北西岸

337	336	335	334	333
出歌和	瀬大	礁	浅	森田
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
南西	西	北	上	新
和歌出ノ	大瀬ノ	浅礁ノ	森田ノ	矢野
七尾灣	七尾灣	七尾灣	七尾灣	七尾港
明治十四年四月十日	明治十四年四月十日	明治十四年四月十日	明治十四年四月十日	昭和七年四月
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
上部構形	上部構形	上部構形	上部構形	上部構形
圓筒形	圓筒形	圓筒形	圓筒形	圓筒形
黒色	黒色	黒色	黒色	黒色
閃光	閃光	閃光	閃光	閃光
緑線	紅線	白光	緑線	白光
全度	全度	全度	全度	全度
3	3	3	3.6	3.7
弱	弱	弱	弱	弱
4	6	6	6	8
七尾町愛宕山佛閣ハ二〇七度四分 ウスギ崎緒屋ハ二八三四度四分 須曾ノ屏風突端ハ三二〇度三四分 水深一〇米九	ウスギ崎緒屋ハ二〇〇度四分 須曾ノ屏風南端ハ二八三四度四分 松ヶ崎南端ハ一五度三四分 船船ハ本浮標ノ西方ヲ通航スヘシ 水深一六米四	福浦村北端ハ五九度四分 ウスギ崎ノ緒屋ハ二二一度四分 松ヶ崎ノ南端ハ二九二度一四分 水深七米三	野崎ノ東南角ハ四七度二五分 觀音崎ノ北端ハ一〇七度九分 福浦崎ノ北端ハ二二七度三五分 水深七米三	ウスギ崎緒屋三二〇度五〇分 七尾町愛宕山忠魂碑二四三度五九分 水深七米

燈臺 本州北西岸

332	331	330	329
口灣尾七	灣尾七	灣尾七	崎剛祿
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
觀音崎	山松ヶ	荒神鼻	祿剛崎
七尾灣口	七尾灣	七尾灣口	石川縣
37° 7' 137° 3'	37° 6' 136° 58'	37° 7' 137° 1'	37° 32' 137° 20'
明治十四年三月一日	明治十四年三月一日	明治十四年三月一日	明治十四年三月一日
鐵造	鐵造	鐵造	鐵造
圓筒形	圓筒形	圓筒形	圓筒形
白色	白色	白色	白色
不動白光	不動白光	不動白光	不動白光
第一等	第二等	第二等	第二等
一〇六度	二二二度	二二二度	九五度
7.6	6.7	9.1	7.9
30.6	61.5	15.4	36.5
白光 7 紅光 3	10	18	18
16	19	12.5	19
一〇六度ヨリ一九九度迄ハ紅光ヲ以テ灣口ノ岩礁 多キ危險區域ヲ示ス	二六一度ヨリ三〇二度迄ハ帆出シ及森田礁ヲ執 レモ紅光ニテ示ス 低燈ハ看守員ヲ常置セス	兩燈ヲ一直線ニ五九度二四分ニ望ミ通航スレハ灣 口帆出シ七甲礁及森田礁ノ暗礁ヲ避ケ入港スル コトヲ得 低燈明弧内二二二度ヨリ二五七度迄ハ七甲礁ヲ又 二六一度ヨリ三〇二度迄ハ帆出シ及森田礁ヲ執 レモ紅光ニテ示ス 低燈ハ看守員ヲ常置セス	線グリ礁ハ約三二〇度五分 距離十哩 經島グリ礁ハ沙津崎一名遺塔(本臺ノ南方ニ方ル 碑)ヨリ北東海中ニ斗出スルコト約八哩

燈臺

本州北西岸

346	345	344	343	342
新防波堤	新湯	新湯	小湊	澤
燈	燈	燈	燈	燈
新防波堤	新湯	新湯	小湊	澤
37° 139°	38° 135°	38° 138°	37° 138°	37° 138°
58' 4"	20' 31"	5' 34"	48' 17"	49' 12"
大正十四年六月	大正八年二月	明治廿八年二月	昭和六年十一月	昭和三年十一月
紅	白	白	白	白
圓形	八角形	六角形	三角櫛形	八角形
第五等	第四等	第五等	不動紅光	連閃白光
明暗二秒	連閃白光	不動白光	不動紅光	連閃白光
全度	九一度	三〇度	全度	三二四度
9.1	16.7	12.1	3.8	22
13.8	73.6	41.5	5.6	41.5
14	30	14	10弱	52
12	22.5	18	8.5	18
看守員ヲ常置セス	九三度ヨリ九七度迄ハ二ツ龜山頂ニ遮斷セラレハ	三〇一度ヨリ三二〇度迄ハ燈臺ノ南方島掛鼻ニ遮ラルルヲ以テ一湮乃至一湮半以外ニアラサレハ燈光ヲ認ムル能ハス	看守員ヲ常置セス ●新湯縣佐渡郡小湊町立	

燈臺

本州北西岸

341	340	339	338
魚津	伏木	伏木	伏木
燈	燈	燈	燈
魚津	伏木	伏木	伏木
36° 137°	36° 137°	36° 137°	36° 137°
49' 23"	46' 4"	48' 4"	48' 4"
大正十四年四月	昭和四年七月	大正八年四月	明治十年十月
白	紅	白	白
六角形	圓筒形	櫛形	櫛形
第五等	閃紅光	不動紅光	明暗白光
不動白光	閃紅光	不動紅光	明暗白光
全度	全度	全度	全度
一九一度	全度	全度	全度
10	17.6	8.2	12.7
12.1	3.6	19.4	10
6	10弱	14	10
11.5	6	13.5	11.5
●富山縣下新川郡魚津町立	伏木港低燈ハ二五五度四分一〇〇米 測候所風雨標ハ二五三度八分 伏木港高燈ハ二〇八度〇分 水深約一二米七 ●内務省所管	看守員ヲ常置セス ハ伏木港漁業區域ヲ避ケ入港スルコトヲ得ヘシ	兩燈ヲ一直線一九三度四分二望ミ進航スルトキ ハ伏木港漁業區域ヲ避ケ入港スルコトヲ得ヘシ

燈高(米)
平均
燭光數
光達距離(哩)

記
事

燈臺 本州北西岸

355	354	353	352	351
深浦防波堤	能代港	入道埼	船川防波堤	船川
燈	燈	燈	燈	燈
青森縣	能代縣	秋田縣	秋田縣	秋田縣
39° 57'	40° 13' 0"	40° 0' 42"	39° 52' 52"	39° 52' 50"
139° 40'	140° 0'	139° 42'	139° 52'	139° 50'
大正十五年五月二十	昭和四年四月	明治三十一年一月	昭和五年六月	明治二十七年七月
紅上部櫓形	木柱	六角形	六角形	四角形
不動白光	不動白光	閃白光	明暗白光	不動白光
全度	全度	二九三度迄	全度	一九七度
5.1	10.1	24.4	12.9	3.9
8.9	14.3	55.7	15.4	43
1/2	1/5	1/7	1 1/2	3 1/2
10.5	12	20	12.5	18.5
看守員ヲ常置セス ●青森縣立	看守員ヲ常置セス ●秋田縣山本郡能代町立	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス ●秋田縣立	二七八度ヨリ二八九度迄ハ綠光ヲ以テ三米八(距離約八鎰)及五米四(距離約八鎰四分ノ三)ノ兩淺瀬ヲ、又三五〇度ヨリ五度迄ハ紅光ヲ以テ距離約一哩二鎰ノ赤根礁ヲ示ス ●秋田縣立

燈臺 本州北西岸

350	349	348	347
土崎港	酒田	關ヶ鼠	新潟港
燈	燈	燈	燈
秋田縣	秋田縣	秋田縣	新潟縣
41° 3'	33° 56' 48"	38° 34' 32"	38° 34' 32"
140° 39'	139° 48'	139° 32'	139° 32'
昭和二年四月	明治二十八年十月	大正十四年四月	昭和三年二月
六角形	六角形	六角形	圓筒形
不動白光	明暗紅光	不動白光	閃綠光
全度	二八九度	全度	全度
10.6	13.6	5.4	3.6
13.1	16.7	6.8	1/5
3 1/2	1 1/2	1/2	1/5
12	13	10	4
看守員ヲ常置セス ●秋田縣南秋田郡土崎町立	看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス ●山形縣西田川郡念珠關村立	新潟港防波堤燈臺ハ三四五度五分距離三二七米二水深約四米五 ●新潟縣立

燈臺 (内海(瀬戸内))

382		381		380		稱名臺燈 類 種	位 置
堺	洲本港	友ヶ島	友ヶ島	友ヶ島	和歌山縣		
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	類 種	位 置
中波止場	大阪港	洲本港	兵庫縣	友ヶ島	和歌山縣	地 在 所	緯 經
34° 13' 30"	3° 27'	34° 13' 40"	2° 54'	34° 13' 50"	17° 0'	緯 經	緯 經
月九年十治明	月八年八和昭	月六年五治明				月 年 點 初	月 年 點 初
木六角形	白凝土	下部鐵造	上部鐵造	六角形	白色	構造及塗色	構造及塗色
電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	燈 質	燈 質
二八四度迄	一四度	全度	全度	全度	全度	弧 明	弧 明
9.7	9.9	9.2	60	60	60	上 礎 基	上 礎 基
17	11.7	11.7	11.7	11.7	11.7	上 面 水	上 面 水
2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	數 光 燭	數 光 燭
13	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	(測)離距達光	(測)離距達光
●大阪府立	●兵庫縣津名郡洲本町立	看守員ヲ常置セス				記 事	記 事

内海(瀬戸内)

358		357		356		稱名臺燈 類 種	位 置
龍飛崎	小泊港	三島	三島	三島	三島		
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	類 種	位 置
龍飛崎	青森縣	小泊港	青森縣	三島	青森縣	地 在 所	緯 經
41° 14' 00"	15° 21'	41° 14' 00"	8° 19'	41° 14' 00"	2° 19'	緯 經	緯 經
月六年七和昭	月四年六和昭	月六年三和昭				月 年 點 初	月 年 點 初
圓形	白凝土	木竿	紅白橫線	木竿	紅白橫線	構造及塗色	構造及塗色
電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	電明三秒暗三秒	燈 質	燈 質
二八〇度迄	二九度	全度	全度	全度	全度	弧 明	弧 明
10	15.5	13.6	13.6	13.6	13.6	上 礎 基	上 礎 基
119	16.5	15.1	15.1	15.1	15.1	上 面 水	上 面 水
330	16.5	15.1	15.1	15.1	15.1	數 光 燭	數 光 燭
27.5	8	8	8	8	8	(測)離距達光	(測)離距達光
●青森縣北津輕郡小泊村立	看守員ヲ常置セス	●青森縣西津輕郡十三村立	本竿柱ニヨリ暴風警報及天氣豫報ヲ取扱フ			記 事	記 事

燈臺 (本州北西岸)

燈臺 (内海(瀬戸内))

391	390	389	388	387
港 阪 大 橋 棧 大	港 阪 大 (3)	港 阪 大 (2)	港 阪 大 (1)	港 阪 大 南堤除波溜船
臺 燈	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	竿 燈
火 棧 橋	六〇米沖 端ヨリ約 繫船岸突 第七號港	六〇米沖 端ヨリ約 繫船岸突 第六號港	六〇米沖 端ヨリ約 繫船岸突 第二號港	南 波 通 港 除 堤 地 區 ノ 先 鶴 濱 大 阪 市
34° 38' 135° 25'				34° 38' 135° 27'
月八年六和昭	月二十年四和昭	月二十年四和昭	月二十年四和昭	月五年五和昭
鐵 六角 造 棧形 電 不 燈 動紅光	鐵 圓 造 錐形 電 不 燈 動淡紅光	鐵 圓 造 錐形 電 不 燈 動淡紅光	鐵 圓 造 錐形 電 不 燈 動淡紅光	混 凝 土 造 六角形 電 不 燈 動綠光
二三四度迄	全 度	全 度	全 度	全 度
6.1				3.8
8.0	2.2	2.2	2.2	4.0
1/10	1/10弱	1/10弱	1/10弱	1/10
10	6	6	6	5.5
●大阪府立 看守員ヲ常置セス		●大阪府立		●大阪府立 鶴町北西角立標ヨリ一八一度約一五米 看守員ヲ常置セス

386	385	384	383
港 阪 大 北堤除波溜船	阪 大 堤 突 北	阪 大 堤 突 南	川 津 木
竿 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈
北 波 通 港 除 堤 地 區 ノ 先 鶴 濱 大 阪 市	ノ 北 大 極 突 阪 端 堤 港	ノ 南 大 極 突 阪 端 堤 港	木 津 川 口 大 阪
34° 38' 135° 27'	34° 38' 135° 24'	34° 38' 135° 24'	34° 37' 135° 28'
月五年五和昭	月六年九十三治明	月六年九十三治明	月五年一十治明
混 凝 土 造 六角形 電 不 燈 動紅光	鐵 六 白 造 角 色 瓦 ア 明 明 第 ア セ 二 暗 五 チ レ 秒 暗 等 ン ス 二 秒 白 光	鐵 六 紅 造 角 色 瓦 ア 明 明 第 ア セ 二 暗 五 チ レ 秒 暗 等 ン ス 二 秒 暗 紅 光	煉 瓦 圓 白 造 錐 形 色 不 動 紅 光 第 六 等
全 度	全 度	全 度	二 四 八 度 迄 三 三 八 度
3.8	7.0	7.0	8.8
4.0	11.8	11.8	13
1/10	1/10	1/10	1/10弱
6.5	11.5	11.5	9
●大阪府立 看守員ヲ常置セス	●大阪府立 看守員ヲ常置セス	●大阪府立 看守員ヲ常置セス	●大阪府立
			記
			事

燈臺 (内海(瀬戸内))

燈臺 内海(瀬戸内)

418	417	416	415	414
港 干 網	磨 飾	港 保 伊	港 砂 高	港 湊 西
臺 燈	臺 燈	臺 燈	臺 燈	竿 燈
頭 西 太 大 兵 突 田 江 兵 堤 川 島 庫 部 尻 島 縣	西 飾 兵 波 磨 庫 止 港 縣	頭 西 洗 伊 兵 突 川 保 庫 堤 尻 港 縣	突 高 兵 堤 砂 庫 頭 港 西 縣	突 三 湊 兵 堤 原 川 庫 端 口 港 縣
34° 46' 134° 36'	34° 47' 134° 40'	34° 4' 134° 46'	34° 44' 134° 48'	34° 20' 134° 44'
月八年五和昭	月一年二十三治明	月一十年五和昭	月二年四和昭	月九年五和昭
鐵 檜 六 白 造 形 角 色	木 四 白 造 形 色	鐵 六 白 造 形 色	鐵 六 白 造 形 色	木 竿 塗 造 柱 裝 セサ
電 不 動 燈 紅 光	電 不 動 燈 綠 光	電 不 動 燈 紅 光	電 不 動 燈 紅 光	電 不 動 燈 紅 光
全 度	二〇〇度	全 度	全 度	全 度
8.9	7	8.9	6.1	6.4
10.1	11.2	10	10.9	7.3
紅光弱 白光強	10	10弱	10	10弱
紅光7.5 白光10.5	11	6	11.5	5.5
● 兵庫縣保都網干町立 看守員ヲ常置セス 明弧中九〇度ヨリ二七〇度間ハ白光トス	● 兵庫縣飾磨郡飾磨町立 看守員ヲ常置セス	● 兵庫縣印南郡伊保村立 看守員ヲ常置セス	● 兵庫縣立 看守員ヲ常置セス	● 兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス

413	412	411	410
港 湊 東	港 井 江	港 家 郡	瀬 ノ 鹿
竿 燈	竿 燈	竿 燈	標 浮 燈 柱
突 三 湊 兵 堤 原 川 庫 端 口 港 縣	先 西 江 兵 突 川 井 庫 堤 港 口 縣	突 郡 淡 堤 家 路 端 港 島	ノ 鹿 兵 南 ノ 庫 側 瀬 縣
34° 20' 134° 44'	34° 28' 134° 50'	34° 28' 134° 50'	
月九年五和昭	月九年五和昭	月二年四和昭	月一十年四正大
木 竿 塗 造 柱 裝 セサ	木 竿 白 造 柱 色	木 竿 塗 造 柱 裝 セサ	鐵 檜 形 截 造 形 上 頭 瓦 ア 每 一 メ セ 秒 一 レン 閃 四 ス 光 光
電 不 動 燈 白 光	電 不 動 燈 紅 光	電 不 動 燈 紅 光	電 不 動 燈 紅 光
全 度	全 度	全 度	全 度
6.4	5.4 (白光)	4.8	
7.3	7.9 (白光)	9.6	
10弱	10弱	10弱	
8	白光8 紅光 5.5	6	
● 兵庫縣三原郡湊町立 看守員ヲ常置セス	● 兵庫縣津名郡江井町立 看守員ヲ常置セス 竿柱ノ上端ニ白光中央部ニ紅光ヲ點ス	● 兵庫縣津名郡郡家町立 看守員ヲ常置セス	江崎燈臺ハ十九度距離約九里半 淡路國常陸寺山嶺ハ一二六度 淡路ノ西海岸江井浦ニ近キ江井崎西端ハ 一七五度 水深二一八

燈臺 内海(瀬戸内)

燈臺 内海(瀬戸内)

427	426	425	424	423
石 俎	瀬ノゾオ	瀬ノ中	港松高 堤波防西	港松高 西堤波防北
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	臺燈	臺燈
俎山鼻沖 石東側	備讃瀬戸 内海	備讃瀬戸 中ノ瀬	西防波堤 頭部	北防波堤 頭部
			34° 21' 134° 3'	34° 21' 134° 3'
昭和三十五年三月	大正九年十二月	大正十二年三月	昭和四年四月	昭和四年四月
鐵造 上部構形	形鐵造 上部構形	形鐵造 上部構形	混泥土造 上部柱形	混泥土造 上部柱形
瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	電燈	不動紅光
全度	全度	全度	全度	全度
			9.5	9.5
3.3	3	3.5	11.5	11.5
10弱	10弱	10弱	11	11
6	6	7.5	11.5	11.5
●鐵道省所管 牛ノ子燈臺ハ四度三八分 帆掛岩立標ハ二三六度一八分 俎石立標ハ二五七度四五分 水深九米二	●鐵道省所管 男木島燈臺ハ八六度二九分 女木島南西端ハ一三七度三五分 小槌島南東端ハ二三二度一四分 水深一・一米四	●鐵道省所管 柏島東端ハ二七度四五分 女木島南端ハ一二三度二五分 尾崎北端ハ二五三度三〇分 水深五米九	●香川縣立 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス

燈臺

内海(瀬戸内)

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

422	421	口420	419	稱名臺燈
島木男	岩ワナカ	鼻角大	濱新	種類
臺燈	標燈	臺燈	標燈	地位
男木島	香川縣 カナツ岩	備讃瀬戸 東ノ口	香川縣 小豆島ノ 南東端	赤穂灣 新濱港口 五呟岩
34° 26' 134° 3'	34° 25' 134° 8'	34° 26' 134° 20'	34° 43' 134° 24'	緯北東
明治廿八年十二月	昭和二年八月	大正二年四月	大正十年八月	初點
御影石造	圓筒形	圓筒形	圓筒形	塗色
第一閃光 每三秒一閃 光半	第六等 白閃光	第四等 暗紅光	第二等 暗白光	等級
二八〇度迄	五二度ヨリ	度迄	二〇五度ヨリ	明弧
12.4	11.5	7	5.9	上礎基 上面水 數光燭
15.7	13.5	60.3	10	燈高(米) 平均
10	10弱	2	10	燭光數
12.5	10	20.5	9	(深)離距遠光
五二度ヨリ七三度迄ハ綠光ヲ以テ「アツサ」岩及 中ノ瀬ヲ、又八一度ヨリ九二度迄ハ紅光ヲ以テ 「オゾノ」瀬ヲ示ス	看守員ヲ常置セス	船船通報ニ關スル事務ヲ取扱フ	●兵庫縣赤穂郡新濱村立 看守員ヲ常置セス	記
		風ノ子島ニ遮ラルル部分ハ燈光ヲ望見スルヲ得ス		事

燈臺 内海(瀬戸内)

454	453	452	451	450
瀬ノコ	石白鳥來	濱大	島神龍	港治今
標燈	標燈	臺燈	臺燈	臺燈
北東方	來島海峡 西水道 南口西端 白石礁上	來島海峡	龍神島 東口	東防波堤 頭部
34° 8' 132°	34° 6' 132°	34° 6' 132°	34° 6' 133°	34° 4' 133°
月四年五十三治明	月一十年九正大	月四年五十三治明	月九年六正大	月四年四十正大
石圓紅	混鐵上紅	鐵六角白	混下櫛上黑	混圓白
造形色	凝土造 上部櫛形 鐵下部	造形色	凝土造 部部色	造形色
瓦アセチレン	瓦アセチレン	電	瓦アセチレン	電
連閃白光 二秒間二閃光 (紅光分弧)	明二秒暗二秒 明暗紅光	紅綠光各五秒 紅綠五光	明二秒暗二秒 明暗白光	不動白光
八二度	全度	一五九度	全度	全度
二九度迄	度	一三一七	度	度
		12.4	6.8	7.6
10.3	11.8	36.7	14.5	11.5
1/10	1/10弱	紅光4綠光2	1/10	1/10
10.3	9.5	17	11.5	11
看守員ヲ常置セス 八二度ヨリ一二四度迄紅光ヲ以テ帆掛岩及其近傍ニ擴延セル淺瀬ヲ示ス	看守員ヲ常置セス		看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス ●今治市立

449	448	447	446	稱名臺燈
濱居新	島神井高	島下大	鼻野中	類種
竿燈	臺燈	臺燈	臺燈	地位
新居濱	愛媛縣 高井神島	大下島	大崎上島	緯北東
33° 5' 133°	34° 12' 133°	34° 11' 132°	34° 13' 132°	經東
月十年三和昭	月二十年十正大	月五年七十二治明	月五年七十二治明	月年點初
混圓塗	混八角白	石八角白	石圓白	構造及塗色
凝土造 柱	凝土造 形色	造形色	造形色	燈及質
不動紅光	連閃紅白交光 八秒ヲ隔テ四秒間白二閃光 更ニ八秒ヲ隔テ紅光	瓦アセチレン	瓦アセチレン	弧明
全度	二七九度迄	一八六度迄	一七〇度	上礎基 上面水平均 數光燭 (距離距達光)
	9.1	7.7	3.6	記
4.5	134.5	35.7	44.8	事
	20	15	10	
2	29	17	11	
看守員ヲ常置セス ●愛媛縣新居郡新居濱町立			二〇五度ヨリ二一五度迄ハ紅光ヲ以テ大横島北西方ノ淺瀬ヲ示ス 看守員ヲ常置セス	

燈臺 内海(瀬戸内)

燈臺

内海(瀬戸内)

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

472 471 470 469 468

石形屋	瀬	筏	ンバゴノ西	石ツ三	岬田佐
標燈	標浮燈挂	標燈	標燈	標燈	標燈
屋ノ江廣 形ノ田島 石北田灣 上方島灣	北筏江吳 端瀬田軍 ノノ島外	礁ノ南倉廣 上ゴ西方橋島 パン西ノ灣	三安 ツ藝 石濤	佐愛 田媛 岬縣	
34° 18' 132° 29'		34° 4' 132° 26'	34° 2' 132° 33'	33° 20' 132° 2'	
月二年七十三治明	月二年二和昭	月三年七十三治明	月八年二和昭	月四年七正大	
石圓紅 造形色	鐵上部圓紅 造構筒形色	下部上部圓紅 石鐵造形色	混四紅 凝角角 土形形 造造線	混八白 凝角形 土造色	白 色
瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス
每四秒一閃光	每五秒一閃光	每四秒一閃光 (紅光分)	明二秒暗二秒	明二秒暗二秒	明二秒暗二秒
全度	全度	全度	全度	全度	全度
7.6	3	17	7.6	15.1	26.5度
10弱		10	16.7	46.7	21.4
8.5	5	12.5	12.5	19	
看守員ヲ常置セス	●海軍省所管 吉浦ノ西方山頂ハ四八度五〇分 大麗女島南端ハ一〇三度一七分 小用ノ南東方ノ岬ハ一九四度二五分 水深七米六	二五八度ヨリ三一一度迄ハ紅光ヲ以テ大ゴパン礁 及ヒ「エビカヒレ」岩ヲ示ス 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但夜間ハ取扱ハス	

467 466 465 464

ロジホ	島屋	港濱長	島瀬無水小	稱名臺燈
臺燈	臺燈	臺燈	臺燈	類種
ホ東祝周 ー南防防 ジ方島灣	南屋伊 端島豫 ノ灣灘	頭防長愛 部波濱媛 部堤港縣	島小東平伊 南水無部豫 東瀨方ノ灘	地在所
33° 44' 132° 1'	33° 43' 132° 8'	33° 37' 132° 29'	33° 47' 132° 23'	緯北東 經東
月八年二十正大	月七年二十四治明	月一年三十正大	月八年二和昭	月年點初
混四白 凝角形 土造色	混圓白 凝土造形 土造色	鐵三角白 造構形色	混下上圓白 凝土鐵部造形 土造部造形 造造造色	構造及 塗色等
瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	瓦ア セチ レン ス	燈及 質級
每三秒一閃光	每五秒一閃光	不動紅光	明二秒暗二秒	弧明
全度	全度	全度	全度	上礎基 上面水 數光燭
6.1	4.8	5.4	12.5	燈高(米)
36.7	56.3	8.6	18	平均
13	8	10弱	13	(注)離距達光
看守員ヲ常置セス		●愛媛縣喜多郡長濱町立 看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	記
				事

燈臺

内海(瀬戸内)

燈臺 內海(瀬戸内)

481			480			479			478			477		
港江守			港分大			港分大			埼關			鼻開新		
燈			燈			燈			燈			燈		
ノ守江大			頭西大			頭北大			地西北			新大		
洲港口分			部突提港			部提港			地蔵側ノ			新開野		
上			部			部			地蔵側ノ			新開野		
33°	25'		33°	15'		33°	15'		33°	16'		34°	17'	
131°	39'		131°	35'		131°	35'		131°	54'		132°	17'	
月八年三十三治明			月二年二正大			月二年二正大			月七年四十三治明			月五年二十三治明		
煉瓦造	圓形	紅	混泥土造	圓形	紅	混泥土造	圓形	白	鐵造	圓形	白	木造	竿柱	塗裝セサ
不動	第五等	白	瓦アセチレン	毎四秒一閃光	閃紅光	瓦アセチレン	毎四秒一閃光	閃白光	電燈	不動	白	電燈	第四等	不動
八八度迄	二七八度		全			全			零度迄	九四度ヨリ		全		
			9.7			9.7			7.6			6.1		
10.9			13.3			13.3			69.4			8.8		
10			10弱			10			18			10弱		
11			7			10			22			4		
			●大分縣立									●廣島縣佐伯郡嚴島町立		
			看守員ヲ常置セス									看守員ヲ常置セス		

476			475			474			473		
石龜			石白			島美沙那小			瀬ノ中		
竿燈			標燈			臺燈			標燈		
龜石進上			白石岩上			美小廣			ノ南美大廣		
大野瀬戸			ノ西方			島那沙			瀬方島那島		
34°	18'		34°	11'		34°	17'		34°	16'	
132°	18'		132°	21'		132°	22'		132°	22'	
月七年五十三治明			月四年六十三治明			月三年七十三治明			月四年六十三治明		
鐵竿	白	色	石圓	紅	線	鐵圓	白	色	混泥土造	圓形	黑
不動	白	光	瓦アセチレン	毎四秒一閃光	閃紅光	瓦アセチレン	四毎秒一閃光	閃紅光	瓦アセチレン	毎四秒一閃光	閃白光
全			全			全			全		
度			度			度			度		
			16.7			4.8					
7.6			18.8			39.4			12.1		
10弱			10			10弱			10		
3			11			7.5			11		
●廣島縣佐伯郡嚴島町立			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス			看守員ヲ常置セス		
			看守員ヲ常置セス			昭和六年十月燈質燭光數等變更			看守員ヲ常置セス		

燈臺 內海(瀬戸内)

燈臺 内海(瀬戸内)

490	489	488	487	486
宇部南防波堤東端(設假)	宇部南防波堤西端(設假)	宇部南防波堤西端(設假)	西浦	中ノ關
山口縣宇部郡南防波堤東端	山口縣宇部郡南防波堤西端	山口縣宇部郡南防波堤西端	山口縣西浦	山口縣中ノ關
33° 50' 131° 15'	33° 56' 131° 14'	33° 56' 131° 14'	34° 1' 131° 30'	34° 0' 131° 33'
昭和三年十一月	昭和三年十一月	昭和三年十一月	昭和四年七月	昭和七年五月
木造 四角檜形 白色	木造 四角檜形 紅色	木造 四角檜形 白色	木造 竿柱 塗裝セサ	木造 竿柱 塗裝セサ
不動綠光	不動紅光	不動綠光	電燈 不動白光	電燈 不動白光
全度	全度	全度	全度	全度
6.5	6.5	6.5	6.1	11.1
10弱	10弱	10弱	10弱	10弱
3	4	3	6.5	8
●宇部市立 昭和五年七月倒壞八月綠色假燈ヲ點ス		●山口縣佐波郡西浦村立 看守員ヲ常置セス		●山口縣中ノ關町立 看守員ヲ常置セス
●宇部市立 西及南防波堤豫定線上ハ捨石其他ノ工事ヲ施シ船ノ航行危險ナリ 看守員ヲ常置セス		●宇部市立 西及南防波堤豫定線上ハ捨石其他ノ工事ヲ施シ船ノ航行危險ナリ 看守員ヲ常置セス		

485	484	483	482
德島	岩島	姫崎	安岐
德島縣東濱崎	德島縣德山灣口	德島縣姫島ノ	安岐縣安岐崎
34° 3' 131° 48'	33° 59' 131° 4'	33° 44' 131° 42'	33° 28' 131° 44'
大正十三年一月	大正十二年九月	明治三十三年七月	大正三年三月
石造 四角形 塗裝セサ	石造 圓形 白色	石造 圓形 白色	鐵造 四角形 白色
電燈 不動綠光	明暗白光 第五等	連閃白光 第四等	電燈 明三秒暗二秒
全度	全度	一六度	一八七度
6.1	7.6	9.4	5.0
9.4	23.3	57.3	16.7
10	14	18	4
10.5	14.5	20	13
●山口縣都濃郡德山町立 看守員ヲ常置セス		●山口縣都濃郡德山町立 看守員ヲ常置セス	
●山口縣都濃郡德山町立 看守員ヲ常置セス		●山口縣都濃郡德山町立 看守員ヲ常置セス	

燈臺 内海(瀬戸内)

燈臺 内海(下關海峡)

499	498	497	496	495
洲ヶ飛	洲ノ中 西北	洲ノ中 西	島珠滿	洲ノ中 號一東
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
ノ飛東下 北ヶ東關 西洲口峽	北中東下 西ノ洲口 端峽	南中東下 西洲ノ口 方峽	南島東下 微東端滿 東方珠峽	ノ中東下 ノ洲口 東方峽
月三年八十三治明	月六年二和昭	月三年八十三治明	月四年八十三治明	月二十年六卅治明
鐵上圓截紅 部機錐形頭色	鐵上圓截紅 部機錐形頭色	鐵上圓截紅 部機錐形頭色	鐵上圓截紅 部機錐形頭色	鐵上圓截紅 部機錐形頭色
造形形形形	造形形形形	造形形形形	造形形形形	造形形形形
ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯	ピンチ瓦斯
明四秒暗二秒	明四秒暗二秒	明四秒暗二秒	明四秒暗二秒	明四秒暗二秒
明暗白光	明暗白光	明暗白光	明暗白光	明暗白光
全度	全度	全度	全度	全度
3	3	3	3	3.5
10	10弱	10	10	10
8	8	8	8	8
部燈臺ハ一三二度一〇分 高ヶ巢著松ハ二〇一度四〇分 門司燈臺ハ二五四度二〇分 水深七米	部燈臺ハ一三八度 高ヶ巢山著松ハ一八二度三五分 古城山圓柱ハ二三三度三〇分 水深八米二	部燈臺ハ一二九度五〇分 高ヶ巢著松ハ一八二度〇分 門司燈臺ハ二四九度一五分 水深七米	部燈臺ハ一九一度三七分 境ノ浦燈臺ハ二五一度 滿珠島ノ西端ハ三一八度五七分 水深九米一	部燈臺ハ一九一度二〇分 干珠島ノ東北端ハ三〇三度四〇分 境ノ浦燈臺ハ二五七度 水深一二米

燈臺 内海(瀬戸内及下關海峡)

494	493	492	491
洲ノ中 號二東	埼部	港田野小 堤波防	山本
標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
南中東下 東ノ洲口 東方峽	東下 關海峽	頭北小 防野田 部波田 港	洲延部山 ノ瓦耳御 南方口 端七ニ縣 端ルニ字
月四年八十三治明	月一年五治明	月二十年三和昭	月二十年六卅治明
鐵上圓截紅 部機錐形頭色	石圓白 造形形色	鐵四角 造形形色	鐵上圓截黑 部機錐形頭色
造形形形形	造形形色	造形形色	造形形形形
ピンチ瓦斯	電每閃聯第 十五秒白成三 閃光動不 光動	電	ピンチ瓦斯
明四秒暗二秒	電每閃聯第 十五秒白成三 閃光動不 光動	電	明五秒暗四秒
明暗紅光	電每閃聯第 十五秒白成三 閃光動不 光動	電	明暗白光
全度	零九八 度迄度	全度	全度
3	6.4	6	3
10弱	39.1	9.0	10
8	不動白光 6 閃白光 115	4	8
8	17.5	10	8
部燈臺ハ二六五度二〇分 干珠島ノ東北端ハ三一四度一〇分 部燈臺ハ二〇三度四〇分 水深一〇米九	通航、潮流信號ノ部参照	●山口縣厚狭郡小野田町立 看守員ヲ常置セス	部燈臺ハ二九六度 本山ノ嶺ハ三二四度四五分 姫島ノ嶺ハ一四度四五分 神ノ島ハ二四九度一五分 水深九米一

燈臺 (内海(下關海峡))

535	534	533	532	531
港松若 瀬ノ一	浦ノ口	松若	洲白	岩字文大
標浮燈挂	標燈	臺燈	臺燈	標燈
進一若福 ノ松岡 上瀬港縣	進口若福 ノ松岡 上浦港縣	極突若福 堤松岡 端ノ港縣	ノ島南西 低洲西	文字岩上 島北方大 西口藍ノ 下關海峡
	33° 55' 130° 50'	33° 56' 130° 49'	33° 59' 130° 48'	34° 1' 130° 49'
月三年五十五正大	月七年三和昭	月八年六十三治明	月九年六治明	月二年八十二治明
鐵櫓圓筒形 造形	混泥土造 下部圓形 上部四角 紅黑橫線	鐵四角形 造形	圓筒形 上部鐵造 下部石造	石圓形 黑白橫線 造形
アセチレン 閃光	アセチレン 閃光	アセチレン 閃光	アセチレン 閃光	アセチレン 閃光
全度	全度	全度	全度	三一〇度迄
3.3	6.3	9.7	14.5	12.7
16	16	16	16	16
8.5	6	10.5	12.5	10
●福岡縣若松町立	●福岡縣若松市立	●福岡縣若松市立	看守員ヲ常置セス	約三二四度三〇分距離六鐘ノ所ニ「沖ノケ」暗礁アリ又約一五度三五分距離五鐘四分ノ所ニ水深五米ノ暗礁アリ又約一三六度二四分距離一哩五鐘ノ所ニ「コシキ」岩アリ 看守員ヲ常置セス

燈臺 (内海(下關海峡))

530	529	528	527
島片	島連六	瀬平	瀬舟
臺燈	臺燈	標浮燈挂	標浮燈挂
片ノ西方島	六連島	ノ平瀬西ノ下關海峡	ノ舟瀬西ノ下關海峡
33° 58' 130° 51'	33° 59' 130° 52'		
月四年三十正大	月一十年四治明	月三年三正大	月四年八十三治明
鐵圓筒形 造形	石圓形 造形	形鐵造 形上部櫓	形鐵造 形上部櫓
アセチレン 閃光	アセチレン 閃光	アセチレン 閃光	アセチレン 閃光
四五度迄	一六二度迄	全度	全度
5.1	7.5	3	3
27.3	27.9	16	16
9	15.5	6	8
●鐵道省所管	看守員ヲ常置セス	●福岡縣若松市立	六連島燈臺ハ三度三〇分 臺場鼻ハ三八度一〇分 舞子島ノ南端ハ九七度三〇分 水深一〇米

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 四國東岸、南岸及西岸

562		561		560		稱名臺燈	
於龜瀨		德島港		德島港		種類	
標燈		標燈		竿燈		位置	
於龜瀨上		德島港口		德島港口		地在所	
34° 2' 154° 38'		34° 3' 134° 36'		34° 3' 134° 35'		緯經 北東	
月九年一十正大		月十年五十正大		月十年五十正大		月年點初	
混凝土造		鐵造		木竿造		構造及塗色	
上部櫓形		四角櫓形		竿柱		燈及等級	
閃光		閃光		不動白光		質及級	
全		全		全		弧明	
度		度		度		上礎基 燈高(米)	
8.5		7.5		8.4		上面水 平均	
10		10弱		10弱		數光燭	
10.5		7.5		8		(海)離距達光	
		●德島縣立		看守員ヲ常置セス		記	
						事	

四國東岸、南岸及西岸

537		536		稱名臺燈	
若松港		若松港		種類	
號二第		號一第		位置	
標浮燈挂		標浮燈挂		地在所	
若松港口		若松港口		緯經 北東	
月四年二和昭		月四年二和昭		月年點初	
鐵櫓圓筒形		鐵櫓圓筒形		構造及塗色	
閃光		閃光		燈及等級	
全		全		弧明	
度		度		上礎基 燈高(米)	
3.5		3.5		上面水 平均	
10弱		10		數光燭	
7		8		(海)離距達光	
●福岡縣若松市立		●福岡縣若松市立		若松燈臺ハ二六二度一〇分	
				片島燈臺ハ三四七位二六分	
				臺場鼻潮流信號塔ハ三九度七分	
				水深五米四	
				若松燈臺ハ二五八度	
				片島燈臺ハ三五一度二三分	
				臺場鼻潮流信號塔ハ四六度四五分	
				水深五米四	
				記	
				事	

燈臺 內海(下關海峡)

燈臺 四國東岸、南岸及西岸

571	570	569	568	567
浦ノ甲	埼田生蒲	鼻田和	港島松小 號二第 (設假)	港島松小 號一第 (設假)
臺燈	臺燈	竿燈	標浮燈挂	標浮燈挂
甲浦港	高知縣 蒲生田埼	和島縣 鼻田	德島縣 小松島港 東防波堤 豫定南方 線內	德島縣 小松島港 東防波堤 豫定線 北端
33° 32' 134° 18'	33° 50' 134° 45'	34° 1' 134° 38'		
明治十七年十二月	大正三年十月	大正十一年九月	昭和三年四月	昭和三年四月
煉瓦造	石造	白四角形 混泥土造	紅筒形 上部四角形 鐵造	黑筒形 上部四角形 鐵造
不動白光	第五等 明暗白 明二秒暗二秒 アセチレン 瓦斯	不動白光	閃紅光 每三秒一閃光 アセチレン 瓦斯	閃綠光 每三秒一閃光 アセチレン 瓦斯
二三一度迄	二二一度 六〇度迄	全度	全度	全度
5.3	6.7	9.3	3.3	3.3
47.6	43.9	12.3	10弱	10弱
4	14	7.0	5.5	4.5
19	18.5	10		
●高知縣立	●德島縣立 看守員ヲ常置セス	●德島縣立 昭和七年三月改造 看守員ヲ常置セス	●内務省所管 小松島港南突堤燈臺ハ二四度五分 柴山々頂ハ三四度四分 根井鼻ハ一四度三分 水深約五米、東防波堤築設工事ノ進捗ニ從ヒ其ノ 豫定線南方(眞方位一九四度三分)ニ向ヒ隨時 距離二三米以内移動ス	●内務省所管 小松島港南突堤燈臺ハ二一七度五分 柴山々頂ハ三一四度一五分 根井鼻ハ一四度三〇分 水深約六米

燈臺 四國東岸、南岸及西岸

566	565	564	563	稱名臺燈 種類
港島松小 南堤防南 (設假)	港島松小 南堤防北 (設假)	港島松小 堤突南	港島松小 設假堤防北	稱名臺燈 種類
竿燈	竿燈	臺燈	竿燈	地位
(南端) 基南小德 防波堤松島 突南港縣	(北端) 頭南小德 防波堤松島 突南港縣	頭南小德 突南港縣	突南小德 防波堤松島 港縣	緯北東 經東
34° 0' 134° 36'	34° 1' 134° 36'	34° 1' 134° 36'	34° 1' 134° 36'	緯北東 經東
昭和三年八月	昭和三年八月	大正十年九月	昭和六年二月	月年點初
方形混四木白 目泥凝角造下 標土造形部柱	方形混四木白 目泥凝角造下 標土造形部柱	鐵標白 造形色	木竿紅 造柱色	構造及 塗色
不動紅光	不動綠光	明暗白光 明二秒暗二秒 アセチレン 瓦斯	不動紅光	燈及 質級
全度	全度	全度	全度	弧明
7.2	5.2	4.4	2	上礎基 上面水 數光燭
2.5	2.5	9.5	2	(測)離距遠光
●内務省所管 燈器ハ方形目標ノ下部兩端ニ吊下ス 兩燈竿線内ハ防波堤及護岸築設工事ノ爲船舶ノ航 行危険ナリ 看守員ヲ常置セス	●内務省所管 看守員ヲ常置セス	●德島縣立 看守員ヲ常置セス	●内務省所管 竿柱頂上ニ紅白旗、夜間ハ其ノ下部兩側ニ 各一燈竿ヲ吊下ス 本燈竿ハ北二三度四分西ノ方向、陸岸ニ至ル 線ノ爲メ船舶ノ航行危険ナリ 看守員ヲ常置セス	記 事

578 577 576

島	佐	埼	叶	埼	摺	足
宇	燈	臺	燈	臺	燈	燈
佐	八幡濱港	愛媛縣	叶	高知縣	足摺	高知縣
島	島	島	島	島	島	島
33° 132°	26' 21'	32° 132°	45' 48'	32° 133°	43' 1'	
月一十年九正大	月八年四十四治明	月四年三正大				
木柱 トス	圓柱 ヲ合セ 造	煉瓦 造	八角 形	混 凝 土 造	八角 形	白 色
不 動 白 光	不 動 白 光	第 五 等	第 四 等	第 四 等	第 四 等	第 四 等
全 度	九 八 度 迄	二 一 六 度	二 〇 一 度	八 四 度 迄	一 六 度	二 〇 一 度
1.8	5.4	12.1				
39.4	38.5	57.9				
1/10弱	7 1/2	80				
6	17.5	20.5				
● 看守員ヲ常置セス ● 愛媛縣西宇和郡八幡濱町立	● 高知縣立					

575 574 573 572

港江加ノ上	臺山丸	埼頭龍	埼戸室	稱名臺燈
臺	燈	臺	燈	種
頭	港防波堤	浦戸港口	室戸埼	類
部	上ノ加江	高知縣	高知縣	地位
33° 133°	17' 15'	33° 133°	30' 34'	33° 134°
15'		11'		
月七年六正大	月一十年三和昭	月六年六十治明	月四年二十三治明	緯北東
混 凝 土 造	圓 形	混 凝 土 造	煉 瓦 造	緯 北 東
不 動 白 光	不 動 紅 光	不 動 白 光	第 五 等	緯 北 東
全 度	全 度	六 四 度 迄	一 六 六 度	緯 北 東
7.6		6.1	10.4	緯 北 東
10.5	11.5	41.2	151.5	緯 北 東
1/10弱	1/10弱	7 1/2	1,500	緯 北 東
6	6	18	30.5	緯 北 東
● 看守員ヲ常置セス ● 高知縣高岡郡上ノ加江町立	● 看守員ヲ常置セス ● 高知縣立	● 看守員ヲ常置セス ● 高知縣立	● 看守員ヲ常置セス ● 高知縣立	緯 北 東

燈臺 九州東岸及南岸

607	606	605	604	603
港海内 堤波防	港海内 燈高	港海内 燈低	鼻崎戸	島細
臺燈	燈導	燈導	臺燈	臺燈
頭防内宮 波海崎 部提港縣	西内宮 島海崎 縣	鉢内宮 屋海崎 平港縣	戸崎鼻 宮崎縣	細島 宮崎縣
31° 45' 131° 29'	31° 47' 131° 28'	31° 45' 131° 28'	31° 47' 131° 29'	32° 25' 131° 41'
月九年五十正大	月九年五十正大	月九年五十正大	月五年五正大	月五年三十四治明
混 四 白 凝 角 色 土 槽 色 造 形 色	鐵 四 錫 造 角 形 色	混 六 白 凝 角 形 色 土 造 形 色	煉 六 白 瓦 角 形 色 造 形 色	煉 六 白 瓦 角 形 色 造 形 色
電 不 不 燈 動 動 綠 綠 光 光	電 不 不 燈 動 動 紅 紅 光 光	瓦 明 明 ア 二 暗 セ 秒 白 チ 分 光 レン (紅 光 ス (光 分 弧) ス	不 不 動 動 白 白 光 光	瓦 明 明 ア 三 暗 セ 秒 三 チ 秒 三 レン 秒 三 ス
全 度	全 度	度 三三三 迄 七	度 一八三 迄 度	度 二〇六 迄 度
7.7	7.8	8.3	5.4	5
10.3	41.7	11.7	86.6	104.8
10弱	10弱	白光10弱紅光10	10弱	10
3	6	白光10 紅光7	7.5	9
●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス	●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス	●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス 兩燈ヲ一直線三二五度ニ望ミ入港スヘシ 兩燈間距離二一〇米六 低燈明弧内二三六度ヨリ三一四度迄ハ紅光ヲ以テ 港内ノ兼路及船路等ノ危險區域ヲ示ス	●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス	●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス 昭和七年五月改築

燈臺 九州東岸

602	601	600
港呂々土	島子ノ水	港杵白
臺燈	臺燈	標燈
土々呂港	水ノ子島	白杵灣
宮崎縣	中尖	豊後水道
32° 31' 131° 41'	33° 3' 132° 10'	33° 8' 131° 49'
月十年九十三治明	月三年七十三治明	月四年六和昭
煉 六 白 瓦 角 色 造 形 色	石 圓 黑 造 形 白 造 形 橫 線	混 六 紅 凝 角 色 土 造 形 色
電 (紅 不 燈 (光 動 弧) 白 分 光 弧) 光	每 閃 第 三 三 一 十 十 等 秒 秒 閃 二 二 光	電 不 不 燈 動 動 紅 紅 光 光
度 一七五 迄 度	度 全	度 全
3.3	36.4	7.1
28.5	56.3	688
10弱	688	10弱
6	20	6
●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス 二三四度ヨリ二七〇度迄ハ紅光ヲ以テ續ク瀬及其 以南ノ危險區域ヲ示ス 看守員ヲ常置セス	●宮崎縣立 看守員ヲ常置セス	●大分縣白杵町立 看守員ヲ常置セス
記	事	

燈臺 九州南岸

625	624	623	622	621
港埼枕 堤島	埼 枕	港島兒鹿 設假 號二第	港島兒鹿 設假 號一第	島兒鹿
臺燈	竿燈	標浮燈挂	標浮燈挂	標浮燈挂
先 枕 鹿 崎 崎 兒 島 島 島 堤 堤 縣	枕 鹿 崎 崎 兒 町 縣	ノ 區 築 北 南 城 設 防 端 域 捨 堤	ノ 區 築 南 北 城 捨 防 端 域 石 堤	外 甲 鹿 ノ 洲 突 兒 端 ノ 洲 川 島 ノ 港
31° 16' 130° 18'	31° 16' 130° 18'			
月八年六和昭	月三年四和昭	月八年四和昭	月八年四和昭	月二十年十正大
混 圓 塗 凝 形 裝 土 形 セ 造	鐵 四 鼠 造 角 色 造 檜 形	鐵 上 圓 紅 造 部 筒 色 造 檜 形	鐵 上 圓 黑 造 部 筒 色 造 檜 形	鐵 上 圓 黑 造 部 筒 色 造 檜 形
電 不 不 燈 動 動 紅 紅 光 光	電 不 不 燈 動 動 白 白 光 光	瓦 ア 閃 ア セ 三 閃 セ チ 秒 一 閃 レン 光 光	瓦 ア 閃 ア セ 六 秒 一 閃 レン 光 光	瓦 ア 閃 ア セ 二 秒 半 一 閃 レン 光 光
全 度	五 七 度 迄	全 度	全 度	全 度
9	30.5			
11.5	35.2			3
14	90	10弱	10弱	10弱
11.5	17	6	6	7
● 鹿兒島縣立 看守員ヲ常置セス	● 鹿兒島縣川邊郡枕崎町立 本明峯ハ立神山ニヨリ一部遮ラルルコトアルヘシ	● 一丁臺場南燈竿ハ三三六度 五五分 屋久島岸岐石燈籠ハ二七二 度四〇分 水深一二米	● 一丁臺場南燈竿ハ三四二度 五分 屋久島岸岐石燈籠ハ三〇一 度〇分 水深九米	● 跨腰△ハ六九度二〇分 城山ハ三〇七度四〇分 淨光明寺島居中央(西郷隆盛墓)ハ三三四度六分 水深五米九 ● 鹿兒島縣立
		● 第一號挂燈浮標ハ工 事ノ進捗ニ伴ヒ將來 現在定位置ヨリ二〇 米北ニ移設ノ豫定ナ ルモ其ノ外隨時移動 ス ● 尙右移設ト同時ニ第 二號挂燈浮標ハ撤去 スルモノトス ● 内務省所管		

620	619	618	617
島兒鹿 北場止波新	島兒鹿 南場止波新	瀨 神	岬 多 佐
竿 燈	竿 燈	標 燈	臺 燈
新 鹿 波 兒 止 島 場 港	南 一 鹿 場 丁 臺 兒 端 場 港	神 ノ 鹿 瀨 南 兒 方 島 港	大 鹿 輪 兒 島 島 港
31° 36' 130° 34'	31° 36' 130° 34'	31° 34' 130° 35'	31° 0' 130° 39'
月二十年十四治明	月四年二十治明	月十年元正大	月十年四治明
木 白 造 色	鐵 四 白 造 角 色 造 檜 形	混 鐵 上 八 紅 凝 造 下 部 角 黑 土 造 檜 形 橫 瓦 ア 不 不 ア セ 動 動 セ チ 紅 紅 レン 光 光	鐵 八 白 造 角 色 造 形 形
不 不 動 動 綠 紅 光 光	不 不 動 動 紅 紅 光 光	不 不 動 動 紅 紅 光 光	不 不 動 動 白 白 光 光
全 度	全 度	全 度	一 二 四 二 度 一 五 〇
5.7	10.5	7.3	6.1
10.6	15.1	10	61.8
10弱	10弱	10弱	26
4	6	9.5	21
● 鹿兒島縣立 看守員ヲ常置セス	● 鹿兒島縣立 看守員ヲ常置セス	● 鹿兒島縣立 看守員ヲ常置セス	● 鹿兒島縣立 看守員ヲ常置セス
			船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ
			記
			事

燈臺 九州南岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

燈臺 九州西岸

670	669	668	667	666
湯島	原島	三池港	三池港	三池港
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
湯島	原島	三池港	三池港	三池港
32° 130°	36° 20'	32° 130°	47° 23'	33° 130° 0' 22'
月二十年五正大	月九年十治明	月十年一十四治明	月十年一十四治明	月四年一十四治明
混泥土造	石造	鐵造	鐵造	鐵造
瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン
度 9.7	度 10.6	度 3	度 3	度 10.4
38.8	17.5	16.4	12.5	17.5
17.5	11.5	5.5	7	12.5
看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス

665	664	663	662
洲ノ峰	三港	本島	寺島
燈臺	燈臺	燈臺	燈臺
洲ノ峰	三港	本島	寺島
32° 130°	37° 27'	32° 130°	27° 12'
月八年五和昭	月三年三十二治明	月十年四和昭	月五年一十三治明
鐵造	木造	混泥土造	石造
瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン	瓦アセチレン
度 4.6	度 4.2	度 4.5	度 10.3
17.5	17.5	6.5	10.5
看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス	看守員ナ常置セス

燈臺 九州西岸

679	678	677	676	675
燈高島松 燈後	燈高島松 燈前	燈低島松	島王伊	島尾ノ蔭
燈 幕	燈 幕	燈 幕	臺 燈	臺 燈
陸南内長 西浦崎 上方灣縣	陸南内長 西浦崎 上方灣縣	陸南内長 西浦崎 上方灣縣	ノ伊長 北王崎 端島港口	ノ蔭長 北尾崎 端島港口
32° 56' 129° 35'	32° 56' 129° 36'	32° 56' 129° 36'	32° 43' 129° 46'	32° 42' 129° 50'
月五年五十正大	月五年五十正大	月五年五十正大	月七年四治明	月三年四十治明
樽形木造 三角 竿柱頭部 白色	樽形木造 三角 竿柱頭部 白色	樽形木造 三角 竿柱頭部 白色	鐵六角 造形 白色	混泥土造 八角形 白色
電 不動紅光	電 不動紅光	電 不動紅光	閃十五秒 間隔 光四等	瓦アセチレン 明三秒暗二秒 明暗紅光 等
全 度	全 度	全 度	二七五度迄	三一五度迄
6.1	6.1	9.1	7	10.6
31.2	27.6	19.9	63.4	21.4
16弱	16弱	16弱	18	1
4	4	4	21	14
<p>内浦灣ニ入ラントスル船舶ハ三燈ヲ一直線一九八度ニ望ミ進航スレハ灣外センカン瀨ノ中瀨及ツクノ磯等ノ暗礁ヲ避クルヲ得 高燈ノ後燈ト低燈間二八九米七 低燈ト高燈ノ前燈間二三五米五 看守員ヲ常置セス ●長崎縣西彼杵郡松島村立</p>			<p>平瀨立標ハ約九七度四五分 距離一哩一鐘</p>	

674	673	672	671
瀨-ドンハ	埼母野	礁通五	津之口
標浮燈挂	臺 燈	標 燈	臺 燈
瀨南東端	樺島	五北通 通礁上	口之津 灣港口
32° 33' 129° 47'	32° 34' 130° 7'	32° 36' 130° 12'	32° 36' 130° 12'
月二十年二十正大	月六年七和昭	月三年七十三治明	月五年三十治明
鐵上部樽形 造	圓錐形 白色	混泥土造 圓錐形 紅色	煉瓦造 八角形 白色
瓦アセチレン 閃三秒一閃光	瓦アセチレン 閃三秒一閃光	瓦アセチレン 閃三秒一閃光	電 不動白光
全 度	全 度	全 度	全 度
3.6	11.8	11.5	4.8
16	140	1	5
8.5	28	11	17.5
<p>大久保山頂ハ一〇七度二〇分 蔭ノ尾島燈臺ハ二二五度四〇分 鼠島南端ハ三一二度五〇分 水深二三米六</p>		看守員ヲ常置セス	
			記
			事

燈臺 九州西岸

688	687	686	685	684
浦ノツフ 燈前	浦ノ錨 燈後	浦ノ錨 燈中	浦ノ錨 燈前	港戸崎 號四第
燈 導	燈 導	燈 導	燈 導	標 浮 燈 挂
崎 長 戸 崎 港 縣	崎 長 戸 崎 港 縣	崎 長 戸 崎 港 縣	崎 長 戸 崎 港 縣	崎 長 戸 港 口 縣
33° 0' 129° 34'			33° 1' 129° 34'	
月四年六和昭	月四年六和昭	月四年六和昭	月四年六和昭	月三年六和昭
木 頂 竿 塗 白 色 三 裝 造 標 角 柱 セサ	木 頂 竿 塗 白 色 三 裝 造 標 角 柱 セサ	木 頂 竿 塗 白 色 三 裝 造 標 角 柱 セサ	木 頂 竿 塗 白 色 三 裝 造 標 角 柱 セサ	鐵 上 部 圓 紅 造 標 形 錐 色
電 不 燈 動 紅 光	電 不 燈 動 紅 光	電 不 燈 動 紅 光	電 不 燈 動 紅 光	瓦 ア 不 不 セ チ 動 動 レン 綠 紅 ス 光 光
全	全	全	全	全
度	度	度	度	度
9.1	9.1	9.4	10.6	
27.6	30.1	27.4	14.7	2.5
10弱	10弱	10弱	10弱	10弱
9	9	9	9	6.5
	前燈ヨリ四三度 七九米四五	前燈ヨリ四三度 五五米三六		無田島南端ハ二七三度五五分 全北東端ハ三一七度二〇分 平崎ハ二二八度 水深九米四

立町戸崎郡村彼西縣崎長● ス燈點時隨添ノ入出船船スセ燈點時常

683	682	681	680	燈臺名稱
港戸崎 號三第	港戸崎 號二第	港戸崎 號一第	島立大	燈臺名稱
標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	標 浮 燈 挂	臺 燈	種 類
崎 長 戸 崎 港 縣	崎 長 戸 崎 港 縣	崎 長 戸 崎 港 縣	大 長 立 崎 島 縣	位 置
			33° 1' 129° 26'	緯 北 經 東
月三年六和昭	月三年六和昭	月三年六和昭	月八年七十二治明	月 年 點 初
鐵 上 部 圓 黑 造 標 形 錐 色	鐵 上 部 圓 紅 造 標 形 錐 色	鐵 上 部 圓 黑 造 標 形 錐 色	鐵 圓 白 造 形 色	構 造 及 等 級
瓦 ア 不 不 セ チ 動 動 レン 綠 紅 ス 光 光	瓦 ア 不 不 セ チ 動 動 レン 綠 紅 ス 光 光	瓦 ア 不 不 セ チ 動 動 レン 綠 紅 ス 光 光	(紅光分氣) 第六等 閃光 每十秒一閃光	燈 質 及 級
全	全	全	全	弧 明
度	度	度	度	上 礎 基 燈 面 水 平 高 (米)
2.5	2.5	2.5	7.6	82.7
10弱	10弱	10弱	3	數 光 燭
5.5	6.5	5.5	23.5	(海) 離 距 達 光
無田島南端ハ二七三度 全島北東端ハ三三一度 大井浦西端突ハ六七度二五分 水深五米四	無田島南端ハ二七三度 天見浦大端突ハ一九六度四〇分 大井浦西端突ハ六四度三〇分 水深一〇米三	無田島大端ハ三二〇度二〇分 天見浦大端突ハ一八九度一五分 大井浦西端突ハ七二度三〇分 水深六米一	紅光ヲ以テ一三三度ヨリ一四九度迄ハ色漸ク、又 二九五度ヨリ三二〇度迄ハ小立島及附近ノ暗處ヲ 示ス	記 事

ス燈點時隨添ノ入出船船スセ燈點時常

立町戸崎郡村彼西縣崎長●

燈臺 九州西岸

燈臺

九州西岸

(口印ハ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ箇所)

697	696	695	694	693
島女	埼潮大	港江富	埼後向	瀨白
臺燈	臺燈	標燈	竿燈	臺燈
南方山頂	ノ南西端	瀬ノ北	向後埼	白瀨岩上
33° 128°	32° 128°	32° 128°	33° 129°	33° 129°
月二十年二和昭	月二十年二十治明	月六年二和昭	月九年五十正大	月八年七十治明
混泥土造	鐵圓形	混泥土造	鐵圓形	混泥土造
八角形	圓形	角柱	圓形	圓形
連閃白	閃白	閃白	不動白	閃白
度	度	度	度	度
10.4	10.9	9.3	10.7	3.5
119.4	81.8	9.3	82.3	15.4
200	180	高弱	1	白光10 紅光10弱
27.3	23.3	白光8 紅光6	23	白光10 紅光8
無線電信局(二等)設置	船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ 但シ夜間ハ取扱ハス	●長崎縣南松浦郡富江町立 ●看守員ヲ常置セス	●海軍省所管 ●看守員ヲ常置セス	二六六度ヨリ八六度迄ハ紅光ヲ以テ蟹瀬諸礁及中ノ瀨ヲ示ス ●看守員ヲ常置セス

692	691	690	689
島神御	瀨伏	浦ノツフ	浦ノツフ
臺燈	標燈	燈導	燈導
南平長	伏南平	崎長	崎長
33° 129°	33° 129°		
月一十年四和昭	月十年七十治明	月四年六和昭	月四年六和昭
混泥土造	混泥土造	木頂白	木頂白
圓形	圓形	三角柱	三角柱
連閃白	閃白	不動紅	不動紅
度	度	度	度
9.3	21.5	8.5	7.1
76.3	21.5	53.4	38.2
3	1	高弱	高弱
22	14	9	9
看守員ヲ常置セス	看守員ヲ常置セス	●長崎縣西彼杵郡崎戸町立 ●前燈ヨリ一〇三度 二二八米五八 ●常時點燈セス船舶出入ノ際隨時點燈ス	●長崎縣西彼杵郡崎戸町立 ●前燈ヨリ一〇三度 七四米六六 ●常時點燈セス船舶出入ノ際隨時點燈ス

燈臺 九州西岸